

狀況ニ依リ四月三十日限り一時ニ議定スルコトヲ得

前項議定期限ハ止テ得サル事故ニヨリ延期ヲ請フモノアルトキハ十五日以内之ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 市町村ハ市町村會ノ議決ニ依リ貧困者ニ負擔セシメサルコトヲ得但此ノ場合ニ於テモ其配賦額ハ之ヲ減少セス

第八條 左ニ掲クルモノニハ戸數割ヲ賦課セス

- 一 恤救規則ニ依リ救助ヲ受クルモノ
- 二 一定ノ場所若クハ他人ノ家ニ寄宿スル學校生徒

第四章 營業稅雜種稅

第九條 營業稅雜種稅ハ課目課額ニ依リ賦課ス

第十條 物品販賣トハ一定ノ店舗其他ノ營業場ヲ設ケ物品ノ卸賣又ハ小賣ヲ爲スモノヲ謂フ但露店ハ一定ノ營業所ト見做サス

左ノ諸業ハ仍物品販賣業ト見做ス

- 一 一定ノ製造場ナク職工ヲ使役スルコトナク原料ヲ供給シ工錢ヲ支拂ヒ物品ヲ製造セシメテ販賣スルモノ

二 一定ノ製造場ヲ設ケス店頭ニ於テ物品ヲ製造シ主トシテ小賣ヲ爲ス者

三 賄請負ヲ爲スモノ並ニ官公署ノ用達ヲ爲ス者

四 牧場ニアラサル場所ニ於テ家畜又ハ家禽ヲ飼養シ之ヲ賣リ又ハ鶏卵、牛乳等其產物ヲ販賣スル者

五 魚介類ヲ養殖シテ之ヲ販賣スル者

六 一定ノ營業場ヲ設ケ動植物其他普通ニ物品ト稱セサルモノヲ販賣スル者

第十五條ノ製造業者其製造區域内ニ於テ製造品ヲ販賣シ及別ニ營業場ヲ設ケ其製造品ノ卸賣ヲナスモ物品販賣業トセス

第十一條 物品貸付業、金錢貸付業トハ貨料又ハ利息ヲ受ケテ貸付ノ業ヲ營ムモノヲ謂フ

第十二條 運送業トハ一定ノ店舗其他ノ營業場ヲ設ケ運賃又ハ手數料ヲ受ケテ旅客若クハ貨物ノ運送ヲナシ又ハ其取扱ヲナスモノヲ謂フ但橋梁ニ替テ渡松ヲ爲スモノハ此限ニアラス

第十三條 宿屋業トハ飲食物ヲ供スルト否トニ拘ハラズ旅客ヲ宿泊セシメ又ハ人ヲ寄宿セシムルモノヲ謂フ

第十四條 行商トハ一定ノ店舗其他ノ營業場外ニ於テ物品其ノ他普通ノ物品ト稱セサルモノヲ賣買スルモノヲ謂フ

第十五條 製造業トハ一定ノ製造場ヲ設ケ物品ヲ製造シ又ハ物品製造ノ一部ヲ助成スルモノヲ謂

フ  
左ノ諸業ハ仍製造業ト見做ス

- 一 一定ノ工場ヲ設ケ器物器械ノ修理ヲナシ又ハ穀物ヲ精白搗碎スル者
- 二 一定ノ工場ヲ設ケ洗濯ヲナス者

第十六條 職工トハ物品若クハ飲食物ヲ製造シ加工シ修繕シ又ハ其助業ヲナスモノヲ謂フ

左ノ業ヲナスモノハ仍職工トス

- 一 布帛衣服類ノ洗滌又ハ漂白ヲナス者
- 二 屋根又ハ圍庭ノ類ヲ造作修理ヲスル者
- 三 土工又ハ探礦ニ従事スル者
- 四 駟車貨物ノ揚卸ヲナス者
- 五 束糸又ハ束捆ヲナス者

第十七條 所得割ハ所得稅納稅義務者ニ對シ其本稅ト同時ニ賦課ス但第二種ノ所得ニ對シテハ之ヲ賦課セズ

第十八條 礦業割ハ礦區稅礦業稅納稅義務者ニ對シ其本稅ト同時ニ賦課ス

第十九條 五等地ノ内他ノ等級地ニ接續シ連營ヲナス場所ニシテ營業ノ狀況之ト異ナラサルモノハ其接續地ノ課額ヲ賦課ス

第二十條 四等地以上ノ市町村若クハ大字中連營ヲ爲サル場所アリテ其營業ノ狀況全ク連營ヲ爲ス區域ト異ナルトキハ五等地ノ課額ヲ賦課ス

第二十一條 地位等級ニ依リ課額ヲ定メタル營業稅雜種稅ノ年稅ニ屬スルモノハ其市町村會ニ於テ等級地内各自ノ課額ヲ議定スヘシ其期限ハ四月三十日十月三十一トス但市町村ノ狀況ニ限リ四月三十日限リ一時ニ議決スルコトヲ得

前項議定期限ハ止ヲ得サル事故ニヨリ延期ヲ請フモノアル時ハ十五日以内之ヲ許可スルコトアルヘシ

第一項ノ課額ハ營業稅ト雜種稅トヲ通シ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十二條 町村ノ區域ニ依リ課額ヲ定メタル漁業稅及採藻稅ハ其町村會ニ於テ各自ノ課額ヲ議定スヘシ

前項ノ議定期限ハ漁業稅及採藻稅ノ内心太草ハ四月三十日トシ海苔ハ十二月三十一日トス但期限後ト雖トモ營業者ニ増減アルトキハ其課額ヲ更正スヘシ

第二十三條 數個ノ店舗又ハ營業場ヲ設クルモノハ其店舗又ハ營業場毎ニ賦課ス

第二十四條 一人ニシテ數種ノ營業ヲナスモノニハ其營業毎ニ賦課ス但左ノ第一號第二號ニ該ルモノハ主タル業ニ就キ賦課シ第三號第四號第五號ニ該ルモノハ一ノ重キ課額ニ依リ賦課ス此場合ニ於テ月稅ハ年額ニ換算比較ス

- 一 一家屋ニ於テ料理屋飲食店ヲ相兼ヌルモノ
- 二 一遊技場中稅額ノ同シキモノヲ交互兼ヌルモノ及職工ニシテ同等職ヲ兼ヌルモノ
- 三 一家屋ニ於テ料理屋ト宿屋業又ハ飲食店ト宿屋業ヲ相兼ヌルモノ若クハ物品販賣業ト飲食店ヲ相兼ヌルモノ

四 第一號ニ該ルモノ及第三號ニ該ルモノト交互兼ヌルモノ

五 一遊技場中稅額ノ異ル種類ヲ兼ヌルモノ及職工ニシテ等級ノ異ル職業ヲ兼ヌルモノ若クハ藝妓、遊藝師匠、遊藝稼人、幫間ヲ交互兼ヌルモノ

法人ノ使用スル建物ニシテ稅額ノ異ル課稅標準ヲ共通スル場合ハ重キ稅率ノモノニ從フ

第二十五條 數種ノ營業ヲ兼ヌルモノ各自ノ課額決定後ニ於テ其一種若クハ數種ヲ廢業スルコトアルモ最前ノ決定額ハ之ヲ變更セズ

第二十六條 賦課期日後營業稅雜種稅中同課目内ニシテ稅額ノ多キモノニ移リタルトキハ年稅ニアリテハ其ノ期、月稅ニアリテハ其月ヨリ又少ナキモノニ移リタルトキハ其ノ後期若クハ翌月

ヨリ其稅額ヲ増減ス但本條前段ノ場合ニ於テ徵收後ニ係ルトキハ更ニ其ノ不足額ヲ賦課ス

營業者同一町村内ニ於テ居ヲ移シタル爲メ地位等級ニ異動ヲ來シ稅額ニ増減ヲ生スル場合亦前項ニ同シ但稅額ノ比較ハ町村會ニ於テ各自ノ課額ヲ決定シタル營業者ニアリテハ決定額ニ依リ移轉地ニアリテハ普通課額ニ依ル

第二十七條 年稅ノ營業者一期間全ク休業スルトキハ其期分ノ稅ヲ又月稅ノ營業者全月休業スルトキハ其月ノ稅ヲ賦課セス但漁業採藻業ハ此限りニアラス

第二十八條 法人ノ使用スル建物ノ坪數ハ二階建以上ノモノハ各階ヲ通シテ計算シ一坪未滿ノ坪數ヲ生スルトキハ切捨トス但左ニ掲クルモノハ坪數ニ算入セス

- 一 二階以上ノ上リ口
- 二 外廊下
- 三 外椽

第二十九條 左ニ掲クルモノニハ營業稅雜種稅ヲ賦課セス

- 一 行商ニシテ十五年未滿六十五年以上ノモノ
- 二 物品販賣業若クハ飲食店ヲ營ムモノニシテ自ラ行商ヲナスモノ及其ノ家族ノ行商
- 三 製造業、印刷業、寫真業、染物業ヲ營ム者ニシテ自ラ職工ヲナス者及其家族ノ職工

- 四 職工ニシテ十七年未滿六十五年以上モノ及女職工並ニ徒弟又ハ見習中ノモノ但二十年以上ハ徒弟見習ト見做サス
- 五 自作ノ農産物ヲ製造スルモノ
- 六 出職ノ理髮人ニシテ年齢十七年未滿六十五年以上ノモノ及徒弟又ハ見習中ノモノ但二十年以上ハ徒弟見習ト見做サス
- 七 酌婦ニシテ年齢十三年未滿ノモノ
- 八 演劇其他興行ニシテ營利ノ目的ニ非ス單ニ神佛祭典ノ爲メ又ハ慈善ノ爲ニスル者
- 九 水災ノ爲メ陸地ニ備ヘ置ク松橋梁ニ換ヘ専ラ渡場ニ用アル松、専ラ松橋ノ組成ニ用ユル松本船内ニ備置ク傳馬松、ポート
- 十 直接官用公用ニ供スル松、車
- 十一 消防専用ノ車、傳染病院隔離病舍所屬ノ車、祭典専用ノ車
- 十二 搗臼ニ基若クハ挽碓一基迄ニ限ル自用水車但他器械ノ附屬シアルモノ及酒造家、穀商油商等ニシテ營業ニ使用スルモノハ此ノ限リニアラス
- 十三 陸軍乘馬飼養條例ニ依リ飼養スルモノ及官用公用ニ供スル乘馬
- 十四 病牛馬豚ヲ屠殺スルモノ

- 十五 每人ニ課税スル漁業者探獲者ニシテ年齢十五年未滿六十五年以上ノモノ
- 十六 民法第三十四條ニ依リ設立シタル私法人ノ使用スル建物
- 十七 恤救規則ニ依リ救助ヲ受クルモノ

第五章 營業稅附加稅

第三十條 營業稅附加稅ハ歲入豫算ノ課率ニ依リ其本稅ト同時ニ賦課ス

營業稅雜種稅課目課額ハ(省咨ス)

●縣令第二十四號 (明治三十五年三月二十七日)

縣稅取締規則左ノ通定メ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十三年三月三縣令第二十八號縣稅ニ關スル取締規則ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

縣稅取締規則

第一條 營業稅雜種稅課目課額ニ掲記アル業務ヲ開始セントスルモノ及ヒ物件ヲ所有スルモノハ其開始前若クハ所有ノ當初(警察官署ノ許可ヲ受クヘキモノハ其許可ヲ受ケタル後)直ニ郡市長ニ届出テ鑑札若クハ檢印ヲ受クヘシ但警察官署ノ許可ヲ受クヘキモノ、内料理屋、飲食店、待合茶屋、席貸、芝居茶屋、遊松宿、遊藝稼人、遊藝師匠、幫間、藝妓(酌婦ヲ除ク)遊技場、人寄席、狩獵法ニ依ル捕鳥獸ニ限リ届出ヲナスニ及ハス又左記一號若ハ數號ニ該當スルモノハ鑑札ヲ受クルニ及ハス

- 一 一定ノ店舗其他ノ營業場ニ於テ營業ヲナスモノ
  - 一 出職ノ理髮人並職工ニシテ十七年未滿ノモノ及徒弟又ハ見習中ノモノ
  - 一 行商並漁業採藻者ニシテ十五年未滿ノモノ及ヒ十三年未滿ノ酌婦
  - 一 一定ノ場所ニ据付クル物件
  - 一 市場、演劇、興行、遊覽所等
  - 一 法律命令ニ依リ鑑札若クハ免狀ヲ受クルモノ
- 營業税法ニ依リ國稅納稅義務ヲ有スルモノ其課稅標準ノ課稅最低限以下ニ減シタルトキハ直チニ届出ツヘシ
- 第二條 左ニ掲クルモノハ前條届書ニ各其下ニ記載スル事項ヲ具スヘシ但免稅ニ屬スヘキモノハ其事由ヲ附記スルヲ要ス
- 一 行商 生月日
  - 二 藝妓 屋 藝妓ノ數但年齡ノ區別ヲ要ス
  - 三 職工 職業ノ種類、生年月
  - 四 出職ノ理髮業 生年月
  - 五 俳優 上中下ノ別生年月

- 六 市 場 當時開場臨時開場ノ別頭取人名、種類、位置、開場日限
- 七 演劇、興行遊覽所 種類、營業ノ日數、一坪場代、木戸錢又ハ見料  
(警察官署ノ許可ヲ要セサルモノノ種類)
- 八 遊技場 種類、長間數、用途、定額場
- 九 小船 種類、用途
- 十 水車 種類、基數等
- 十一 乘馬 頭數
- 十二 屠畜場 位置
- 十三 揚子 船、種類、長間數、艘數
- 十四 揚子 揚子町村外漁業ヲナスモノ
- 十五 釣、笈、網、鵜遣、鰓搔 生年月
- 十六 簾 間數
- 十七 寶引 個數
- 十八 心太草 生年月
- 十九 海苔 鹿菜植立坪數
- 二十 自轉車 自用、營業用ノ別、輛數

廿一 西 洋 形 船 蒸氣船、風帆船ノ別船名、噸數、定繫場  
 廿二 日 本 形 大 船 船名、積石數、定繫場  
 廿三 貨 取 牛 馬 專業、兼業ノ別、頭數  
 廿四 蒸氣石油發動器械 種類、基數等  
 前項届出後届出事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其都度直ニ届出ヘシ但鑑札若クハ檢印ノ變更ヲ要スルモノハ其更訂ヲ受クヘシ  
 第三條 法人ノ使用スル建物ハ種類ヲ區分シ圖面ヲ添ヘ郡市長ニ届出ツヘシ但坪數ハ二階建以上ハ各階毎ニ數ヘ之ヲ合算スルモノトス  
 前項届出事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其都度直チニ届出ツヘシ  
 第四條 本縣並他縣ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲スモノニシテ國稅營業稅ヲ分別シテ納メサルモノハ其本店若クハ支店ヨリ毎年二月末日迄ニ左ノ各項ヲ具シ郡市長ニ届出ツヘシ但届出後届出事項ニ變更ヲ生シタルトキハ直チニ届出ツヘシ  
 一 本店及ヒ各支店ノ所在地名  
 二 營業ノ種類  
 三 資本金額

四 資本金ノ内本店及ヒ各支店ニ於テ使用スル金額  
 五 本店及ヒ各支店別建物賃賃價格  
 六 本店及ヒ各支店別從業者數並從業者ノ内職工勞役者數  
 七 營業稅額  
 第五條 所得稅納稅者ニシテ縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋物件又ハ縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ生スル所得アルトキ及ヒ本縣ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ若クハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ其所得稅ヲ他ノ府縣ニ納付スルモノアルトキハ前者ニアツテハ他府縣ニ屬スル所得ノ種類金額並之ニ對スル所得稅額ヲ後者ニアツテハ本縣ニ屬スル所得ノ種類金額並之ニ對スル所得稅額ヲ八月二十日迄ニ所屬ノ郡市長ニ届出ツヘシ但第一種ノ所得ニ係ルモノハ損益計算書ヲ政府ニ提出スルト同時ニ届出ツヘシ  
 前項届出後届出事項ニ變更ヲ生シタルトキハ直チニ届出ツヘシ  
 第六條 營業稅雜種稅ヲ納ムルモノニシテ營業稅法ニ依リ國稅納稅者ニ移リタルトキハ其旨ヲ記シ郡市長ニ届出ツヘシ  
 第七條 左ニ掲クルモノハ其門戶見易キ所ニ別紙雛形ノ標札ヲ釘付シ置クヘシ  
 物品販賣業 物品貸付業 金錢貸付業 運送業

宿屋業	請負業	木賃宿	牛馬宿
藝妓屋	製造業	印刷業	寫真業
染物業	料理屋	飲食店	湯屋
理髮業	待合茶屋	席	貸芝居茶屋
遊船宿	遊藝師	常時市場	遊技場
人寄席	水車	屠畜場	蒸氣石油發動器械

第八條 第二條ノ九號十號及二十號乃至二十二號ニ該ル物件ヲ賣買讓與シタルトキハ双方連署ノ上各其下ニ記載スル事項ヲ具シ郡市長ニ届出ツヘシ但鑑札届出アルモノハ自轉車ヲ除クノ外之カ引換ヲ受クヘシ(三十五年縣令第四十七號ニテ但書改正)

第九條 他府縣ヘ轉住セントスルモノ若クハ郡市内ニ於テ轉住スルモノハ其旨郡市長ニ届出ツヘシ  
轉住スルモノ郡市ヲ異ニスルトキハ前住地郡市長ニ届出テ更ニ轉住先ニ於テ届出ツヘシ  
前二項ノ場合ニ於テ鑑札アルモノハ返納若クハ書換ヲ受ケ檢印アルモノハ其消印若クハ更正ヲ受クヘシ  
但縣内ノ轉住ニ係ルモノハ檢印ノ更正ヲ受クルニ及ハス

第十條 改名若クハ代換ヲ爲ストキハ郡市長ニ届出ツヘシ但鑑札アルモノハ書換ヲ受クヘシ

第十一條 鑑札若クハ檢印磨滅スルカ又ハ毀損亡失シタルトキハ郡市長ニ申出テ再渡若クハ再檢印ヲ受クヘシ

第十二條 營業者廢業シ又ハ物件ヲ解破シ亡失シ若クハ法人建物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ其旨郡市長ニ届出テ鑑札若クハ檢印(烙印アル部ヲ分テ折斷)アルモノハ之ヲ返納スヘシ但物件ト共ニ之ヲ失ヒタルトキハ其旨届書ニ記載スルヲ要ス

第十三條 鑑札アル營業者及ヒ物件所有者其業務ニ從事シ又ハ物件ヲ使用スルトキハ必ス其鑑札ヲ携帶スヘシ但自轉車ノ鑑札ハハンドルの下部見易キ所ニ卷付ケ小船ノ鑑札ハ艙部内面ニ釘付シ置クヘシ(三十五年縣令第四十七號ニテ但書改正)

第十四條 營業稅雜種稅課目課額ヲ掲クル漁業町村ニシテ全區域廢業スルトキハ隣町村ノ保証ヲ受ケ郡長ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

第十五條 屠畜ヲ爲シタルトキハ其月分ヲ總計シ頭數種類(牛馬豚ノ別)ヲ詳記シ所轄警察官署ノ檢印ヲ受ケ翌月三日迄ニ郡市長ニ届出ツヘシ

第十六條 年稅ヲ納ムヘキ營業者半期間全ク休業セントシ月稅ヲ納ムヘキ營業者全月休業セントスルトキハ同業者ノ保証ヲ受ケ郡市長ニ届出ツヘシ但漁業採藻者ハ此限ニアラス

前項ノ場合ニ於テ其町村ニ同業者ナキトキハ町村長ノ証明ヲ受クヘシ

第十七條 納稅義務ヲ有スルモノ其納稅前ニ於テ他市町村又ハ他府縣ニ轉住スルトキ若クハ納稅義務消滅シタルトキハ稅金ヲ即納スヘシ但市町村會ニ於テ各自ノ等級課額議定前ニ他町村又ハ他府縣へ轉住スルモノハ納稅代人ヲ定メ市町村長ニ届置クヘシ

第十八條 縣稅納稅義務者ニシテ所有地所屬ノ町村内ニ居住セサルトキ又ハ納稅前全戶旅行又ハ行商出稼等ヲナサントスルトキハ其土地若クハ營業物件ノ屬スル町村ニ納稅代人ヲ定メ双方連署ノ上其市町村長ニ届置クヘシ

第十九條 縣稅ノ免除若クハ納稅ノ延期ヲ請ハントスルトキハ納稅前其事由ヲ具シ郡市長ヲ經テ知事ニ願出ツヘシ

前項ノ出願ヲ爲シタルモ納稅迄ニ許可ナキトキハ納稅スヘシ

第二十條 本規則ニ半期トアルハ其年四月ヨリ九月迄若クハ其年十月ヨリ翌年三月迄ヲ謂フ

第二十一條 縣稅ニ關スル願届ニシテ郡長若クハ知事ニ差出スモノハ總テ市町村長(實質轉住等ニシテ兩町村ニ涉ルルハ)ヲ經由スヘシ但舩船ニ就テハ定繫場所所在地ノ町村長ヲ經由スヘシ

第二十二條 第一條乃至第六條第九條第十五條ノ届出ヲナサス又ハ詐偽ノ届出ヲ爲シタルモノ及第七條第八條第十三條第十七條第十八條ニ違背シタル者ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料

ニ處ス

標札雜形堅曲尺九寸  
横曲尺三寸木質適宜

○ 物品販賣業 何之誰

○

●訓令甲第八號

(明治三十五年三月二十七日)

郡市役所 警察署分署 町村役場

縣稅取扱手續左ノ通定メ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十二年四月甲第八號縣稅ニ關スル取扱手續ハ本手續施行ノ日ヨリ廢止ス

縣稅取扱手續

第一條 營業稅雜種稅課目課額ニ該當スル營業及物件ノ所有并ニ使用ノ届出アリタルトキハ郡市町村長ハ一種類毎ニ有稅ト免稅トヲ區別シ課稅ニ必要ナル事項ヲ各其臺帳ニ記入スヘシ但法人使用ノ建物ニ付テハ圖面ヲ調製スヘシ

第二條 前條ノ届出ハ便宜口頭ヲ以テ之ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市町村長ハ第一號式ノ帳簿ニ其要領ヲ記載シ本人ヲシテ氏名ノ下ニ捺印セシムヘシ

口頭ヲ以テ届出タルモノ直チニ自ラ郡役所ニ至リ鑑札若クハ檢印ヲ受ケントスルトキハ町村長



ハ第二號式ノ小票ヲ本人ニ交付スヘシ

前二項ニヨリ取扱ヒタルモノハ毎月三回十日取纏メ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三條 警察官署ニ於テ縣稅營業稅雜種稅課目課額ニ掲記アル營業ノ許可ヲナシタルトキハ其種類住所姓名許可年月日年齢其他必要ナル事項ヲ所轄郡役所ニ通報スヘシ

郡市役所ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ各其彙帳ニ記入シ縣稅取締規則第一條但書ニ該當スルモノニ在テハ郡役所ハ毎月三回十日之ヲ町村長ニ通報スヘシ

第四條 積石五十石未満ノ小船ハ所有者ノ届出ニ依リ市町村長之ヲ檢査シ其間數ヲ定ムヘシ

町村長ハ届書ノ上部ニ檢査濟ノ文字ヲ朱記シ認印ノ上之ヲ進達スヘシ但間數ニ相違アルトキハ査定ノ間數ヲ付記スヘシ

第五條 船ノ間數ハ船庭(甲板及體繼板ノ全部)ノ全長ヲ測リテ之ヲ定メ間未滿ノ端數ハ切捨トス

第六條 耕作専用船トハ農家ニ於テ農具種子肥料收穫物ヲ運搬シ若クハ水田ノ耕作ニ使用スル自家用ニ限ルモノトス

第七條 車ハ所有者ノ届出ニ依リ郡市長ニ於テ之ヲ檢査シ檢印ヲナスヘシ但地利不便ナル町村ニ限リ郡長ハ特ニ町村長ヲシテ假ニ之ヲ檢査セシメ追テ郡吏ヲ派シ更ニ檢印ヲ爲サシムルコトヲ得此場合ニ於テハ町村長ハ檢査ノ上第六號式ノ證明書ヲ下付シ置キ届書ハ其上部ニ有稅證明若

クハ免稅証明ノ文字ヲ朱記シ認印ノ上進達スヘシ

第八條 車ノ種別ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 人力車ハ横巾内法曲尺貳尺未滿ヲ一人乗トシ以上ヲ二人乗トス
- 一 荷積車ハ荷臺ノ縱横相乘シ尺積十四坪以上ヲ大車大七以上トシ同以下ヲ小車トス但普通荷臺ノ外別ニ積載ノ場所ヲ架設スルモノハ其本車ト共ニ坪數ヲ算出スヘシ
- 一 耕作専用車トハ農家ニ於テ農具種子肥料收穫物ヲ運搬スル自家用ニ限ルモノトス

第九條 鑑札ヲ下付シ若クハ檢印スヘキモノハ左ノ各號ニ依ルヘシ

- 一 行商、職工、漆業採漆土地賦課分ヲ除ク、乘馬、筏乘、捕鳥獸、賃取牛馬ハ第三號式(三十五年訓令甲第 十八號ニテ改正)
- 一 自轉車ハ第三號ノ一式(全上追加)
- 一 出職ノ理髮人、遊藝師匠、藝妓、酌婦ハ第四號式
- 一 船積石五十石以上日本形大船及 西洋形汽船風帆船ハ除クハ第五號式
- 一 車ハ第六號式

第十條 鑑札ヲ所持スルモノ甲郡市役所所轄内ヨリ乙郡市役所所轄内ニ轉籍若クハ轉住スルトキハ乙郡市役所ニ於テハ自轉車ヲ除クノ外其鑑札ヲ引換ヘ其旨甲郡市役所ヘ通知スヘシ但舊鑑札ハ之ヲ燒却スヘシ(三十五年訓令甲第 十八號ニテ改正)

第十一條 船、車、自轉車、乘馬等ノ物件ヲ買賣讓與シタル者其管轄<sup>郡市役所</sup>トキハ乙郡市役所ニ於テ發帳ニ登録シ其旨甲郡市役所ヘ通知スヘシ但鑑札アルモノハ自轉車ヲ除クノ外之ヲ引換ヘ舊鑑札ハ燒却スヘシ(三十五年訓令甲第 十八號ニテ改正)

第十二條 縣稅賦課規則ニ依リ戸數割若シハ營業稅雜種稅等級課額議定ノ延期ヲ請ハントスルトキハ其期日及事由ヲ具シ規定ノ期限五日前迄ニ市ハ直チニ町村ハ郡長ヲ經テ知事ニ具申スヘシ

第十三條 縣稅賦課規則ニ依リ營業稅雜種稅地位五等地ノモノニシテ他ノ接續等級地ノ課額ヲ賦課スヘキモノ及四等地以上ノ地ニシテ接續五等地ノ課額ヲ賦課スヘキモノアルトキハ市町村長ハ現地ノ形狀ヲ詳記セル圖面ヲ製シ及ヒ營業ノ種類人員等ヲ具シ毎年四月二十日限り市ハ直チニ町村ハ郡長ヲ經テ知事ニ前者ハ報告シ後者ハ認可ヲ受クヘシ

第十四條 縣稅賦課規則ニ依リ戸數割及ヒ營業稅雜種稅ニシテ市町村會ノ議ニ付スヘキモノハ賦課期日ノ現在<sup>年額ヲ一時ニ議定スルモノハ四月一日</sup>ニ依リ各自ノ課額ヲ審查シテ議案ヲ製シ之ヲ市町村會ニ付議スヘシ但國稅營業稅ト直接關係アル營業稅雜種稅ノ等級課額ハ其權衡上特ニ注意スルヲ要ス

戸數ニ増減アルトキハ町村長ハ毎月末日ニ於テ其月ノ増減數ヲ郡長ニ報告スヘシ但等級課額議定ニ係ル戸數ノ減シタルトキハ其等級課額ヲ付記スルヲ要ス

第十五條 市町村會ニ於テ各個人ノ課額ヲ定ムルニハ總テ之ヲ錢位ニ止メ集計金額ト其市町村ノ

受ケタル配賦額ト符合スルヲ要ス

第十六條 各自ノ等級課額ヲ議定シタルトキハ議定後五日以内ニ第十七號乃至第十號式ニ依リ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

各自ノ等級課額決定シタルトキハ市町村長ハ便宜ノ方法ニ依リ之ヲ納稅人ニ告知スヘシ

第十七條 郡市町村長ハ毎年部内ヲ巡視シ脫稅者ノ有無ヲ檢査シ其狀況ヲ郡市長ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

第十八條 郡市長ハ縣稅取締規則第四條ノ届出アリタルトキハ其都度知事ニ報告スヘシ

第十九條 縣稅ノ免除若クハ納稅ノ延期ヲ請フモノアルトキハ郡市長ハ之レカ調査ヲ遂ケ意見ヲ副申スヘシ

町村長ハ前項ノ届出アルトキハ調査ヲ遂ケ其實況ヲ詳記シテ之ヲ願書ニ添付進達スヘシ

第一號式

營業 物件 種別	届出年月	住	所	姓	名	捺印	小票交付ノ 有無	郡長へ報告 年月日

備考

- 一 小票ヲ交付シタルトキハ相當欄ニ小票交付ト記入スヘシ
- 一 郡長ニ報告シタルトキハ何年何月何日報告済ト記入シ置クヲ要ス
- 一 住所以上記載事項ハ營業其他物件ニ應シ課税上必要ナル事項ノ漏レサル様適宜區劃スルヲ要ス
- 一 轉住賣買其他二郡ニ關係スル場合ハ書面ヲ調製セシムルヲ便宜トス

第二號式

用紙半紙八ツ切

何々業 何年何月何日届出

役場印

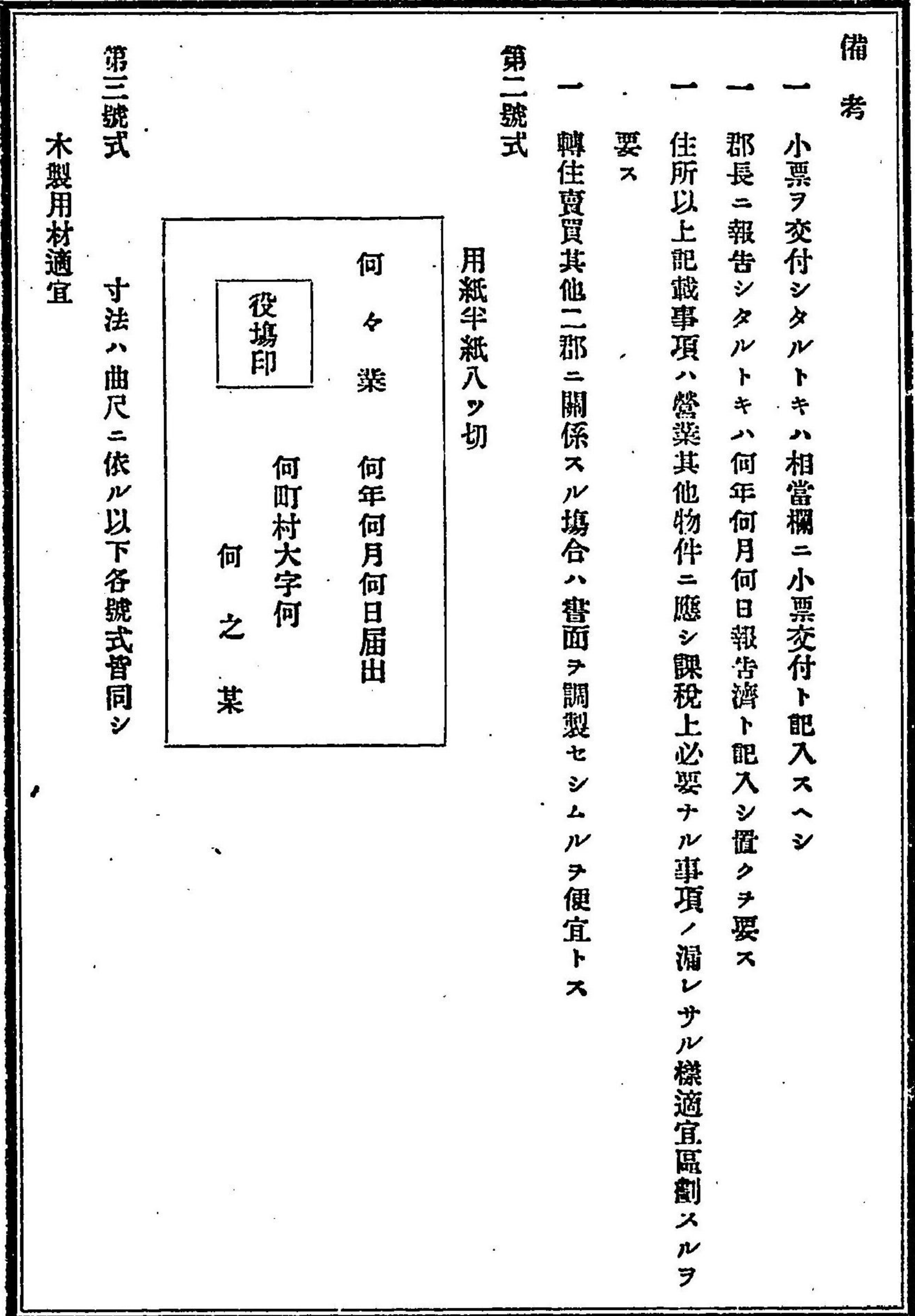
何町村大字何

何之某

第三號式

木製用材適宜

寸法ハ曲尺ニ依ル以下各號式皆同シ



表

分七寸一

二寸三分

第 號

何々業

郡(市)町大字

何ノ

裏

年月日

郡市役所印

烙印

自用ハ「ニツケル」製  
營業ハ眞鍮製



縦一寸  
横三寸

(三十五年訓令第十八號ニテ追加)

第四號式

西洋紙厚紙製

三寸五分

表

分五寸二

第 號

何々業

郡(市)町大字

何ノ

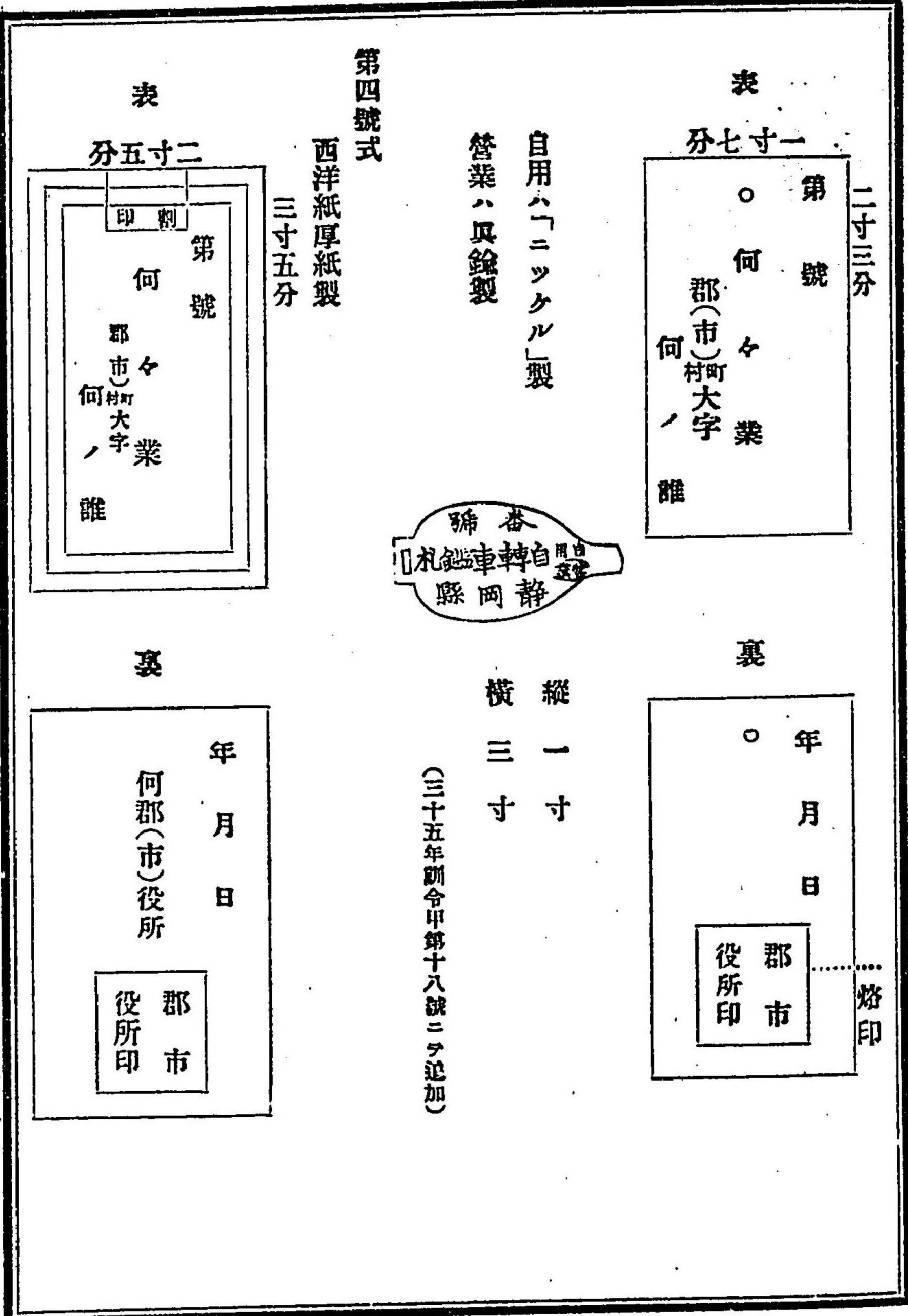
裏

年月日

何郡(市)役所

郡市役所印

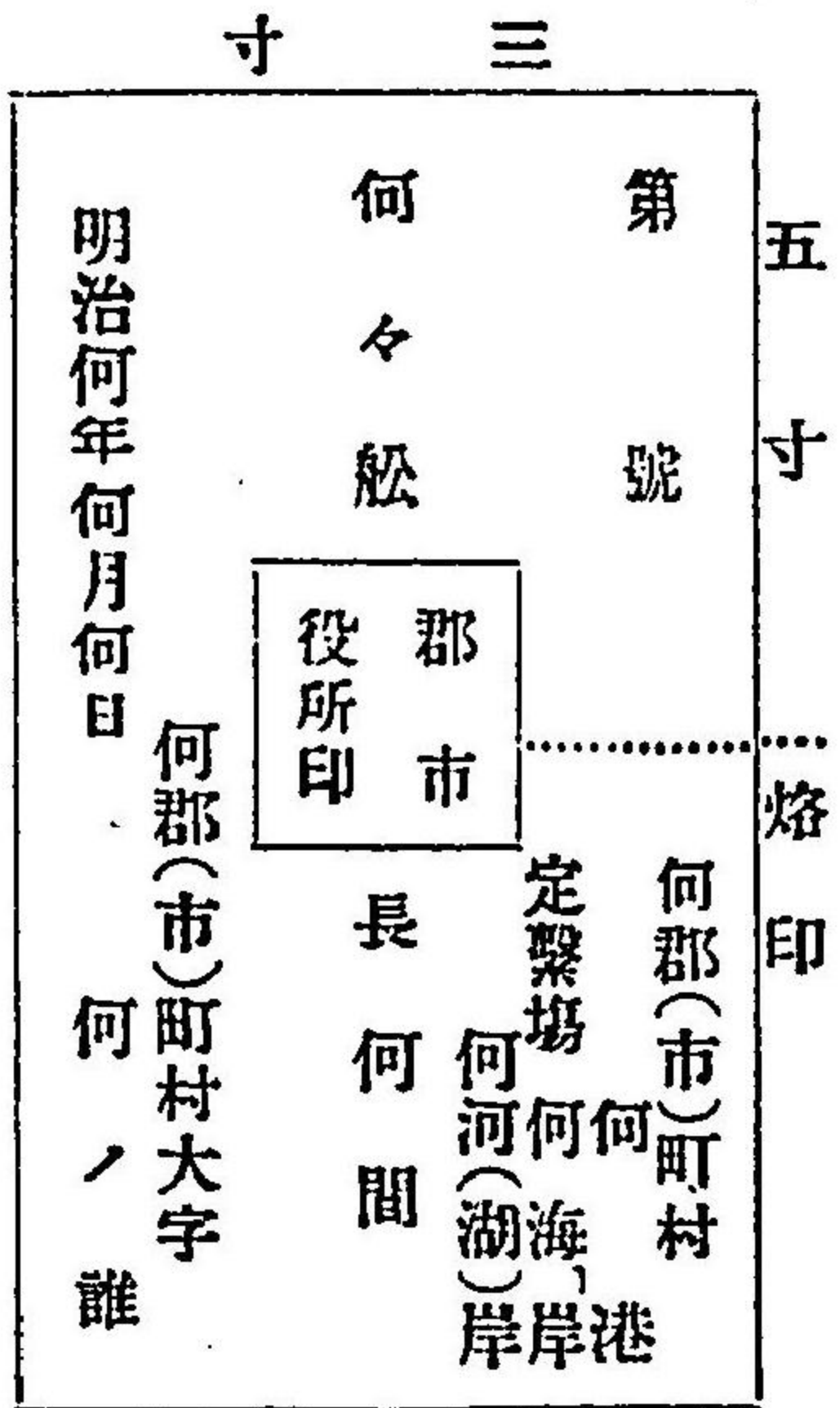
地方制度 府縣制



- 一 各別ニ課税スヘキ業ヲ兼スルトキハ其税目限り各別ニ下付シ各別ニ課税セサルモノヲ兼ヌルトキハ本業鑑札ニ附記スヘシ
- 一 乗馬貨取牛馬ハ壹頭毎ニ自轉車ハ一輛毎ニ番號ヲ付シ各別ニ下付スヘシ

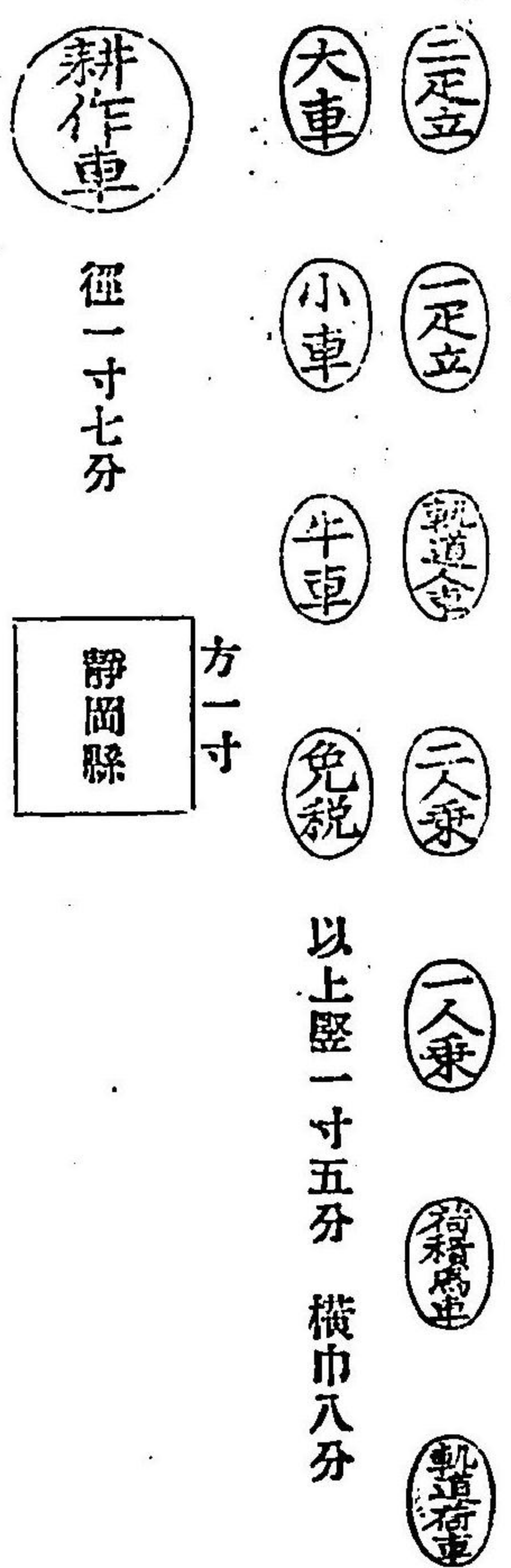
第五號式

木製用材槍



- 一 船ノ種類ハ課目課額ノ別ニ依リ記スヘシ但日本形積石五十石未満ノ船ハ海船ト記シ耕作一途ニ用ユルモノハ耕作船ト記スヘシ
- 一 免稅船ハ官(公)用船水災豫備船渡船松橋組成船傳馬船ボートト記スヘシ
- 一 二間未満ノ船ハ二間未満ト記スヘシ

第六號式



- 一 車類ノ種別ニ依リ縣印ト共ニ檢印スルモノトス
- 一 大車ノ印ハ荷積大七丈八車ニ小車ノ印ハ荷積中小車ニ用ユルモノトス

證明書

何郡(市)町村大字

何々車 何之誰

右検査之上下付ス

明治何年何月何日

何町村長 姓名 圖

第七號式

一 有稅免稅共課目課額并ニ賦課規則ニ依リ檢印ノ例ニ倣ヒ種別ヲ記スヘシ

明治何年度 營業稅 雜種稅 等級課額報告書

何 町 村

何 等 地 某 所

一何 商 幾 戶

此税金若干

但普通課額一戶ニ付金若干

內

一等金若干

兼何商 何

全 上

兼何商 何

小計幾戶

(二月以上ノ小計ヲ付スヘシ他之ニ全シ)

此税金若干

某 某

右ハ明治何年何月何日當町村會ニ於テ書面ノ通議決致候條此段及報告候也

明治何年何月何日

町村長 氏

名 印

第八號式

郡 長 宛

明治何年度 營業稅 雜種稅 合算等級課額報告書

何 町 村

何 等 地 某 所

一何 商 幾 戶

但普通課額一戶ニ付金若干計金若干

此税金若干

(該町村合算流用額ヲ記スヘシ以下同シ)

計 何 戶

此税金若干

內 課

一等金若干

何 商 何

全 上

何 商 何

小計幾戶

此税金若干

二等金若干

何 商 何

某

全 上 何 商 何 某

小計幾戶

此税金若干

奥文前ニ同シ

第九號式

明治何年度雜種稅 漁業稅 探礦稅 等級課額報告書

何 町 村

一 漁業稅金何百何拾何圓

等	級	一人(二戶)ノ課額	總	額	人	員	(戶數)
一	等	何圓何拾錢	何圓何拾錢	何	何	何	人
二	等	全	全	全	全	全	人
二	等	全	全	全	全	全	人
計		何百何拾何圓	何百何拾何圓	何	何	何	人
		何 町 村	何 町 村				

一心太草稅金何拾何圓何拾錢 大 字 何

等	級	一人(二戶)ノ課額	總	額	人	員	(戶數)
一	等	何圓何拾錢	何圓何拾錢	何	何	何	人
二	等	全	全	全	全	全	人
計		何圓何拾錢	何圓何拾錢	何	何	何	人

以下大字等ヲ異ニスル毎ニ本表ニ做フ

海苔採ノ課額報告書モ右書式ニ依ルヘシ

奥文前ニ同シ

第十號式

明治何年度戶數割等級課額報告書

一 戶數割配付額金何百何拾何圓何拾錢 何 町 村

此戶數何戶 但普通課額一戶ニ付金何拾何錢

等	級	一 戶ノ課額	總	額	戶	數
一	等	何圓何拾錢	何拾何圓何拾錢	何	何	戶

地方制度 府縣制

計	二 等 全	三 等 全	四 等 全	何百何拾何圓何拾錢	何	戶
	全	全	全	全	全	全

與文前ニ同シ

●稅第五五號

(明治二十九年三月七日)

各郡長宛內務部長通牒

本年二月縣令第十五號ヲ以テ府縣稅徵收法施行細則改正相成候處演劇興行遊覽所又ハ屠宰稅ノ類ニシテ即納又ハ納稅者ノ望ニヨリ稅金ヲ納付セントスル場合ニ於テ徵稅令書發付ノ手續ヲ履行スルノ暇ナキトキハ町村收入役ヲシテ該稅金ヲ領收シテ報告セシメ徵稅令書發付ノ手續ニ御取扱相成可然命ニ依リ此段及通牒候也

●縣令第二十號

明治三十五年三月十七日

明治三十三年三月三縣令第二十九號縣稅徵收期限左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

地租割

〔前  
後  
半  
期  
分〕 其年四月三十日限  
全 十月三十一日限

戶數割

〔前  
後  
半  
期  
分〕 其年五月三十一日限  
全 十一月三十日限

營業稅附加稅

營業稅徵收ト同時

營業稅雜種稅

市町村會ニ於テ課額ヲ議決スル者  
 前  
後  
半  
期  
分  
 其年六月三十日限  
 前  
後  
半  
期  
分  
 其年五月三十一日限  
 前  
後  
半  
期  
分  
 其年十一月三十日限  
 所得割、續業割  
 所得稅、續業稅  
 徵收ト同時

月稅

其月末日限

日稅

開業ノ前日

季稅

〔海苔  
捕鳥獸〕

其年九月三十日限  
 其年十一月三十一日限  
 其年十一月三十日限

右納期後納稅義務ノ生シタルモノ

年稅 其期分 翌月末日限  
 季稅 開業ノ翌月末日限

以上納期ノ末日日曜日又ハ大祭祝日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ納期末日トス

●甲第五號 (明治三十一年二月十日)

郡役所 市役所 町村役場

縣稅徵收並ニ滯納處分取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 縣稅滯納處分ノ爲メ財產差押ヲ爲ストキハ國稅徵收法第十一條ノ証票ハ縣稅徵收命令ノ委任ヲ受ケタル命令者之ヲ發スヘシ  
前項ノ証票ハ左ノ如シ

用紙厚紙 縱二寸五分横一寸五分

第何號	表	裏
縣稅滯納者財產差押証票		
郡(市)役所印		
		官(職)氏名

第二條 國稅徵收法第九條其他ニ掲クル收稅官吏ノ事務ハ郡長又ハ市長之ヲ取扱フヘシ但郡長ハ便宜町村長ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ又遠隔セル町村ニ在テハ其ノ事務ノ全部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第三條 町村長ハ前條但書ノ命令ヲ受ケタルトキハ國稅徵收法第三章ノ規定ニ依リテ處理シ完了ノ上ハ其顛末ヲ詳記シ郡長ニ申報スヘシ

第四條 滯納處分費ノ納金ハ郡役所ニ於テ處分スルモノハ縣稅雜收入トシ市役所町村役場ニ於テ處分スルモノハ各其ノ經濟ニ收入スヘシ

第五條 國稅徵收法第二十四條ノ物品買上代金ハ事由ヲ詳記シ郡長又ハ市長ハ縣廳ニ之ヲ請求シ町村長ハ郡長ニ請求スヘシ

●縣令第二十一號 (明治三十五年三月十七日)

貸座敷引手茶屋娼妓賦課徵收規則左ノ通定ム

貸座敷引手茶屋娼妓賦課徵收規則

第一條 貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金ハ別表ニ依リ毎月一日ヲ賦課期トシ之ヲ賦課ス但一日ニ於テ休業若クハ停止中ニ係ルトキハ復業ノ日ヲ賦課期日トシ之ヲ賦課ス

一日以後新ニ業ヲ始ムルモノハ開業ノ日ヲ賦課期日トシ十五日以前ナルトキハ全額ヲ十六日以後ナルトキハ半額ヲ賦課ス

第二條 賦金ハ賦課期日後移轉寄留替其他ニ依リ賦課額ニ異動ヲ生スルモ其月分ハ之ヲ増減セズ  
第三條 賦金ハ左記各項ニ該當スルモノ、外之ヲ減免セズ



一 廢業十五日以前ナルトキハ其月分半額ヲ減ス

一 一ケ月中引續休業十六日以上ニ涉ルトキハ其月分半額ヲ減シ全月ニ涉ルトキハ全額ヲ免ス但娼妓ニシテ逃亡ノ者ハ之ヲ休業者ト見做ス

一 娼妓納期日前ニ於テ死亡シタルトキハ其未納ニ屬スル賦金ヲ免ス

第四條 賦金徵收ノ命令ハ市ニ係ルモノハ縣知事町村ニ係ルモノハ郡長之ヲ發ス

第五條 賦金ハ翌月十日ヲ以テ納期トス但休日ニ當ルトキハ繰上トス

第一條第一項但書及廢業ノ場合若クハ他ノ免許地域へ移轉寄留替ノ場合ハ其時々納期ヲ指定シテ之ヲ徵收ス

第六條 貸座敷引手茶屋娼妓ハ便宜代納人ヲ定メ置キ賦金ヲ納付スルコトヲ得此場合ニ於テハ双方連署ノ上市ニアルモノハ縣知事ニ町村ニ在ルモノハ郡長ニ届出ヘシ

第七條 納期ヲ過キ賦金ヲ完納セサル者アルトキハ滯納中其業ヲ停止シ且督促狀ヲ發スヘシ督促狀ヲ發シタルトキハ手數料トシテ一通毎ニ金拾錢ヲ徵收ス(三十五年縣令第四十五號ニテ追加)

第八條 貸座敷引手茶屋ノ免許及娼妓名簿登錄ヲ受ケタルモノハ左ノ事項ヲ具シ取締連署ノ上即日市ニ在ル者ハ縣知事町村ニ在ル者ハ郡長ニ届出ヘシ

一 貸座敷引手茶屋ハ樓名若クハ屋號

一 娼妓ハ稼名及寄留スル貸座敷ノ樓名並ニ一本ノ玉代

前項届出事項ニ異動アル時ハ其都度届出ヘシ

第九條 廢業休業復業及移轉寄留替ハ其ノ都度市ニ在ル者ハ縣知事ニ町村ニ在ル者ハ郡長ニ届出ヘシ但移轉寄留替ノ場合兩郡市ニ涉ルトキハ原住地ニ於テハ其旨轉住地ニ於テハ前條第二項ノ事項ヲ具シ其旨ヲ届出ヘシ娼妓逃亡シタルトキハ樓主ヨリ届出ヘシ

附 則

第十條 本規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年五月縣令第二十五號ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

地位等級課額表

免許地地位	貸座敷		引手茶屋		娼妓	
	賦課標準	一ヶ月賦金	一ヶ月賦金	賦課標準	一ヶ月賦金	
一等地 静岡市	寄寓娼妓二十名以上ノモノ	拾貳圓	四圓	玉代五拾錢以上ノモノ	參圓八拾錢	
	全十名以上二十名未満ノモノ	九圓		全五拾錢未満ノモノ	參圓參拾錢	
二等地 静岡市	全五名以上十名未満ノモノ	六圓五拾錢	四圓	全五拾錢未満ノモノ	參圓參拾錢	
	全五名未満ノモノ若クハ寄寓娼妓ナキモノ	五圓		滿ノモノ		

地方制度 府縣制

二等地		三等地	
三島町、沼津町、吉原町、江尻町、藤枝町、島田町、掛川町、見付町、二俣町、濱松町	寄寓娼妓十名以上ノモノ、全五名以上十名未満ノモノ、全五名未満ノモノ若ハ寄寓娼妓ナキモノ	下田町、網代村、御厨町、大宮町、興津町、金谷町、相良町、大須賀村、西方村、森町、中泉町、山名町、掛塚町、新居町、白須賀町、新所村、笠井町、氣賀町、金指町、四瀨名村	寄寓娼妓十名以上ノモノ、全五名以上十名未満ノモノ、全五名未満ノモノ若ハ寄寓娼妓ナキモノ
八圓	六圓	七圓	四圓
參圓五拾錢		貳圓五拾錢	
玉代一本五拾錢以上ノモノ	全五拾錢未滿ノモノ	五代一本五拾錢以上ノモノ	全五拾錢未滿ノモノ
參圓參拾錢	貳圓八拾錢	貳圓八拾錢	貳圓參拾錢

本表貸座敷賦金賦課標準寄寓娼妓ノ數ハ休業若クハ逃亡中ノモノモ之ヲ計算ス

但休業逃亡引續キ一ヶ月以上ニ及ヒタルトキハ爾後之ヲ除ク

●訓令甲第七號 (明治三十五年三月十七日)

郡役所 警察署分署

貸座敷、引手茶屋、娼妓賦金取扱手續左ノ通定ム  
貸座敷、引手茶屋、娼妓賦金取扱手續

第一條 縣廳郡役所ニ於ケル貸座敷引手茶屋娼妓ノ賦金彙帳ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

第二條 賦金ヲ納期日ニ完納セサル者アルトキハ收入命令ヲ發シタル當該官廳ヨリ其旨所轄警察署ニ通知スヘシ

警察官署ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直チニ停止ノ處分ヲナシ其旨前項通知ヲ受ケタル官廳ニ通知スヘシ

第三條 第二條第一項ノ通知ヲ爲シタル後滯納者賦金ヲ完納シタルトキ若クハ滯納處分終了シタルトキハ其旨更ニ警察官署ニ通知スヘシ

警察官署ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直チニ停止ヲ解除スヘシ

貸座敷賦金彙帳様式(省零ス)

●縣令第三十二號 (明治三十四年四月十九日)

縣稅檢査規則左ノ通相定ム

縣稅檢査規則

第一條 縣稅ヲ納ムヘキ義務者ニシテ法律命令ニ違フ者ナキヤ否ヤヲ檢査セシムル爲メ縣稅檢査員ヲ置ク

第二條 縣稅檢査員ハ縣吏員ヲ以テ之ニ充ツ

但縣官吏ヲシテ兼掌セシムルコトアルヘシ

第三條 縣稅ヲ納ムル義務アル者ト否トヲ問ハス縣稅檢査員ヨリ尋問アリタルトキ又ハ營業ニ關スル帳簿、物件、鑑札並納稅証憑等檢閱ノ要求アリタルトキハ速ニ之ニ應スヘシ

第四條 縣稅檢査員ハ檢査上必要アルトキハ其郡ノ官吏、警察官吏又ハ市町村吏員ニ立會又ハ補助ヲ求ムルコトアルヘシ

第五條 縣稅檢査員ハ檢査員タル證憑ヲ携帶ス若シ關係者ヨリ請求アリタルトキハ之ヲ示スヘシ

第六條 縣稅納稅義務者ニシテ縣稅檢査員ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第七條 貨座敷、引手茶屋、娼妓ノ賦金ニ就テモ亦此規則ヲ適用ス

縣稅檢査員ノ證票式

用紙厚紙 縱三寸 橫二寸

割 印
静岡縣縣稅檢査員職氏名
静岡縣縣稅檢査員證票

裏
明治何年何月何日
静岡縣縣稅
縣 印

●訓令甲第十六號

(明治三十四年五月三日)

郡役所 市役所 警察署 全分署 町村役場

縣稅又ハ賦金ノ賦課徵收ニ關シ縣稅檢査員ニ於テ關係帳簿書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ速ニ之ニ應スヘシ

●廳中達第一八號

(明治三十四年四月十九日)

知事官房 內務部

縣稅檢査員職務規程左ノ通相定ム

縣稅檢査員職務規程

第一條 縣稅檢査員ハ內務部第一課ニ屬シ縣稅檢査ニ從事ス

第二條 縣稅檢査員ニ於テ縣稅取締規則ノ罰則ニ該當スル者ヲ發見シタルトキハ知事ノ指揮ヲ受ケ本人ノ住所、姓名、營業、若クハ物件ノ種類、稅目、金額及事犯ノ立證、年月日等ヲ記載シタル調書ヲ以テ告發スヘシ但シ事狀猶豫スヘカラスト認ムルトキハ指揮ヲ俟タス直ニ告發スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ即時調書寫ヲ添ヘ知事ニ具狀スヘシ (三十五年四月廳中達第一八號ヲ以テ改正)

第三條 縣稅檢査員ニ於テ縣稅ニ關スル規則ニ違反スルモノヲ發見シタルトキハ能ク稅則ノ主旨

ヲ論シ直ニ届書ヲ徴シ若クハ事件ニ依リ期日ヲ定メ正當ノ手續ヲ爲スヘキ旨ノ請書ヲ徴スヘシ  
前項届書ハ其右傍ニ檢印ヲナシ之ヲ納稅義務者所屬ヲ市町村長ニ回付シ請書ヲ徴シタルモノニ  
就テハ其要領ヲ通知スヘシ但郡ニ屬スルモノニアツテハ同時ニ違反者ノ住所姓名事由等ヲ郡長  
ニ通知スルコトヲ要ス(三十五年四月縣中達第  
三九號ヲ以テ改正追加)

第四條 縣稅檢査員ハ常ニ營業ノ盛衰消長、逋稅脫稅ノ起因及所爲等ニ留意シ賦課ノ均衡、徵收  
ノ平易ヲ期スル方法等ヲ講究スヘシ

第五條 縣稅檢査員ニ於テ巡廻セントスルトキハ豫メ檢査箇所ノ日割ヲ定メ内務部長ニ申報スヘ  
シ巡廻ノ都合其他ノ事故ニ依リ日割ヲ變更シタルトキ亦同シ

第六條 巡廻中病氣ノ爲メ執務シ難キトキハ其旨即日知事ニ届出ツヘシ

第七條 縣稅檢査員ハ日誌ヲ作り巡廻中取扱ヒタル事項、經過地名及第四條ニ掲ケタル事項ニ關  
シ意見アレハ其要領等ヲ記錄シ置キ知事ニ具狀スヘシ但巡廻期日三十日以上ニ涉ルトキハ十日  
毎ニ具狀スヘシ

第八條 此規程ノ外服務心得ニ關シテハ仍ホ官吏服務規律ヲ準用ス

### 第三 縣有財產

◎告示第四十四號 (明治三十五年二月二十七日)

縣有財產管理規則縣會ノ議決ヲ經左ノ通り之ヲ改正ス

#### 縣有財產管理規則

第一條 此ノ規則ニ於テ縣有財產ト稱スルハ縣ノ所有ニ屬スル土地建物及其附屬物並別途積立金  
トス

第二條 縣有財產ノ管理ハ特別ノ規定ヲ除クノ外此ノ規則ノ定ムル所ニ依ル

第三條 縣有財產ハ彙帳ヲ備ヘ其所在種類數量用途等ヲ記載スルモノトス

第四條 縣有財產中現金有價證券並貸付預ケ入證書等ハ縣廳ニ於テ之ヲ保管シ其他ノ財產ハ縣廳  
又ハ直接之ヲ使用スル各庫ニ於テ之ヲ保管ス

第五條 縣有財產ノ賣却代金ハ其財產引渡ノ際一時ニ之ヲ納付セシム

第六條 國債證券地方債證券其他諸債券株券ノ賣買ハ縣參事會ノ議決ヲ經ヘキモノトス

第七條 縣有財產ノ貸付及預入ハ縣參事會ノ議決ヲ經ルモノトス但一時使用ニ係ルモノハ此ノ限  
ニアラス

第八條 縣有財產ノ貸付期限ハ五ヶ年以内トシ相當ノ料金若ハ利子ヲ徵收ス但公共事業ニ對シ貸  
付ルトキハ之ヲ徵收セサルコトヲ得

第九條 縣有財産ノ貸付料ハ一ケ年度分ヲ毎年四月前納セシムルモノトス新タニ縣有財産ヲ貸付ルトキハ貸付ノ月ヨリ月割ヲ以テ其年度分ヲ前納セシムルモノトス

第十條 縣有財産ノ貸付ハ貸付期限、貸付料、利子ノ徵否及其金額利率、納付期限擔保ノ要否等ノ外尙左ノ事項ヲ契約スヘシ

- 一 縣ノ都合若ハ公益上必要ト認ムルトキハ何時ニテモ契約ヲ解除スルコト
- 一 前號ノ場合ニ於テ借受人損失ヲ受クルモ縣ニ於テ之ヲ賠償セサルコト
- 一 契約解除ノ場合ニ於テハ借受人ノ都合ニ出タルトキハ其翌月分ヨリ第一號ニ依ルトキハ其月分ヨリ月割ヲ以テ既納ノ料金を還付スルコト但借受人カ契約ノ條項ニ違背シタル爲メ解約ヲ爲ストキハ之ヲ還付セサルコト
- 一 借受人縣知事ノ許可ヲ得スシテ使用ノ目的ヲ變更シ又ハ他人ニ轉貸シ若ハ其原形ヲ變更シタルトキ及故意怠慢ニ依リ之ヲ荒廢ニ歸シ又ハ毀損亡失シタルトキハ其損害ヲ賠償セシムルコト
- 一 維持修繕其他ノ費用負擔ニ關スルコト

第十一條 縣有財産中積立金ノ預入ハ大藏省預金若ハ銀行ノ利付定期預ケ金當座預ケトス其預入ヲナスヲ得ヘキ銀行ハ資本金拾萬圓以上ニシテ確實ト認ムルモノニ限ル但一銀行ニ預入ル、限

度ハ資本金十分ノ一トス

銀行預ケ金ノ利子ハ年利五厘以上トシ預ケ入ノ都度縣知事之レヲ定ム

第十二條 縣有財産ノ貸付預入ヲ爲ストキハ其財産時價以上ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルモノトス但不動産ノ貸付及公共團體ニ貸付ルトキハ擔保ヲ提供セシメサルコトヲ得前項ノ擔保ハ利付國債証券ニ限り其價格ハ縣知事之ヲ定ム

附 則

第十三條 此規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

第十四條 此規則施行以前ニ爲シタル貸付預入ニシテ此規則ト牴觸スルモノアルモ其期限ヲ定メタルモノハ滿期マテ舊契約ニ依リ其期限ノ定メナキモノハ施行ノ月ヨリ一ケ年以内ニ之ヲ更正スルモノトス

●廳中達第二〇號

(明治三十四年四月二十二日)

内務部各課 警察部各課

縣經濟ノ財産中其部課主掌ニ屬シ使用スル土地建物ハ各其部課ニ於テ第一號様式ニ依リ臺帳ヲ備フヘシ其調製期限ハ三十四年六月三十日トス建物ノ新築改築修繕變更ヲナシタルトキハ内務部第二課ハ其都度圖面ヲ添へ臺帳記入ニ要スル事項ヲ各主掌ノ課ニ通報スヘシ

各部課ハ毎年十月十日迄ニ第二號様式ニ依リ十月一日現在財産明細ヲ内務部第一課ニ通報スヘシ  
第一項ノ土地建物ニシテ其使用ヲ廢止シタルトキハ物件ト共ニ臺帳ヲ内務部第一課ニ引繼クヘシ  
但明治三十二年二月十五日一第三六一號達ハ廢止ス

第四 罹災救助

●縣令第二十五號 (明治三十五年三月三十一日)

明治卅二年九月縣令第五十號罹災救助基金法施行規則左ノ通改正明治卅五年四月一日ヨリ施行ス

罹災救助基金法施行規則

第一章

- 第一條 罹災救助基金ハ知事之ヲ管理ス
- 第二條 罹災救助基金ハ臺帳ヲ備ヘ種類金額等ヲ明瞭ニ記載ス
- 第三條 罹災救助基金ニ屬スル有價證券及證書若クハ預ケ金擔保品ハ之ヲ金櫃中ニ保管ス
- 第四條 罹災救助基金法第十七條ニ依リ運用ヲ爲サントスルトキハ左ノ場合ヲ除クノ外縣參事會ノ議決ニ依ル
- 一 國債証券ノ買入ヲナスコト

二 大藏省預金トシ若クハ銀行ヘ預ケ入ヲナスコト

第五條 銀行預ケ入ハ年利五米以上トシ其擔保品ハ利付國債證券ニ限ル但擔保品ノ價格ハ時價ニ依リ預金額以上タルヘシ

非常災害ノ爲ニ要スル縣ノ土木費ヘ貸付セントスルトキモ亦其利率ハ前項ノ制限ニ依ル但擔保ニ關スル事項ハ縣參事會ノ議決ニ依ルモノトス

第二章

第六條 災害ノ狀況ニ依リテハ適宜避難所ヲ設ケ之レニ入ラシム其設置ニ要スル一切ノ費用ハ一人當リ金貳圓以内トス

第七條 食料ハ左ノ區分ニ依リ日數十五日以内之ヲ給與ス但第八條ノ焚出米ヲ給スルトキハ其日數ヲ合セテ十五日ヲ超過セサルモノトス

男	一人	一日米五合
女	一人	全 四合
七十年以上十三年未滿	一人	全 三合

前項ノ給與米ハ罹災者所在地ノ下等品トス災害ノ狀況ニヨリ第一項ノ日數ヲ超ヘテ猶ホ救助ヲ必要トスル場合アルトキハ更ニ十五日以内之ヲ給與スルコトヲ得

第八條 災害ノ狀況ニ依リテハ日數七日以内焚出米ヲ給スルコトアルヘシ其給與米ハ第七條ノ量ヲ超ヘス但摺贈其他禁出ニ要スル費用ハ別ニ之ヲ支給ス

第九條 被服ハ寒暑ニ應シ其價格一人當リ金壹圓五拾錢十三年未滿ノ者ハ金七拾五錢以内ニ於テ亡失シタルモノ、中差當リ必要ノモノヲ給與ス

第十條 施療ヲ爲スハ左ノ區分ニ依ル

施 藥 十五日以内

看護人 十五日以内

手術等 十五回以内

災害ノ狀況ニ依リ前項ノ制限以上猶ホ施療ヲ必要トスル場合アルトキハ施藥、看護人ハ各十五日以内手術ハ十五回以内之ヲ爲スコトヲ得

第十一條 災害ノ狀況ニ依リテハ病院其他ニ收容シテ治療スルコトアルヘシ此場合ニ於テモ亦前條ノ制限ヲ超ヘス但收容治療所ニ要スル費用ハ別ニ之ヲ支出ス

第十二條 小屋掛ヲナスヘキ材料ハ一戸金拾圓以内ニ於テ之ヲ給與ス

第十三條 資料及器具ハ職業ノ種類ニ依リ左ノ金額以内ニ於テ之ヲ給與ス

資 料 一 戸 金貳圓

器 具 全 金參圓

第 三 章

第十四條 罹災救助基金補充ノ必要アルトキハ其際之ヲ定ム

●訓令甲第十一號 (明治三十五年三月三十一日)

郡 役 所

罹災救助取扱手續別紙ノ通相定メ明治卅五年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十三年三月第九一〇號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

罹災救助取扱手續

第一條 罹災救助基金法施行規則ニ依リ救助ヲナスハ同時ニ同一ノ災害ニ罹リ左ノ各號ニ該當スル場合トス

- 一 火災ニヨリ全焼トナリタルモノ千戸未滿ノ町村ニアリテハ總戸數ノ三十分一以上千戸以上三千戸未滿ノ町村ニアリテハ四十分一以上三千戸以上ノ市町村ニアリテハ五十分一以上アリタルトキ
- 二 風災震災崩災ニヨリ全潰トナリタルモノ一市町村總戸數ノ五十分一以上アリタルトキ若クハ十町歩以上收穫皆無ナルトキ

三 水災ニヨリ流失若クハ全潰トナリタルモノ一市町村總戸數ノ八十分一以上若クハ浸水床上ニ及フモノ十分一以上アリタルトキ若クハ十町歩以上收穫皆無ナルトキ

四 風浪ノ爲メ船體潰破又ハ覆没シ一町村ニ於テ十人以上死亡シタルトキ又ハ漁業町村ノ漁船其町村總數ノ十分一以上流失若クハ潰破シタルトキ

前項各號ニ記載ナキ災害ニ罹リ救助ヲ必要ト認ムルトキ及特別ノ事情ニ依リ前項ニ據リ難キトキハ郡長ハ其事情ヲ具シ知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第二條 前條ノ災害アリタルトキハ郡長ハ直チニ災害ノ狀況及被害ノ區域戸數並ニ死傷者ノ有無等ヲ調査シ救助費支出金額見込書ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

第三條 罹災ノ爲メ救助ヲ出願スルモノアルトキハ郡長ハ左ノ各條ニ依リ罹災救助基金法施行規則ニ照シ之ヲ救助シ第一號書式ニ依リ十日以内ニ報告スヘシ

第四條 避難所又ハ收容治療所ハ適當ノ場所ニ於テ社寺其他公私ノ家屋ヲ假用シ之ニ充ツヘシ但借家料ヲ要スルトキハ其地ノ賃貸價格ニ依リ之ヲ支辨スヘシ

前項ニ該當スル家屋ナキカ又ハ差支アル場合ニ於テハ雨露ヲ凌クニ足ルヘキ小屋掛ヲスヘシ避難所又ハ收容治療所ヲ設置シタルトキハ其旨直チニ報告スヘシ其必要ノ止ミタルトキハ避難所第二號書式收容治療所ハ第四號書式ニ依リ十日以内ニ報告スヘシ

第五條 食料、被服、小屋掛材料ヲ給與シ又ハ治療ヲナスヘキ者ハ所有地自己居住ノ宅地ヲ除ク地價及其他ノ財産自己ノ居住ノ家屋及日常必需ノ財物ヲ除ク時價ヲ合セテ金拾五圓以内ニシテ縣稅戸數割普通課額未滿等級課額未滿未滿決後入住シタルモノハ將ノモノニ限ル來ノ見込額ノモノニ限ル

前項ノ制限ハ焚田米ヲ給與シ又ハ避難所ニ入ラシムル場合ニハ之ヲ適用セス

第六條 食料給與ノ等級ヲ分チテ四等トシ一等十五日以内二等十二日以内三等八日以内四等五日以内トシ其ノ等級査定標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 老幼癡疾若クハ傷病等ニシテ實際勞働ニ堪ヘサルモノ三分ノ二以上アルモノヲ一等トス
  - 二 老幼癡疾若クハ傷病等ニシテ實際勞働ニ堪ヘサルモノ半數以上三分ノ二未滿アルモノヲ二等トス
  - 三 老幼癡疾若クハ傷病等ニシテ實際勞働ニ堪ヘサルモノアルヲ三等トス
  - 四 前各項ニ該當セサルモノヲ四等トス
- 野災救助基金法施行規則第七條末項ニ依リ十五日以上食料給與ノ必要アルトキハ其狀況並ニ給與見込日數等ヲ詳記シ指揮ヲ請フヘシ

第七條 焚出ヲ爲スニ要スル傭人夫薪炭并ニ鹽噌等ノ費用ハ左ノ金額以内ヲ以テ支辨スヘシ但本文金額内ヲ以テ支辨スルコトヲ得サル特別ノ事情アルトキハ適宜處分ノ上詳細具申スヘシ



遺贈薪炭ノ類

罹災一人ニ付一日金參錢以內

備人夫料

備夫一人ニ付一日金四拾錢以內

焚出ヲ爲シタルトキハ第三號書式ニ依リ十日以內ニ報告スヘシ

第八條 食料ハ白米ヲ以テ之ヲ給與ス

第九條 被服ヲ給與スルトキハ左ノ種類及價格ヲ以テ標準トス但綿入衣袷衣單衣ハ之ヲ併セ給スルコトヲ得ス

綿入衣	壹枚	金壹圓拾錢
袷衣	壹枚	金九拾錢
單衣	壹枚	金五拾錢
襦袢	壹枚	金參拾錢
三尺帶	壹筋	金拾錢

第十條 施藥ヲ爲スハ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ勞働ニ服スル能ハサル事實アルモノニ限り看護人ヲ付スルハ罹災者ノ一家悉ク傷痕疾病ニ罹リ之レカ看護ヲ爲ス者無キ場合トス但施藥ハ患者一人ニ付一日ノ服藥二種以內トシ看護人ハ患者三人迄ニ一人ノ割合トス  
罹災救助基金法施行規則第十條第二項ニ依リ十五日以上施療ヲ爲スノ必要アルトキハ其狀況並

ニ施療ノ見込日數等ヲ詳記シ指揮ヲ請フヘシ

第十一條 小屋掛ノ材料ヲ給與スルニハ左ノ價格ヲ以テ標準トス

- 一 全燒流失ハ一家二人以下ノモノニアツテハ金六圓トシ一人ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加ヘ金拾圓ヲ以テ限度トス
- 二 半燒全潰ハ一家二人以下ノモノニアツテハ金四圓トシ一人ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加ヘ金七圓ヲ以テ限度トス

第十二條 資料器具ヲ給與スヘキモノハ農業者ニアツテハ所有ノ地價(自己居住ノ宅地ヲ除ク)金五拾圓以內及其他ノ財産(除ク)地價金拾圓以內ヲ所有スルモノニ限り其ノ他ノ勞働者ニアリテハ所有ノ地價(自己居住ノ宅地ヲ除ク)及時價ヲ合セテ金拾五圓以內ヲ所有スルモノニ限ル

第十三條 器具及資料ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ給與スルモノトス

- 一 器具ハ職業ノ種類ニヨリ其亡失シタルモノ、内差當リ必需品一通リヲ給與ス
  - 二 種穀ハ播種ノ季節ニヨリ區別シ粃ハ田壹反歩ニ付四舛麥ハ畑壹反歩ニ付四舛粟黍稗ハ五合大豆ハ五舛小豆ハ四舛ノ割合トシ其壹種ニ就キ給與ス
  - 三 營業其他ノ資料ハ從來ノ業務ヲ再ヒ開始シ得ヘキ程度ニ於テ之ヲ給與ス
- 器具并ニ資料ハ種穀ヲ除クノ外下等品ヲ給與ス

第十四條 正當ノ理由ナシテ罹災當日ヨリ七日以内ニ出願セサルトキハ都テ救助ヲ爲サ、ルモ  
ノトス

第十五條 特別ノ事情アルモノハ第五條第十二條ノ資格ニ適合セスト雖トモ該條ニ準シ救助スル  
コトアルヘシ

前項ノ事實アルトキハ郡長ヨリ特ニ其狀ヲ具シ指揮ヲ請フヘシ  
第一號書式ノ一

明治何年何月何日何災救助報告

一金 何程

何町(村)外何ヶ町村何戸分

但明細ハ別紙ノ通り

内

金 何程

食料給與何戸何人分

但白米何程

金 何程

小屋掛材料給與何戸分

但何圓給與相當ノモノ何戸、此金何拾圓、何圓給與相當ノモノ何戸此金何拾圓

金 何程

被服給與何戸何人分

内

金 何程

綿入衣(拾衣)(單衣)

金 何程

襦 袷

金 何程

三 尺 帶

金 何程

施療何人分

内

金 何程

醫師診察料

金 何程

藥 價

金 何程

療 治 料

金 何程

看護人手當

金 何程

器具給與何戸分

金 何程

資料給與何戸分

右之通何年何月何日救助取計候也

明治年月日

郡

長

縣知事宛

第一號書式ノ二

何町(村)大字何々何番地  
職業何

何之誰

家族(戸主モ)七十三年以上男 人  
内(病者)人 七十三年未滿 人  
内(負傷者)人 七十三年未滿 人  
内(負傷者)人  
食料

一白米何程 何 日 分

此代金何程

小屋掛 但全流(全燒)(半燒)(潰家)

一杉丸太何本

此代金何程

一藁何束

此代金何程

一何々々何程

此代金何程

代金合計何程

被服

一綿入衣(袷衣)(單衣)

此代金何程

十三年未滿ノモノ何枚  
全ノ何枚

一襦袢

此代金何程

十三年未滿ノモノ何枚  
全ノ何枚

一帯

此代金何程

十三年未滿ノモノ何筋  
全ノ何筋

代金合計何程

施療

一金何程

醫師診察料延何人分  
藥價延何人分

一金何程

療治料延何回分

一金何程

看護人手當延何人分

合計金何程

器具

一何々何箇

此代金何程

一何々何箇

此代金何程

代金合計何程

資料

一粉何程

此代金何程

一麥何程

此代金何程

一何々何程

此代金何程

代金合計何程

通計金何程

自耕田何反歩分(種穀ニノミ記載ス)

自耕畑何反歩分(全上)

第一號書式ノ三

物價調

一下白米壹石 此代金何程

一小屋掛材料ノ各種類別單價左之通

何々金何程

何々金何程

何々金何程

以下倣之

一器具ノ各種類別單價左ノ通

何々金何程

何々金何程

何々金何程

以下倣之

一資料各種類別單價左ノ通

何々金何程

何々金何程  
何々金何程  
何々金何程  
以下倣之

第二號書式

明治何年何月何日何災ニ付避難所設置報告

- 一 設置シタル町村
- 一 設置シタル場所
- 一 設置シタル日數
- 一 入所セシメタル人員
- 一 全上ニ對スル戸數
- 一 設置ニ要シタル費用
- 一 金何程

金何程

借地料

内

何町(村)

何社寺何舍假用(ニヶ所以上ノトキ)  
何々(大字名)新設(ハ列記スルコト)

自何月何日何日間

至何月何日何日間

何人

何戸

金何程  
金何程

借家料  
小屋掛諸色代

内譯

金何程  
金何程  
金何程  
金何程  
金何程

藁何束 代何一束ニ付々々  
竹何束 代何一束ニ付々々  
何々  
何々  
何々

金何程

借人夫何人 一人ニ付金何拾錢

右避難所設置ニ關スル事項及報告候也

明治年月日

郡

長

縣知事宛

備考

本報告事項ハ一町村毎ニ列記シ末尾ニ合計金額ヲ記載スヘシ

第三號書式

明治何年何月何日何災ニ付焚出米給與報告

何町(村)何戸

一米 何程

此代金何程

但壹石ニ付金何程

何日間給與ノモノ 十三年以上(男)人 十三年以上(女)人 七十年未滿(女)人 七十年以上

(以下給與日數ノ異ナル毎ニ列記ノコト)

一 鹽(何々)何程

此代金何程

但壹石(何々)ニ付金何程

一 薪(炭)何程

此代金何程

但壹貫目ニ付金何程

一 傭夫何人

此賃金何程

但何日分一人一日金何程

合計金何程

右報告候也

明治年月日

郡

長

縣知事宛

備考

本事項ハ各町村毎ニ列記シ末尾ニ内譯ヲ附シタル通計金額ヲ記スヘシ

第四號書式

明治何年何月何日何災ニ付患者收容治療報告

一 收容所ヲ設ケタル町村

何 町(村)

一 收容所ノ場所

何病院又ハ何寺院(ニヶ所以上ノトキ)

一 收容所ヲ設ケタル日數

自何月何日何 日間

一 收容シタル人員

何 人

内

負傷者

何 人

病者

何 人

一 收容治療ニ要シタル費用

金 何程

内

金何程	借家料
金何程	人夫賃
金何程	治療費
内譯	
金何程	醫師診察料
金何程	藥價延何人分
金何程	療治料延何回分
金何程	看護人手當延何人分

右收容治療ニ關スル事項及報告候也

明治年月日

郡

長

縣知事宛

備考

本報告事項ハ一町村毎ニ各別ニ列記シ末尾ニ内譯(借家料人夫賃治療費)ヲ附シタル合計ヲ配載スヘシ

●告示第五十六號

(明治三十年六月二日)

本縣慈惠救濟基金管理方法縣會ノ議決ヲ經左ノ通相定ム

明治三十年一月

御大喪ニ際シ特ニ慈惠救濟ノ資ヲ補ハシムルノ

御思召ヲ以テ整理公債證書額面九千九百圓下賜相成タルニ就テハ深ク

聖旨ノ存スル所ヲ奉體シ左ノ方法ニ依リ永遠ニ

御趣旨ヲ貫徹セントス

一 恩賜金ハ將來確實ナル慈惠救濟ノ事業ヲ起スノ基本金トナスノ目的ヲ以テ之ヲ増殖スルモノトス

一 恩賜金ノ外別ニ縣費ヲ以テ相當ノ金額ヲ蓄積シ前項ノ目的ヲ以テ之ヲ増殖スルモノトス但蓄積スヘキ金額ハ慈惠救濟基本金トシテ之ヲ豫算ニ編入シ縣會ノ議定ニ付スルコト

一 慈惠救濟ノ資ニ充ツル目的ヲ以テ金員ヲ寄附スル者アルトキハ之ヲ基本金ニ加フルモノトス

一 基本金充實シタルトキハ其利子ト他ノ收入トヲ以テ慈惠救濟ノ事業ヲ計畫スルモノトス

一本件ハ特別會計トシテ整理スルモノトス

### 第二章 郡 治

第一 郡 制

●告示第三十七號

(明治二十九年五月二十八日)

明治廿九年九月一日ヨリ本縣ニ郡制ヲ施行ス

右内務大臣ノ命ニ依リ告示ス

●甲第三十六號

(明治十二年三月十二日)

明治十一年第十七號公布ニ因リ従前ノ大小區ヲ廢シ更ニ別紙ノ通郡制相定候條此旨布達候事  
但郡役所開廳日限ハ追テ相達スヘシ

(別紙) 伊豆國

那賀郡 賀茂郡

郡役所位置  
賀茂郡下田町

田方郡 君澤郡

同  
君澤郡三島宿 (明治十九年縣令第  
十四號ヲ以テ更正)

駿河國

駿東郡

同  
沼津驛

富士郡

同  
吉原驛

庵原郡

同  
江尻町 (明治二十三年縣令第  
五十九號ヲ以テ更正)

安有郡 安倍郡

同  
安倍郡靜岡

志太郡 志太郡

同  
志太郡藤枝驛

遠江國

榛原郡

同  
靜波町

佐野郡 佐野郡

同  
佐野郡掛川驛

周智郡

同  
森町村

豐田郡 磐田郡

同  
磐田郡見付驛

長知郡 敷知郡

同  
敷知郡濱松驛

鹿沼郡 引佐郡

同  
引佐郡氣賀村

●縣令第十七號

(明治二十二年二月二十六日)



一伊豆國賀茂郡南郷村、明伏村、小杉原村

右同國那賀郡へ編入

一同國那賀郡江奈村、櫻田村

右同國賀茂郡へ編入

一同國君澤郡山中新田ノ内字馬坂

右同國田方郡へ編入

一駿河國駿東郡日守村

右伊豆國田方郡へ編入

一同國庵原郡清水町受新田、入江町受新田

右同國有渡郡へ編入

一同國有渡郡上足洗村、下足洗村、下足洗新田、沓谷村、錢座町、古庄村字向赤目坪ノ内五百七

十三番ヨリ五百八十八番迄同字向イカリ坪ノ内六百六十六番ヨリ六百七十四番マテ

六百七十八番ノ甲乙六百七十九番六百八十一番六百八十四番六百八十五番六百八十

七番六百八十八番六百九十番ノ二、七百三十九番七百四十二番七百四十五番ヨリ七

百四十八番マテ七百五十二番ヨリ七百五十四番マテ七百五十五番ノ二、七百五十八

番七百六十番ノ一二三同字地蔵新田坪ノ内七百六十一番

右同國安倍郡へ編入

一同國安倍郡手越村、向敷地村、上ヶ土新田字上ヶ土坪ノ内四十五番ヨリ六十一番マテ

右同國有渡郡へ編入

一同國志太郡稻川村ノ内瀬戸川以東

右同國益津郡へ編入

一同國益津郡下當間村、藤枝宿本町南側、越後島村、藤枝宿益津町

郡村字正本ノ内百九十六番二百一番ノ甲乙二百二番二百三番二百四番ノ甲乙二百五

番二百廿四番同字竹田ノ内九百七十三番九百七十四番同字權助ノ内六百八十四番六

百八十五番六百八十八番七百三番ヨリ七百五番マテ同字福島ノ内九百五十一番ヨリ

九百五十八番マテ

右同國志太郡へ編入

一遠江國城東郡寄木村

一同國周智郡村松村

一同國磐田郡見付宿字西瀬新田ノ内五千百二十一番ヨリ五千百五十五番マテ

右同國山名郡へ編入  
 一同國周智郡蓋間村、上平山村  
 一同國山名郡岩井村、上大ノ郷村、二ノ宮村  
 右同國豊田郡へ編入  
 一同國豊田郡牛飼村、沖山梨村、米倉村  
 一同國山名郡堀越村  
 右同國周智郡へ編入  
 一同國山名郡西貝塚村ノ内字平治彌新田作兵衛新田  
 右同國磐田郡へ編入  
 一同國長上郡塚越村、名切村  
 一同國引佐郡大谷村  
 右同國敷知郡へ編入  
 一同國豊田郡本澤合村  
 右同國長上郡へ編入  
 前記ノ通改定シ明治二十二年三月一日ヨリ施行ス

●告示第十一號 (明治二十四年四月一日)  
 庵原郡役所移轉改築中庵原郡江尻町江尻五百四拾九番地ニ於テ事務取扱候旨告示致置タル處工事落成ニ付本年三月三十一日限り假廳ヲ廢シ同日ヨリ左ノ場所ニ於テ開廳ス  
 庵原郡江尻町江尻六百三十六番地  
 ●告示第三十四號 (明治二十五年五月二十六日)  
 榛原郡役所來ル明治二十五年五月二十八日ヲ以テ左ノ場所へ移轉開廳ス  
 榛原郡川崎町靜波十四番地  
 ●告示第六十三號 (明治二十六年十一月二十二日)  
 有波安倍郡役所來ル明治二十六年十一月二十三日ヲ以テ左ノ場所へ移轉シ同二十四日ヨリ同所ニ於テ事務取扱フ  
 静岡市追手町舊城内  
 ●告示第二十二號 (明治二十九年四月一日)  
 明治二十九年法律第四十七號ニ依リ設置セル郡役所ノ位置ハ左ノ通り  
 賀茂郡役所 伊豆國賀茂郡下田町  
 田方郡役所 伊豆國田方郡三島町

安倍郡役所

駿河國靜岡市追手町

志太郡役所

駿河國志太郡藤枝町(三十年十一月告示第百十號ヲ以テ更正)

小笠郡役所

遠江國小笠郡掛川町掛川

磐田郡役所

遠江國磐田郡見付町

濱名郡役所

濱江國濱名郡濱松町高

引佐郡役所

遠江國引佐郡氣賀町氣賀

●告示第百十四號

(明治三十年十一月二十五日)

本縣志太郡役所ハ本月十六日志太郡藤枝町本字道城へ移轉シタリ

●會第六七號

(明治二十六年四月七日)

郡ノ沿革ヲ明瞭ナラシムル爲メ自今一ケ年ヲ期シ郡役所設置以降ノ沿革誌ヲ編纂シ爾後毎年繼續編製セラルヘシ

### 第一 郡令公式

●縣令第六十七號

(明治二十六年十一月二十八日)

本年十月勅令第百九十九號第二條第二項ニ依リ郡令ヲ公布スルノ方法左ノ通相定ム

第一條 郡令ハ郡令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ郡役所揭示場ニ公示シ及ヒ部内一般町村役

場ニ配付ス町村役場ニ於テハ直チニ其謄本ヲ揭示場ニ公示スヘシ

第二條 郡内一部ヲ限リ公布スル郡令モ亦前條ニ準ス但郡令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ハ其

關係町村役場ヲ限リ配付スヘシ

●庶第二一四號

(明治二十九年四月八日)

内務部長通牒 賀茂郡 田方郡 安倍郡 志太郡

小笠郡 磐田郡 濱名郡 引佐郡

郡廢置ニ付行政命令施行方之義別紙寫之通内務省縣治局長ヨリ通知ニ付依命此段及通牒候也

退伸舊郡ノ發令ニシテ引續效力ヲ有セシムル郡令ハ此際以後發令スルモノハ其都度報告有之度

是又依命中進候也

(別紙)

縣甲第六二號

(明治二十九年四月六日)

知事宛縣治局長通牒

地方官々制第四十四條ニ依リ發シタル郡令訓令等凡テ郡長ノ發シタル行政命令ハ郡廢置ノ爲メニ效力ヲ失ハサル者ナルニ依リ新郡ニ於テ舊郡ノ行政命令ヲ其儘施行シ妨ナキ義ニ有之隨テ二

簡以上ノ行政區域ニ涉リ新郡ヲ置キタル場合ハ舊郡ノ行政命令ハ新郡ノ一部ニ對シテノミ效力ヲ有スルカ如キ結果ヲ生スヘシト雖此ノ場合ハ新郡ニ於テ孰レカ一方ノ命令ヲ遵守スヘキ旨ヲ命令シ他ノ一方ハ之ヲ廢除スルカ或ハ雙方共ニ之ヲ廢止シ新タニ行政命令ヲ發スルカ事情ニ應シ適宜取計可然義ニ有之候依命此段及通牒候也

●庶第二一五號

(明治二十九年四月八日)

內務部通牒 駿東郡 富士郡 榛原郡 周智郡

郡令ニシテ從前知事ハ報告無之分ハ此際以後發令スル者ハ其都度報告有之度依命此段申進候也

### 第三 郡長委任條件

●縣令第六十二號

(明治三十三年六月十五日)

郡長委任事項左ノ通相定ム

但明治二十九年八月縣令第五十六號ハ廢止ス

- 一 罹災救助基金法施行規則ニ依リ罹災者救助ノ事
  - 二 縣社以下神社及寺院佛堂境內使用及竹木伐採願ヲ認否スル事
- 但延喜式內國史見在ノ神社ハ此限リニ在ラス

### 三 氏神所屬變換ニ關スル事

四 里道及之ニ架スヘキ橋梁及溜池用惡水路ノ新設變更工事並用惡水路ニ施設スル工事願ヲ許

否スル事

但左ニ掲クルモノハ此限リニ在ラス

- 一 縣費補助ノ路線ニ屬スルモノ
  - 二 富士川安倍川大井川及其支派川ニ關スルモノ
  - 三 縣費補助ノ河川堤防ヨリ引水シ若クハ之ニ放水スルモノ
  - 四 通行錢ヲ徵收スルモノ
  - 五 (三十五年縣令第五十五號ニテ削除)
  - 六 郡長管理ニ屬スルモノ及二郡以上ノ所轄ニ跨ルモノ
- 五 縣費補助ノ道路橋梁及河川沙除堤防修繕工事並之ニ對スル補助願ヲ許否スル事
- 但第二類川沙除堤防及二郡以上ニ關係スルモノハ此限リニアラス
- 六 町村費負擔ニ係ル官有堤塘並木敷ニ屬スル枯損木及生産物處分ニ關スル町村長ノ申請ヲ處分スル事

七 明治廿七年縣令第四十四號ニ係ル願ヲ處分スル事

安倍郡役所

駿河國静岡市追手町

志太郡役所

駿河國志太郡藤枝町(三十年十一月告示第百十號ヲ以テ更正)

小笠郡役所

遠江國小笠郡掛川町掛川

磐田郡役所

遠江國磐田郡見付町

濱名郡役所

濱江國濱名郡濱松町高

引佐郡役所

遠江國引佐郡氣賀町氣賀

●告示第百十四號

(明治三十年十一月二十五日)

本縣志太郡役所ハ本月十六日志太郡藤枝町本字道城へ移轉シタリ

●會第六七號

(明治二十六年四月七日)

郡ノ沿革ヲ明瞭ナラシムル爲メ自今一ク年ヲ期シ郡役所設置以降ノ沿革誌ヲ編纂シ爾後毎年繼續編製セラルヘシ

### 第二 郡令公式

●縣令第六十七號

(明治二十六年十一月二十八日)

本年十月勅令第百九十九號第二條第二項ニ依リ郡令ヲ公布スルノ方法左ノ通相定ム

第一條 郡令ハ郡令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ヲ郡役所揭示場ニ公示シ及ヒ部内一般町村役

場ニ配付ス町村役場ニ於テハ直チニ其謄本ヲ揭示場ニ公示スヘシ

第二條 郡内一部ヲ限り公布スル郡令モ亦前條ニ準ス但郡令ヲ登載シタル印刷物若クハ謄本ハ其

關係町村役場ヲ限り配付スヘシ

●庶第二一四號

(明治二十九年四月八日)

内務部長通牒

賀茂郡

田方郡

安倍郡

志太郡

小笠郡

磐田郡

濱名郡

引佐郡

郡廢置ニ付行政命令施行方之義別紙寫之通内務省縣治局長ヨリ通知ニ付依命此段及通牒候也

追伸舊郡ノ發令ニシテ引續效力ヲ有セシムル郡令ハ此際以後發令スルモノハ其都度報告有之度

是又依命申進候也

(別紙)

縣甲第六二號

(明治二十九年四月六日)

知事宛縣治局長通牒

地方官々制第四十四條ニ依リ發シタル郡令訓令等凡テ郡長ノ發シタル行政命令ハ郡廢置ノ爲メニ效力ヲ失ハサル者ナルニ依リ新郡ニ於テ舊郡ノ行政命令ヲ其儘施行シ妨ナキ義ニ有之隨テニ

箇以上ノ行政區域ニ涉リ新郡ヲ置キタル場合ハ舊郡ノ行政命令ハ新郡ノ一部ニ對シテノミ效力ヲ有スルカ如キ結果ヲ生スヘシト雖此ノ場合ハ新郡ニ於テ孰レカ一方ノ命令ヲ遵守スヘキ旨ヲ命令シ他ノ一方ハ之ヲ廢除スルカ或ハ雙方共ニ之ヲ廢止シ新タニ行政命令ヲ發スルカ事情ニ應ジ適宜取計可然義ニ有之候依命此段及通牒候也

●庶第二一五號 (明治二十九年四月八日)

內務部通牒 駿東郡 富士郡 榛原郡 周智郡

郡令ニシテ從前知事ハ報告無之分ハ此際以後發令スル者ハ其都度報告有之度依命此段申進候也

### 第三 郡長委任條件

●縣令第六十二號 (明治三十三年六月十五日)

郡長委任事項左ノ通相定ム

但明治二十九年八月縣令第五十六號ハ廢止ス

- 一 罹災救助基金法施行規則ニ依リ罹災者救助ノ事
  - 二 縣社以下神社及寺院佛堂境内使用及竹木伐採願ヲ認否スル事
- 但延喜式内國史見在ノ神社ハ此限リニ在ラス

### 三 氏神所屬變換ニ關スル事

四 里道及之ニ架スヘキ橋梁及溜池用惡水路ノ新設變更工事並用惡水路ニ施設スル工事願ヲ許スル事

但左ニ掲クルモノハ此限リニ在ラス

- 一 縣費補助ノ路線ニ屬スルモノ
  - 二 富士川安倍川大井川及其支派川ニ關スルモノ
  - 三 縣費補助ノ河川堤防ヨリ引水シ若クハ之ニ放水スルモノ
  - 四 通行錢ヲ徵收スルモノ
  - 五 (三十五年縣令第五十五號ニテ削除)
  - 六 郡長管理ニ屬スルモノ及二郡以上ノ所轄ニ跨ルモノ
- 五 縣費補助ノ道路橋梁及河川汐除堤防修繕工事並之ニ對スル補助願ヲ許否スル事
- 但第二類川汐除堤防及二郡以上ニ關係スルモノハ此限リニアラス
- 六 町村費負擔ニ係ル官有堤塘並木敷ニ屬スル枯損木及生産物處分ニ關スル町村長ノ申請ヲ處分スル事

七 明治廿七年縣令第四十四號ニ係ル願ヲ處分スル事

但富士川安倍川大井川天龍川及其支派川ハ此限リニアラス

八 小學校三日以内臨時休業ヲ許否スル事

九 舩鑑札規則ニ依ル舩舶ノ積量測度並舩鑑札下付取扱ノ事

但蒸氣舩並附屬舩ハ此限リニアラス

●丙第三十六號 (明治十八年四月三十日)

郡 町 村

郡戸長ノ處分ニ係ル條件タリトモ省院廳若クハ他府縣へ直接往復不相成候條此場合ニ於テハ本廳へ申出ヘク尤モ府縣ノ課係及ヒ裁判所へハ往復スルヲ得ル義ト可相心得此旨相達候事

●庶第三九號 (明治二十九年十二月十六日)

郡 市長 宛

稅務上ニ關シ疑義アルモノ又ハ通牒回答ヲ要スル場合ニ於テハ自今稅務管理局長へ直接照會セラ  
ルヘシ

### 第四 處務規程

●訓令甲第二十一號 (明治三十三年七月十三日)

郡役所處務規程左之通相定ム

#### 郡役所處務規程

第一條 郡役所ニ三課ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ

#### 第一課

- 一 吏員ノ進退及身分ニ關スル事項
- 二 文書ノ往復并保存ニ關スル事項
- 三 官印郡役所印管守ニ關スル事項
- 四 議員撰舉及會議ニ關スル事項
- 五 郡ノ經濟并町村行政及經濟ノ監督ニ關スル事項
- 六 衛生ニ關スル事項
- 七 兵事及民籍ニ關スル事項
- 八 社寺及宗教々會ニ關スル事項
- 九 賑恤救濟及罹災救助ニ關スル事項
- 十 恩給并賞與ニ關スル事項

郡 役 所

十一 他課ノ主掌ニ屬セサル事項

第二課

- 一 土木及地理ニ關スル事項
- 二 農工商務并遞信ニ關スル事項
- 三 會計ニ關スル事項
- 四 徵稅其他諸收入ニ關スル事項

第三課

一 學務ニ關スル事項

第二條 各課ニ課長ヲ置ク第一課長及第二課長ハ郡書記ヲ以テ之ニ充テ第三課長ハ郡視學ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 郡長ハ課中事務整理ノ爲メ必要アルトキハ便宜係ヲ設クルコトヲ得

第四條 郡長ハ部下吏員ノ功過ヲ知事ニ具狀スヘシ

第五條 郡長ハ處務ノ順序ヲ定ムル爲メ郡役所處務細則ヲ設ケ知事ニ報告スヘシ追加更正シタルトキ亦同シ

附則

第六條 本規程ハ明治三十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但本規程中適用シ難キモノハ知事ノ認可ヲ得テ當分其施行ヲ延期スルコトヲ得

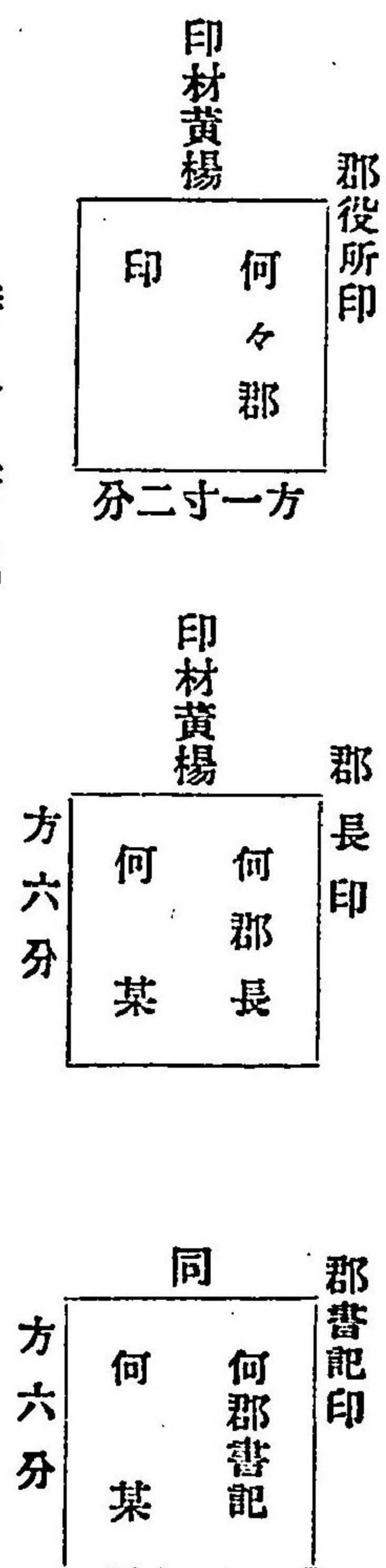
第七條 明治廿七年七月郡第八號ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

乙第十三號 (明治十二年三月十二日)

各 郡

郡役所印并郡長郡書記役印離形及ヒ用係筆生辭令戶長及人民へ達諸願檢印等左ノ書式ニ倣ヒ取扱可申此旨相達候事

但檢印スヘキ書類ノ内特ニ意見アルモノハ添書ヲ以テ申立ヘシ



辭令書式

用係筆生申付候事

何

某



但(月)給何圓給與候事

年號月日

何郡役所

戸長へ達書式

第何號(甲乙等又ハ誤名ノ頭字)戸長一般ニ涉ル邊ハ戸長役場ト記シ一二月長(十九年乙第二十號ヲ以テ)  
(チ冠スルモ妨ケナシ)役場ニ係ルモノハ何(町村)戸長役場ト記ス(本書式以下二書式改正)  
云々(何々スヘシ等ノ類)

年號月日

何郡長 何 之 誰

戸長へ訓示書式

第何號(同上)

云々

右訓示ス

年號月日

何郡長 何 之 誰

何町村戸長宛  
人民へ達并ニ告示書式

第何號(同上)

云々

右相達ス(右告示ス)

年號月日

何郡長 何 之 誰

戸長伺書へ指令式

書面何之通或ハ書面何之趣ハ左之通可心得候事

第壹條 伺之通

第貳條 云々可取計事

年號月日

何郡長 何 之 誰印

人民願書へ指令式

書面願之趣(開届候事 離開届候事)

開届候條(警察署或ハ戸長へ可届出事)

年號月日

何郡長 何 之 誰印

戸長ヲ郡役所へ呼出ス書式

御用ノ義申談度義有之候間來ル幾日何時何役所へ出頭候様可有之候也

年號月日

何郡長 何 之 誰

何郡何町村戸長何之誰殿

戸長ヲ經テ非役人民ヲ郡役所へ呼出書式

何町族

何之誰

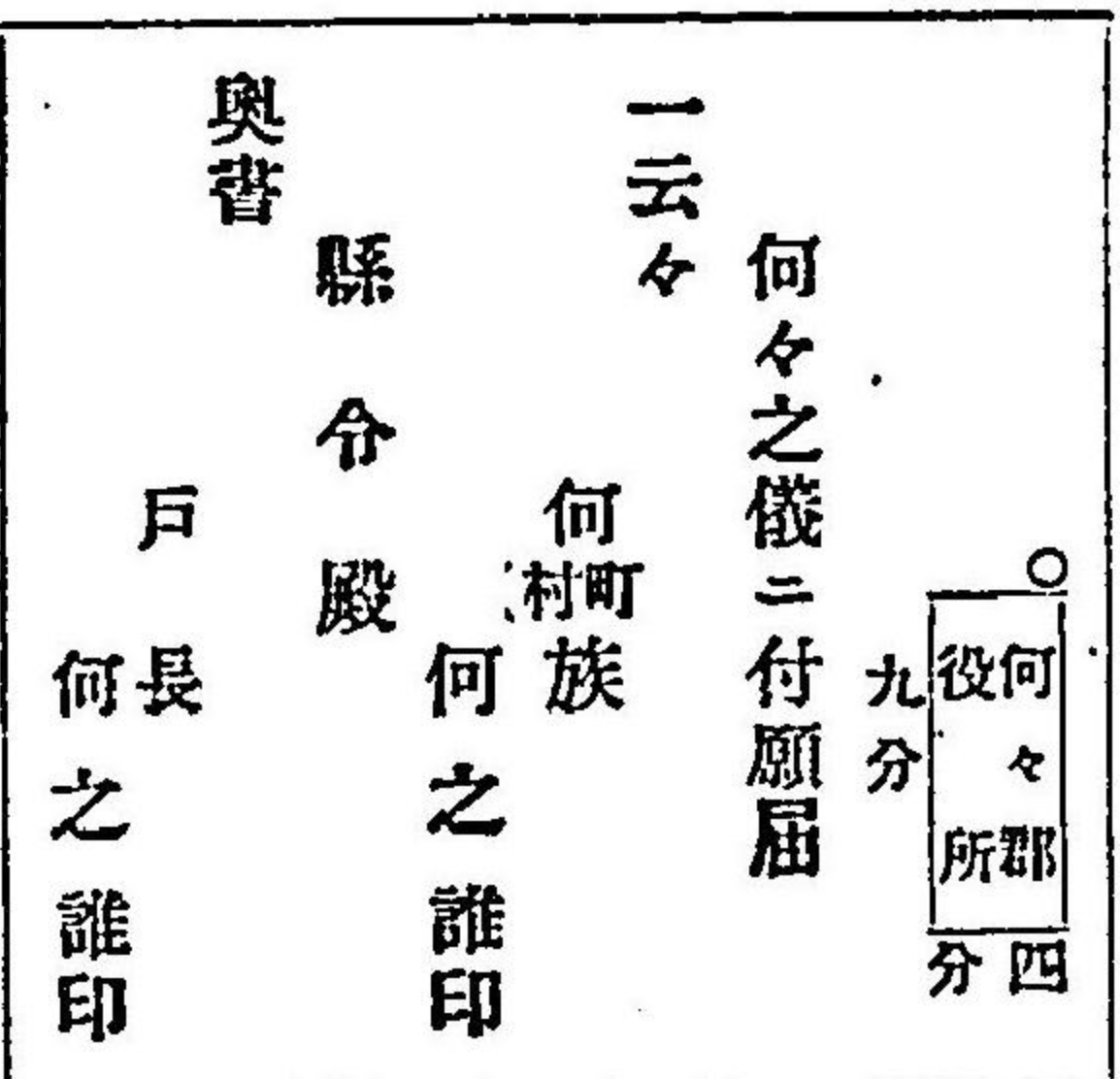
御用ノ義申談スル義有之候條來ル幾日何時當役所へ出頭候様可相達候也

年號月日

何郡役所

何郡何町戸長中

諸願檢印式(明治十九年達第十) ○印ハ朱  
(九號ヲ以テ改正)



●乙第四十號

(明治十二年三月二十五日)

郡役所諸課印左ノ通相定候條此旨相達候事

各郡

郡役所課印

二郡以上ヲ管スル郡役所課印

印材黃楊



方壹寸



方壹寸

●乙第四十六號

(明治十四年十月八日)

各郡

郡役所事務受渡規則別紙ノ通相定候條自今郡役所廢合分置又ハ郡長轉任免職等ノ節ハ右ニ照準シ  
諸事疎漏無之様精々注意受渡可致此旨相達候事

(別紙)

郡役所事務受渡規則

第一條 郡役所廢合分置又ハ郡長轉任免職等ノ節ハ既往ノ成績並未濟ノ事件後來ノ意見ヲ詳記セ  
ル演說書ヲ調製シ在來及ヒ現時取扱ノ書類帳簿書籍金額等目錄書ヲ添付シ一切引渡新官互ニ受

渡ノ證書ヲ交付スヘキ事

第二條 事務ノ受渡ハ新官赴任ノ日ヨリ日數三十日以内ニ受渡シ税金及ヒ金錢諸貸下返納金引渡書寫ヲ添新官ヨリ速ニ開申スヘシ若シ其日限外ニ涉ル事故アルモノハ更ニ延期ヲ請フヘキ事

第三條 引渡事件ノ内先官ノ成蹟上鴻益アリト認ムルモノ或ハ成規ニ乖戾スルカ又ハ後來ノ弊害トナリ引受難キ件々ハ其事情ヲ詳記シ稟議スヘキ事

第四條 郡長轉任免職ノ節新官赴任マテノ事務ハ總テ上席ノ郡書記代理スヘキ事

第五條 演說書ハ左ノ文例ニ倣ヒ凡布告布達諸達及ヒ各課各本署警察署鎮臺裁判所租稅局出張所山林事務所他府縣下郡區役所ノ照會又ハ戶長人民ノ顧問屈等ニ因リ取扱フ事件ハ其細大ヲ論セズ遺漏ナク記載シ事實詳明ニ演述スヘキ事

演說書

今般當郡役所被廢何郡ニ被合併何郡役所被分置拙者轉任免職ニ付郡務引渡ノ條件左ニ及演說候

一 當管轄何郡ノ儀ハ幾町戶數何軒人口何人反別何程概テ地勢山嶽周市ニシテ肥肥運運輸輸不不便便人民勤勉勤物物產多風風俗厚云々ノ土地ニ有之候則戶籍簿郡城地圖何々等引渡申候

一 何郡何村ノ儀ハ能ク布令ヲ遵守シ諸稅納溢滯無之ハ勿論子弟ヲ就學セシメ又ハ道路ヲ清潔ナラシムル等村民ノ勉勵戶長何某ノ注意至ラサルナシ云々縣廳ニ具申シ尙獎勵ノ爲メ賞譽ヲ請フノ

見込ニ有之候即別紙何號書類引渡申候

一 何郡何村何某ヨリ何々ノ儀願出他ニ支障無之或ハ支障有之ニ付即今詮議中ニ候得共到底開屆屆見込ニ有之候即

別紙何號書類引渡申候

一 何々ノ事件縣廳ヘ伺稟議中或ハ何課課照會中ニ有之指令又ハ回答濟ノ上ハ何々ノ見込ニ有之候

別紙何號書類引渡申候

一 何年何號布告布達達又ハ何年何月何課課照會ニ據リ何々事件調查通達處分既上納未濟ノ分即別紙何號書類金額

引渡申候

一 何年度經費受拂勘定帳并所屬勘定帳初期第二期或第三期マテ縣廳ヘ差出置候即別紙何號書類引渡申候

一 何々

已下倣之

年月日

何郡長何某殿

何

某印

第六條 諸帳簿書籍金額等ハ左ノ書式ニ倣ヒ遺漏ナク廉限記載スヘキ事

(諸書引渡目錄及引渡書式ハ省ク)

●郡第十三號 (明治二十九年八月二十五日)

郡役所

郡ノ出納ハ左ノ帳簿ニ依リ整理スヘシ

一原簿

借、貸、残ノ三欄トシ某年度歳入、某年度歳出、現金其他必要ナル科目口座ニ分チ一切ノ現出納ヲ複式ニ記帳シ毎日計算表ヲ調製スヘシ

一某年度歳入簿

豫算額、收入済額、收入未済額ノ三欄トシ目毎ニ口座ヲ分チ記帳スヘシ

一某年度歳出簿

豫算額、仕拂済額、仕拂未済額ノ三欄トシ目毎ニ口座ヲ分チ記帳スヘシ

以上洋式トス其他必要ニ應シ和式又ハ洋式ヲ以テ適宜補助簿ヲ設クヘシ

●會第四二一號

(明治二十九年五月二十五日)

各郡長宛内務部長通牒

郡制施行ノ上ハ明治廿四年四月内務省令第二號第二條ニ掲クル郡歳入歳出豫算書ニ添付スヘキ説明書別冊ノ式ニ依リ整理可相成依命此段及通牒候也 (別冊略ス)

●一第六七三號一ノ

(明治三十一年三月二十六日)

各郡

郡ニ於テ起債ヲナサンコトヲ議決シ許可稟請ヲナスニ當リテハ明治廿六年十二月三十日會第一一

八九號訓令ニ準據スヘキ儀ト心得ヘシ

但該訓令左記事項ノ第四ハ郡有財産ノ有無并ニ其額ト心得ヘキコト

(參考) (廿六年會第一一八九號訓令ハ市町村制度ノ部ニアリ)

●會第七六〇號

(明治二十五年七月十二日)

郡長宛

町村巡視規程左ノ通相定候條自今右ニ依リ巡視ヲ施行セラルヘシ

町村巡視規程

第一條 町村行政事務監督ノ爲メ巡視ヲ行フヘシ

第二條 巡視ハ毎年一回郡長之ヲ行フヘシ

前項巡視ノ外郡長必要ト認ムル場合ニ於テ郡長若シハ郡長ニ於テ命シタル巡視員之ヲ行フヘシ

(明治三十一年四月廿七日)

(第一一〇三號ヲ以テ改正)

第三條 巡視スヘキ事項ノ概目ハ左ノ如シ

一 町村内全體ノ狀況(黨派軋轢ノ有無吏員ト住民ト折合等)

- 二 吏員ノ勤惰及事務ノ成績(教育衛生勸業土木ノ舉否兵事戶籍ノ整否等)
  - 三 役場内事務分課及執務ノ體裁
  - 四 常設臨時委員ノ殘務區長及代理者ノ殘務
  - 五 町村事務ノ狀況(繁簡便否等)
  - 六 吏員ノ處置法律命令ノ規定ニ違背スル所ナキヤ否
  - 七 吏員ノ部民ニ對スル接遇
  - 八 會議ノ景况(每會議員出席ノ摸樣議事公平ナリヤ否黨派ノ弊害有無等)
  - 九 議員選舉ノ景况(選舉ノ手續會場ノ摸樣等)
  - 十 豫算決算ノ整理
  - 十一 營造物及財産ノ管理
  - 十二 簿書ノ整理並保存
  - 十三 經濟ノ狀況(納稅ノ狀況負擔ノ輕重課稅ノ適否財産及負債ノ有無多寡基本財産増殖ノ方法等)
  - 十四 出納ノ正否及現金ノ保管
- 其他必要ノ事項

第四條 巡視員巡視ノ事項ハ別紙様式ニ依リ復命スヘシ

第五條 郡長ハ自ラ巡視セシ事項ノ顛末ハ勿論郡吏員ノ復命セシ事項ノ顛末ハ知事ニ報告スヘキモノトス

前項ノ報告ヲ爲ストキ將來ノ處分ニ付意見アルモノハ其意見ヲ付スヘシ

第六條 巡視員ハ町村吏員ノ處置法律命令ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事ノ輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得

前項ノ違法錯誤ノ輕微ナラスシテ差置キ難キモノハ即時郡長ニ報告スヘシ

第七條 巡視員巡視シタル事項ニ付テハ郡長ニ復命スルノ外秘密ニ取扱ヒ漏泄スルコト無之様注意スヘシ

(復命書式)

復 命 書

町村行政事務視察トシテ何年何月何日ヨリ何日迄某郡某町村外何ヶ町村巡視候處其事項ハ別紙ノ通りニ有之候此段復命候也

年 月 日

郡 長 宛

官 氏 名 印

(別紙)

明治何年何月何日巡視

某郡某町

一村内全体ノ狀況

黨派軋轢ナシ(黨派ノ軋轢アルモノハ其由來并弊害ノ重ナルモノヲ記載スヘシ)

吏員ト住民トノ折合宜シ(折合宜シカラサルモノハ其起因ト現況トヲ記載スヘシ)

二吏員ノ勤怠及事務ノ成績

何々

以上ノ如ク巡視ノ事項ヲ列記シ一町村毎ニ調製スルモノトス

●一第一一〇一號

(明治三十一年四月二十六日)

各郡長宛内務部長通牒

町村巡視規程ニ依ル御報告書ハ簡ニシテ要ヲ得ルヲ主トシ左記ノ順序ニ御調製相成度依命此段及通牒候也

一報告書ノ首メニ町村巡視一覽表ヲ加フルコト但別表ノ通

一次ニ郡内町村行政國縣郡ノ行政ニシテ町村ニ屬スルモノ及町村隨志ノ事務共一般ノ概況其ノ他必要ト認ムル事項ヲ掲載スルコト

一次ニ巡視ノ際視察シタル事項中普通一般ノ事件ハ之ヲ省キ特ニ可若クハ否ト認ムル事件及其他必要ト認ムル事項ヲ各町村別ニ詳記シ其ノ獎勵若クハ矯正ヲ要スルモノハ其ノ方法ヲ附記

スルコト但報告前ニ於テ既ニ獎勵若クハ矯正等其措置ヲ爲シタルモノハ其ノ旨ヲ併セテ附記スルコト

明治何年町村巡視一覽表

何 郡

町 村 名	巡 視 月 日	視 察 摘 要

備考

- 一 町村名ハ巡視シタルト否トニ拘ハラズ郡内各町村一切ノ事務共同處分スル組合ハ其組合ヲ順序ニ列記スルコト但シ其列記順序ハ巡視月日ノ順序ニ依ラス町村位置ノ順序ニ依ルモノトス
- 一 特別ノ事情アリテ若シ巡視セザリシ町村アルトキハ巡視月日ノ欄ニ斜線ヲ施シ視察摘要ノ欄ニハ平素ノ監督上ニ依リ朱記スヘシ
- 一 視察摘要欄ニハ概括シテ簡短ニ記入スヘシ

第五 財 務

●縣令第三十四號

(明治三十三年三月三十一日)

明治三十三年內務省令第七號第二十六條ニ依リ郡財産ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條 財産ヨリ生スル收入其他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度歲入ニ編入スヘシ

第四條 歲入ノ誤納過納トナリタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ歲出ノ誤拂過渡トナリタル金額現金前渡前金拂概算拂繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ

第四條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第六條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得

第七條 毎年度歲入歲出金ヲ出納スルハ翌年度六月三十日限リトス

第八條 郡ノ出納ニ關スル事務ハ年度經過後四ヶ月以内ニ完整シ出納吏ハ決算書ヲ調製シ郡長ニ提出スヘシ

郡長ニ於テ前項ノ決算書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ二ヶ月以内ニ郡參事會ノ審査ニ付スヘシ

第九條 歲入歲出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ヲ更ニ款項ニ區分スヘシ

第十條 歲入歲出豫算ヲ提出スルトキハ豫算説明ヲ付スヘシ

第十一條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其豫算ヲ調製スヘシ

第十二條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ郡參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十四條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第十五條 會計年度經過後ニ至リ歲入ニ不足ヲ生シ歲出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歲入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十六條 郡歲入歲出ノ所屬年度區分及現金前渡概算渡前金渡繰替拂ニ關シテハ本縣會計規則ノ例ヲ準用ス

第十七條 郡收入又ハ町村分賦額ヲ徵收スルトキハ郡長又ハ其委任ヲ受ケタル者町村又ハ各納入義務者ニ對シ納入告知書ヲ發スヘシ

第十八條 町村ハ其負擔ヲ受ケタル郡費ヲ郡金庫ニ拂込ミ保管證ヲ得テ郡出納吏ニ差出シ其領收

證書ヲ得テ納入ノ義務ヲ了ルモノトス  
郡收入ノ納入告知書ヲ受ケタル者ハ其金額ヲ郡金庫ニ拂込ミ保管證ヲ得テ郡出納吏ニ差出シ其  
領收證書ヲ得テ納入ノ義務ヲ了ルモノトス

第十九條 郡費ノ仕拂ハ仕拂命令官ノ發スル仕拂命令書ニ據リ郡出納吏ニ於テ受取人ニ仕拂切符  
ヲ交付シ受取人ハ郡金庫ニ至リ現金ノ拂渡ヲ受クヘシ

郡金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂切符ヲ郡金庫ニ交付シ受取人ニ送金通知書ヲ發  
スヘシ

郡金庫ニ於テ前項ノ仕拂切符ヲ受タルトキハ直ニ受取人ニ送金ヲ爲スヘシ

第二十條 郡出納吏仕拂切符ヲ受取人ニ交付スルトキハ其領收證書ヲ徵スヘシ

第二十一條 郡出納吏仕拂切符ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ前以テ仕拂案内書ヲ郡金庫ニ送  
付スヘシ

第二十二條 郡金庫其所在地外ノ受取人ニ送金ヲ爲シタルトキハ其領收證ヲ徵シ郡出納吏ニ差出  
スヘシ

第二十三條 郡出納吏ノ保管ニ屬スル現金及帳簿ハ郡長ニ於テ少クモ毎年一回之ヲ検査スヘシ  
郡出納吏解職セラレタルトキハ郡長ハ直ニ現金及帳簿ヲ検査スヘシ

第二十四條 郡ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲メ郡役所々在地ニ郡金庫ヲ置ク

第二十五條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ郡長之ヲ定ム

第二十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金出納保管ニ付責任ヲ有ス

第二十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ担保ヲ郡長ニ差出スヘシ其担保ニ關シテハ知事ノ認可ヲ  
經郡長之ヲ定ム

第二十八條 郡長ハ郡金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査シ又必要ト認ムルトキハ臨機ノ  
處分ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 本令ニ規定スルモノ、外必要ナル規定ハ知事ノ認可ヲ經郡長之ヲ定ム

第三十條 本令ハ明治三十三年度所屬ノ收支ヨリ之ヲ適用ス但本令ノ規定ニシテ適用シ難キモノ  
ハ知事ノ許可ヲ得テ當分其施行ヲ延期スルコトヲ得

●訓令第十五號 (明治三十三年六月十五日)

郡 役 所

郡出納吏ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アルトキハ郡長ニ於テ其種類程度其他身元保證ニ關シ必  
要ナル規定ヲ設ク可シ



第六 雜

●乙第四十四號 (明治十二年三月二十七日)

各 郡

郡書記ノ官等同一ナルモノハ拜命順序ニ依リ席順ヲ定ムヘシ尤各課ノ長ハ其課ノ首席ト可相心得此旨相達候事

● (明治十七年四月八日)

各 郡

自今郡役所へ官報々告委員ヲ設ケ適宜人員ヲ定メ其姓名來ル十五日迄ニ可届出此旨相達候事

●號外 (明治十七年四月)

各 郡

官報々告委員心得并報告事項概則別紙ノ通相定候條右ニ準據取扱ヘシ此旨相達候事

(別紙) 官報々告委員心得并報告事項概則

官報々告委員心得

一官報原稿ハ各主務ノ課宛ヲ以テ報告スヘシ

一緊要ノ關係アル事項ニシテ至急官報登載ヲ要スルト認ルトキハ電信ヲ以テ報告スヘシ

一官報原稿ニハ其事柄ニ關係アル人名場所時日ヲ詳記スヘシ

一報告事項ノ種類ニ依リ始終連續セサレハ報告ノ用ヲナササルモノアリ例ヘハ前ニ早懸ノ景況ヲ

報告シテ後ニ潤雨ヲ得タルトキノ景況ヲ報告セサルノ類是ナリ總テ始メアリ終アル様報告スヘ

シ

一報告事項中卒業證書授與又ハ開場式停船檢疫等ノ件本縣官吏出張セシトキハ其官吏ヨリ報告ス

ヘキニ付別段報告ニ及ハス

一報告事項中従前届出ヘキ成規アルモノハ其違離形等ニ依リ取調全躰ノ完全ヲ待テ届出ルモノニ

付遅緩ノ憂ナキ能ハス依之報告事項ニ係ル件々ハ別ニ官報原稿トシテ迅速報告スルヲ要ス

但流行病等ノ類ハ是迄其都度届出ルニヨリ別ニ報告スルニ及ハス

一新聞紙又ハ雜誌ニ於テ郡治ノ利害ニ關スル重大ノ件ニ就キ誤謬ノ説ヲ掲載シタルトキハ事實ヲ

詳記シ報告スヘシ

報告事項

第一 雜事ノ原稿トシテ報告スヘキ事項

一 官舎學校病院銀行等ノ火災

- 但私立ノ分ハ盛大ナルモノ
- 二 廳舎ノ新築移轉等
- 三 社寺ニ關スル重要ノ件
- 四 天災并事變等
- 五 外國人ノ雇入解約
- 第二 學事ノ原稿トシテ報告スヘキ事項
  - 一 師範學校中學校ノ盛衰及其理由
  - 二 師範學校中學校生徒ノ卒業證書授與及卒業生徒ノ員數
  - 三 學務委員會ノ決議又ハ委員ノ報告
  - 四 教育會ノ開閉及ヒ其議件
  - 五 町村立私立小學校及公私立諸學校教育上ノ景况
  - 六 同上ノ學校設置新築費額及資産額
- 第三 農事ノ原稿トシテ報告スヘキ事項
  - 一 諸作物景况
  - 二 旱害水害蟲害其他作物ノ被害景况

- 三 農業ノ改良又ハ開墾等ノ景况
- 四 種子交換并肥料等ノ得失
- 五 特有物産ノ産出高及收納金高并増減其理由等
- 六 有益ナル農會又ハ農事相談會等ノ景况
- 七 老農ノ實驗說其他農事ニ關スル古來慣習ノ參考トナルヘキモノ
- 八 山林又ハ水産ニ關スル一切ノ事項
- 第四 商事ノ原稿トシテ報告スヘキ事項
  - 一 急劇ナル物價ノ變動并其理由
  - 二 特有物産ノ市價并其賣捌キ地方等毎月報告
  - 三 西洋形并日本形船舶日本形ハ五石積以上出入毎月報告
  - 四 商業上慣習ノ參考トナルヘキモノ
- 第五 工事ノ原稿トシテ報告スヘキ事項
  - 一 工作製造場等ノ景况並盛衰ノ其理由
  - 二 發明工風ニ係ル事項
  - 三 美術ノ景况

四 開鑿其他諸般ノ新工事又ハ古來大工事ノ參考トナルヘキモノ  
右ノ事項ノ外農工商ニ屬スル報告

一 博覽會共進會及品評會等ノ開閉并其開會中ノ景況  
二 勸業委員ノ緊要ナル報告

第六 衛生事項ノ原稿トシテ報告スヘキ事項

一 傳染病及流行病患者及中毒者ニ係ル報告并停松檢疫等

二 地方病ニ係ル記事

三 飲食物溝渠家屋等ニ關スル衛生事項

四 牛馬及鳥畜類等ノ流行病

五 公立病院新設及其費額

但私立ノ分ハ盛大ナルモノ

### 第三章 市町村制度

#### 第一 市町村區域等

●縣令第二十號

(明治二十二年二月二十七日)

明治二十二年四月一日ヨリ靜岡市ヘ市制其他町村ヘ町村制ヲ施行ス

●縣令第十八號

(明治二十二年二月二十六日)

靜岡市區域並市役所位置別記ノ通相定メ明治二十二年四月一日ヨリ施行ス

(別記) 靜岡市區域

靜岡	追手町	全	鷹匠町	全	東鷹匠町	全	橫内町
全	水落町	全	東草深町	全	西草深町	全	通研屋町
全	草深町	全	屋形町	全	裏一番町	全	一番町
全	二番町	全	三番町	全	四番町	全	五番町
全	六番町	全	七番町	全	八番町	全	通車町
全	本通裏町	全	北番町	全	譽田町	全	靜岡宿
全	臺所町	全	鑄物師町	全	下八幡町	全	下橫田町
全	院內町	全	上橫田町	全	榮町	全	上八幡町
全	猿屋町	全	中八幡町	全	材木町	全	片羽町
全	安倍町	全	御器屋町	全	宮ヶ崎町	全	馬場町
全	車町	全	四ツ足町	全	本通	全	研屋町

全上魚町	全茶町	町自一丁目	全上桶屋町	全土太夫町
全柚木町	全安西	自一丁目	全安西一丁目南裏町	全吳服町
全江川町	全新谷町	全札ノ辻町	全七間町	町自一丁目
全南替町	町自一丁目	全上石町	町自一丁目	全梅屋町
全入宿町	町自一丁目	全藤右衛門町	全下石町	町自一丁目
全常慶町	全下魚町	全江尻町	全平屋町	
全下桶屋町	全鍛冶町	全本通川越町	全堤添川越町	
全西寺町	全大鋸町	全上大工町	全新通一丁目	
全新通大工町	全新通	町自一丁目	全安倍川町	
全白山町				

川邊村字東裏門ノ内壹番ヨリ三番マテ拾貳番拾三番ノ一二三、全宇島ノ裏ノ内八百四番ノ甲乙、八百五番

静岡市役所位置

静岡 追手町

●縣令第十九號 (明治二十二年二月二十六日)

町村ノ内區域、名稱、戶長所轄區域及役場位置別表之通改定シ他町村内ニ存在セル飛地ハ一戶長所轄區域内各町村間ノ分ヲ除クノ外悉皆其所在町村ノ地籍ニ組ミ入レ明治二十二年三月一日ヨリ施行ス

但戶長役場位置ノ内直ニ移轉シ難キ事由アルモノハ其狀ヲ具シ當廳ノ認可ヲ受ケ延期スルコトヲ得 (別表略ス)

●縣令第三十八號 (明治二十二年三月二十六日)

本年二月縣令第十九號ニ示セル戶長役場位置ヲ以テ町村役場位置ト定メ明治二十二年四月一日ヨリ施行ス

●告示第六號 (明治二十二年二月二十八日)

縣令第十九號ヲ以テ町村區域更定候ニ付テハ舊各町村ノ名稱ハ自今大字トス

●訓令甲第十六號 (明治二十二年三月十六日)

郡役所 戶長役場

本年二月本縣訓令甲第七號ヲ取消シ静岡市ニ係ル各町名ハ從來ノ通之ヲ存シ町村ニ係ル大字ハ左ノ例ニ據ル尤モ稱呼ノ便否ニヨリ適宜大字若シハ町村ノ文字ヲ附加 (何村大字何又ハ何) スルモ妨ケナシ

但戸籍番號ハ當分改定スルニ及ハス

静岡縣静岡市鷹匠町一丁目何番地

静岡縣賀茂郡濱崎村柿崎何番地

●甲第六十三號

(明治十四年十月十二日)

各地ニ唱フル字ノ義ハ其地固有ノ名稱ニ付漫ニ改稱變更不相成候若實際不得止改稱ヲ要スルモノハ事由ヲ詳記シ其時々可願出此旨布達候事

●甲第十七號

(明治二十六年五月三十一日)

郡役所 市役所 町村役場

從來公稱スル市町村内地ノ字名ハ明治十四年本縣甲第六十三號布達ノ旨趣ニ依リ改稱變更スヘキモノニアラサルモ止ムヲ得サル事實アリテ改稱變更ヲ必要トスルモノハ左ノ規程ニ依ルヘシ  
一市町村内大字名ヲ改稱シ又ハ其區域ノ變更ヲ要スルトキハ市町村會之レヲ議決シ知事ノ許可ヲ請フヘシ但町村ニ屬スルモノハ郡長ヲ經由シ郡長ハ意見ヲ副申スヘシ  
二市町村内ノ小字名ヲ改稱シ又ハ其區域ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル地主ノ意見ヲ聞キ市町村會之ヲ議決シ知事ノ許可ヲ請フヘシ但町村ニ屬スルモノハ郡長ヲ經由シ郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

三水面埋立地其他新開地等新ニ字名稱ヲ付スルトキハ第二項ノ例ニ依ルヘシ

四市町村ノ境界ニ關スル爭論ノ裁決及民事訴訟ノ判決ニヨリ字名ノ訂正又ハ其區域ヲ變更スヘキトキハ市參事會町村長ヨリ市ハ知事ニ町村ハ郡長ニ申報スヘシ

五郡長ニ於テ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ之ヲ知事ニ報告スヘシ

●甲第二十二號

(明治二十六年七月十一日)

郡役所 市役所 町村役場

明治廿三年八月法律第七十七號ニ依リ市町村名ノ變更若クハ村ヲ町トナシ町ヲ村トナサン事ヲ請求シ又ハ市町村役場位置變更ノ認可ヲ受ケントスル書面ニハ其市町村ノ略圖ヲ添付ス可シ但添付ス可キ略圖ハ可成陸軍省陸地測量部調製ノ地形圖ニ據リ調製ス可シ若該圖ニ據リ難キトキハ他ノ實測圖ニ據ル可ク實測圖ナキ土地ニ於テハ最確實ト信スル圖面ニ據ル可シ

●丙違第七號

(明治十四年十一月五日)

郡 町 村

地租改正及舊地券調等之節地所ノ字改稱變更候分ハ將來ノ考照ニ供スル爲メ町村簿其筆毎ニ改正ス從前之字復稱ハ一時相唱タル字並ニ其變更年月日等無漏朱記シ置クヘシ此旨相達候事

●丙豆駁第六號

(明治十四年十一月十一日)

郡 町 村

地租改正實地丈量ニ際シ地所之字改稱願出許可受シモノ及ヒ舊地券調ノ節字境ヲ混シ或ハ従前ノ稱ニ因ラス杜撰ノ字ヲ附シ置タルヲ訂正復稱セシモノハ將來紛敷儀無之爲メ村簿其筆毎トニ改稱ハ従前之字復稱ハ舊地券ノ字并更訂年月日無遺漏朱記致シ置ヘシ此旨相達候事

但改稱ハ願濟年月日復稱ハ其町村實地丈量檢査濟ノ年月日ヲ記スヘシ

●告示第五十九號 (明治二十三年十月十日)

駿東郡小泉村ヲ分離シ左ノニケ村ヲ置ク

- 小泉村 區 富澤、佐野、水窪、伊豆、島田、ニツ家、石脇
- 泉村 同 茶畑、平松、麥塚久根、公文名、稻荷

右町村制第四條第三百三十條ニ依リ處分ス

●告示第二十二號 (明治二十六年四月九日)

庵原郡江尻町ノ内辻ヲ分割シテ辻村ヲ置キ役場位置ヲ字島崎トス

但飛地ハ各所在地籍ニ編入シ又辻ノ内字西内濱八百九十四番第二ノ一宅地ハ江尻町ノ内江尻ニ同字吉添百七十七番ヨリ百八十三番百九十九番ヨリ二百三十五番ニ至ル田畑ハ同江尻出作ニ編入ス

右町村制第四條第三百三十條ニ依リ處分ス

●告示第四十九號 (明治二十七年五月三十一日)

山名郡御厨村内大字東脇、新出、和口、東新屋、大立野、蛭池、南島、小島ヲ分割シテ南御厨村ヲ置キ役場位置ヲ東新屋ノ内字榎田トス

右町村制第四條第三百三十條ニ依リ處分ス

●告示第四十一號 (明治二十八年八月二十日)

佐野郡掛川町大字南西郷(字一ノ坪、中西、鐘鑪場、二十六ノ坪、三ノ坪ノ内五十四番ノ一ヨリ五十五番ノ二マテ、六ノ坪ノ内八十二番ヨリ百五番ノ二マテ、七ノ坪ノ内百六番ノ一ヨリ百十八番ノ五マテ、百二十六番ノ一ヨリ百三十番マテ、九ノ坪ノ内二百七番ノ一ノ一、二百七番ノ二、二百十一番ノ一ヨリ二百十六番ノ二マテ、二十七ノ坪ノ内八百八番ノ一ヨリ八百十九番マテ、八百六十二番ヨリ八百九十番マテ、二十八ノ坪ノ内九百九番及掛川停車場敷地並之ニ達スル道路敷ヲ除ク)大字下俣(村)(字下ノ前、清水ノ内千二十六番ヨリ千二十九番ノ二マテ、十九首裏ノ内千四十番ヨリ千五十番ノ二マテ、ヲ除ク)大字結縁寺(字押出ノ内二百七十八番ヨリ二百八十一番迄、ヲ除ク)大字下俣(町)ノ内字松ノ木、楠、字洞ヶ谷、上山本、下山本、池ノ谷、川代、權現、東ノ原、西ノ原、神明前、中野、宮前、今堤、猿山、及花崎ノ内四十六番ヨリ五十一番マテ、土取ノ内百四十五番ヨリ百五十五

番マテ、大字仁藤ノ内字大日裏ノ内百二十九番百三十番ノ一、百三十一番ノ一ヨリ百四十九番マテヲ分割シテ西南郷村ヲ置キ役場位置ヲ南西郷ノ内字三十三ノ坪トス

右町村制第四條及第三十條ニ依リ處分ス  
●告示第三十四號 (明治二十九年五月十四日)

賀茂郡宇久須村ノ内大字安良里ヲ分割シテ安良里村ヲ置キ其役場位置ヲ字向田トス

右町村制第四條及第三百二十條ニ依リ處分ス  
●告示第五十六號 (明治二十九年八月二十日)

賀茂郡濱崎村ノ内大字白濱ヲ分割シテ白濱村ヲ置キ其役場位置ヲ字長田トス

●告示第五十四號 (明治二十七年七月十一日)

豊田郡向笠村大藤村組合來ル十五日ヨリ解除ニ付兩村役場位置左ノ通之ヲ定ム

一向笠村役場 全村向笠竹之内字東海道  
一大藤村役場 全村藤上原字大道東

●告示第二號 (明治三十年一月十二日)

濱名郡河輪村五島村組合解除ニ依リ各村役場位置左ノ通之ヲ定ム

一河輪村役場 河輪村幸瀬字村東

一五島村役場 五島村西島字中前東

●告示第二十六號 (明治二十四年六月十二日)

伊豆國		駿河國		遠江國	
賀茂郡 熱海村	改稱 熱海町	駿東郡 深浜村	改稱 深良村	長上郡 橋田村	改稱 和田村
那賀郡 中ノ郷村	改稱 中川村	志太郡 朝夷村	改稱 朝比奈村	長上郡 万斛村	改稱 中郡村
				敷知郡 曳馬下村	改稱 曳馬村

右明治廿三年法律第七十七號ニ依リ村ヲ町トナシ并ニ村名ヲ改稱ス

●告示第三十五號 (明治二十四年七月十四日)

遠江國敷知郡須ノ木澤村

改稱 吉野村

右明治廿三年法律第七十七號ニ依リ村名ヲ改稱ス

●告示第四十六號 (明治二十四年九月十七日)

遠江國長上郡笠井村

改稱 笠井町

右明治廿三年法律第七十七號ニ依リ村ヲ町トナス

●告示第四十一號 (明治二十六年八月十八日)

山名郡福島村大字庄内新田ヲ自今中島庄内新田ト改稱ス

●告示第三十四號 (明治二十八年六月二十三日)

佐野郡掛川町南郷村組合來ル三十日ヨリ解除ニ付各町村役場位置左之通り之ヲ定ム

一掛川町役場 掛川町南西郷字三ノ坪

一南郷村役場 南郷村上張字矢崎

●告示第四十二號 (明治二十九年六月十九日)

遠江國磐田郡掛塚村

改稱 掛塚町

右明治廿三年法律第七十七號ニ依リ改稱ス

●告示第三十四號 (明治三十一年三月十三日)

縣下周智郡山梨村ヲ山梨町トス

●告示第八十六號 (明治三十二年七月一日)

安倍郡南賤機村北賤機村組合解除ニ依リ各村役場位置左ノ通之ヲ定ム

一南賤機村役場 南賤機村安西井宮字井宮

一北賤機村役場 北賤機村福田ヶ谷字割元

●告示第九十二號 (明治三十二年七月八日)

駿東郡富岡村須山村組合解除ニ依リ各村役場位置左ノ通之ヲ定ム

一富岡村役場 富岡村御宿字宿頭

一須山村役場 須山村字原

●告示第十六號 (明治三十四年一月廿五日)

管下庵原郡富士川村ヲ富士川町ト改稱ス

●告示第六十七號 (明治三十四年三月廿九日)

小笠郡日坂村東山村組合解除ニ依リ各村役場位置左ノ通之ヲ定ム

一日坂村役場 日坂村日坂字屋敷

一東山村役場 東山村字合戸貝戸

●告示第百廿六號 (明治三十四年七月五日)

縣下志太郡燒津村ヲ燒津町ト改稱ス



●告示第六十七號 (明治三十四年十一月一日)

縣下磐田郡龍川村ノ内大字大嶺同戸倉同郡山香村ノ内大字瀨尻同下平山ヲ分割シテ龍山村ヲ置キ其役場位置ヲ大字大嶺字西川ト定ム

右町村制第四條ニ依リ處分シタリ

●告示第二十五號 (明治二十四年六月十一日)

佐野郡南郷村ノ内大字長谷ヲ分割シ同郡大池村へ合併ス

右町村制第四條並第三百三十條ニ據リ處分ス

●告示第一號 (明治二十六年一月七日)

伊豆國地籍未定地ハ町村制第四條ニ依リ左ノ通り其地籍ヲ定メタリ

原野反別四百四拾一町八反四畝廿四步

田方郡北狩野村大字浮橋ノ地籍トス

原野反別四百拾二町八反廿九步

田方郡葦山村大字葦山ノ内多田地籍トス

池沼反別一町七反二畝拾五步

前ニ同シ

●告示第二十五號 (明治二十六年四月十四日)

豊田郡大藤村地内同郡向笠村笠梅飛地及向笠村地内大藤村大久保飛地ハ自今各所在地籍ニ編入ス但大藤村大久保飛地ハ各所在大字中ニ組入ル、モノトス

右町村制第四條第三百三十條ニ依リ處分ス

●告示第六十八號 (明治二十六年十二月十六日)

佐野郡南郷村ノ内大字下俣南西郷結縁寺ノ地籍ヲ割テ同郡掛川町へ編入ス

右明治二十六年十二月十二日佐野城東郡長ニ於テ町村制第四條ニ依リ處分シタリ

●告示第十九號 (明治二十八年四月十七日)

益津郡西益津村大覺寺上ノ内字水神松二百九十番ノ一、二百九十番ノ二、二百九十一番、二百九十二番ノ一及字横手堤塘長百二十七間志太郡豊田村小土境ヨリ湖益橋ニ至ル並同堤塘接續河原地ヲ割キ志太郡豊田村小土へ編入ス

右町村制第四條及第三百三十條ニ依リ處分ス

●告示第五十四號 (明治二十八年十一月六日)

明治廿八年十月廿八日榛原郡長ニ於テ榛原郡勝間田村ト川崎町トノ境界變更ノ件左ノ通處分セリ一勝間田中村字西川千九十九番ノ二、千百番ノ二、千百一番ノ一、千百二番ノ一、同所字十一ノ坪千

四百十三番一ノ二ノ二、千四百十三番二ノ一、千四百三十六番千四百三十七番合併ノ一、千四百三十八番ノ一、千四百三十九番、千四百四十番、千四百四十一番、千四百四十二番、千四百四十三番、千四百四十四番、千四百四十五番、千四百四十六番、千四百四十七番、千四百四十八番ノ一、千四百四十八番ノ二、地此總反別五反壹畝貳拾壹步外拾五步畦畔及同所字西川千九十九番ノ二、千九百三番ノ一地先勝間田川舊堤敷貳畝步舊川敷八畝四步同所字十一ノ坪千四百十三番二ノ一及千四百十三番一ノ二ノ二ノ地先勝間田川舊堤敷壹畝拾步舊川敷四畝拾步同所同字千四百三十六番、千四百三十七番合併ノ一、千四百四十番、千四百四十二番、千四百四十三番、千四百四十四番、千四百四十六番、千四百四十七番、千四百五十一番ノ地先勝間田川舊堤敷四畝拾五步、舊川敷八畝貳拾步、同所字西川千九十九番ノ二、千番番ノ二、千番一ノ一、千番二番ノ一、地先勝間田川新堤塘長四十九間、同所字十一坪千四百十三番一ノ二ノ二ノ地先勝間田川新堤塘長三十三間、同所同字千四百三十六番、千四百三十七番合併ノ一、千四百三十八番ノ一、千四百四十八番ノ二、千四百五十一番ノ地先勝間田川新堤塘長七十八間五分及以上新堤塘ニ伴フ新川敷地ハ其中心ヲ畫シ併セ割キテ川崎町勝俣ニ編入ス

一 川崎町勝俣字菰田二百四番、二百五番合併ノ一、二百六番ノ一ノ一、二百六番ノ二ノ一、同所字雁田三百四十三番ノ一、三百五十一番ノ一、三百五十一番ノ地此總反別七畝拾九步及同所字八反ノ木七十二番ノ二、七十三番合併ノ地先勝間田川新堤塘長六十間舊川敷三畝步同所字菰田二百六番一ノ一、二百六番二ノ一地先勝

間田川新堤塘長三十二間舊堤敷二畝拾八步舊川敷三畝十二步同所字雁田三百四十三番ノ一ノ地先勝間田川新堤塘長拾七間舊堤敷三畝步舊川敷三畝二十步同所同字三百五拾番ノ一、三百五拾一番ノ地先勝間田川新堤塘長二拾四間五分舊堤敷三畝二步、舊川敷三畝二拾八步及以上勝間田川新堤塘ニ伴フ新川敷地ハ其中心ヲ畫シ併セ割キテ勝間田村中ニ編入ス

●告示第十七號 (明治三十年二月二十日)

磐田郡上淺羽村ト同郡東淺羽村トノ境界變更ノ件同郡參事會ノ決議ニ依リ明治二十九年十二月廿六日同郡長ニ於テ左ノ通り處分セリ

- 一 上淺羽村豊住字谷田三千百五拾九番ノ三、三千百六拾番ノ二、三千百六十一番ノ二、三千百六十三番ノ二、三千百六十四番ノ二、三千百七十四番ノ二、三千百七十六番ノ二、三千百七十六番ノ二ノ二、三千百七十七番ノ三、三千百七十七番ノ二、三千百八十番ノ二、三千百七十九番ノ二、三千百八十番ノ三ヲ割キテ東淺羽村梅山ヘ編入ス
- 一 東淺羽村梅山字本橋四千三百一番ノ十ノ一、四千三百一番ノ十一ノ一、三、字谷田四千三百一番ノ二ノ二、四千三百一番ノ三ノ二、四千三百一番ノ四ノ二、四千三百一番ノ五ノ二、四千三百一番ノ六ノ三ヲ割キテ上淺羽村豊住ヘ編入ス
- 一 東淺羽村梅山字谷田四千三百一番ノ五ノ三、四千三百一番ノ六ノ二、字本橋四千三百一番ノ七ノ

二、四千三百一十一番ノ九ノ一ノ三、四千三百一十一番ノ十三ノ二、四千三百一十一番ノ十五ノ二、四千三百一十一番ノ十六ノ三、四千三百一十一番ノ十八ノ三、四千三百一十一番ノ二十一ノ一ノ二、四千三百一十一番ノ九ノ一ノ二ヲ割キテ上淺羽村淺羽へ編入ス

一上淺羽村淺羽字本橋四千三百二十一番ノ二、四千三百二十番ノ二、四千三百十九番ノ二、四千三百九十六番ノ二、四千三百二十一番ノ三、四千三百三十二番ノ一ノ三、四千三百三十二番ノ一ノ二、四千三百三十六番ノ一ノ三、四千三百三十六番ノ一ノ二、四千三百三十九番ノ一ノ二、四千三百五十番ノ二ヲ割キテ東淺羽村梅山へ編入ス

●告示第十九號 (明治三十年三月二日)

濱名郡河輪村東ノ内字老間境ヲ割キ芳川村へ編入ノ件同郡參事會ノ決議ニ依リ明治二十九年十二月廿八日同郡長ニ於テ處分セリ

●告示第五十七號 (明治三十年六月三日)

磐田郡上淺羽村豐住ノ内字谷田三千四十六番ノ二、三千四十七番ノ二、三千五十二番ノ二、三千五十七番ノ二、三千五十八番、三千五十九番ノ二、三千六十番ノ二、三千六十三番ノ二、三千六十四番ノ二、三千六十五番ノ二、三千七十一番ノ二、三千八十三番ノ二、三千九十番ノ二、三千九十一番ノ二、三千九十三番ノ二、三千九十四番ノ二、三千九十五番ノ二、三千百二十四番ノ二、三千百二十六番ノ二、三千百四十七番ノ二、三千百四十八番ノ二、三千百四十九番ノ二、三千百五十番ノ二、三千百五十一番ノ二、三千百五十二番ノ二、三千百五十九番ノ二ヲ割キ小笠郡笠原村岡崎へ編入シ小笠郡笠原村岡崎ノ内字北山間六千五百六十四番ノ三、六千五百六十六番ノ二、六千五百六十八番ノ三、六千五百六十四番ノ二、六千五百六十七番ノ二、字北川六千六百四十六番ノ二、六千六百四十七番ノ二、六千六百五十四番ノ二、六千六百六十一番ノ二、六千六百六十二番ノ二、字角庵六千七百八十七番ノ二、六千七百八十四番ノ二、六千八百三番ノ二、六千八百四番ノ二、六千八百五番ノ二、六千八百六番ノ二ヲ割キ磐田郡上淺羽村豐住へ編入ス又磐田郡東淺羽村梅山ノ内字本橋四千三百一十一番ノ十一ノ一ノ二、全番ノ十二ノ二、全番ノ十六ノ二、全番ノ十七ノ二、全番ノ十八ノ二、全番ノ十九ノ二ノ二ヲ割キ小笠郡笠原村岡崎へ編入シ小笠郡笠原村岡崎ノ内字南山間六千二百三十番ノ二、六千二百四十五番ノ二、六千二百五十八番ノ二、六千五百五十九番ノ二ヲ割キ磐田郡東淺羽村梅山へ編入ス

右町村制第四條ニ依リ處分ス

●告示第二十四號 (明治三十一年二月四日)

濱名郡淺塙村伊塙及東鴨江ノ地内ヲ割キ濱松町へ編入ノ件同郡參事會ノ決議ニ依リ明治三十一年一月二十一日同郡長ニ於テ左ノ通處分セリ

一 淺場村伊場字七反田百三十七番、百四十二番、百四十番、百四十一番、百十四番、百十三番ノ一、八十八番ノ一、九十六番、八十九番、九十番、九十三番、九十七番、九十八番、九十九番、百番、九十四番、百二十五番、百四十三番、百十七番ノ一、百三十二番ノ一、九十五番、九十二番、九十一番、百三十二番ノ二、百三十番、百五十二番、百四十八番ノ一、百四十八番ノ二、百四十五番、百五十一番、百四十七番ノ一、百四十七番ノ二、百四十六番、百三十六番、百十九番ノ一、百二十四番、百三十五番、百三十四番、百三十三番、百十二番ノ一、百十五番ノ一、百十六番ノ一、百十八番ノ一、百二十番ノ一、百三十一番、百二十九番、百二十七番、百二十一番ノ一、百二十六番、百一番ノ一、百二十八番、百三十九番、百六十五番、百六十三番、百六十二番ノ一ノ二、百六十二番ノ二ノ二、百三十八番、百二十三番、百二十二番、百十二番ノ二、字東上久千百九十六番、千百七十番三ノ一、千百七十四番、千百七十五番、千百七十六番、千百七十七番、千百七十八番、千百八十番ノ一、千百九十四番ノ一ノ二、千百九十九番ノ二、千百九十五番ノ一ノ二、千百九十八番、千百七十九番、千百七十二番ノ一、千百七十二番ノ二、千百七十三番ノ二、字房僧千百五十八番、千百五十二番ノ二、千百五十九番、千百六十五番、千百六十一番、千百六十番、千百六十二番、千百六十九番、千百七十番、千百六十四番ノ一、千百七十一番、千百六十三番、千百六十六番、千百六十八番及全村東鴨江一里塚千八百四十四番、千八百四十三番、千八百四十八番、千八百四十五番ノ二、千八百五十一番ノ二、千八百四十五番ノ一、千八百五十

一番ノ一、千八百六十一番、千八百四十九番、千八百五十七番、千八百五十九番、千二百五十番、千八百五十二番、千八百五十六番、千八百五十八番、千九百八番、千九百九番、千九百七番、千九百六番、千九百十一番、千九百十番、千九百二番ノ二、千九百五番、千九百四番、千九百三番、千九百二番ノ一、千八百九十九番、千九百一番、千八百五十四番、千八百五十五番ヲ割キテ濱松町へ編入ス

●告示第八十八號 (明治三十一年六月二十二日)

磐田郡廣瀬村掛下ノ地内ヲ割キ岩田村へ編入ノ件同郡參事會ノ決議ニ依リ明治三十一年五月十五日同郡長ニ於テ左ノ通り處分セリ

一 廣瀬村掛下字大松四ノ割九百七十二番ノ二、九百七十九番ノ二、九百八十番ノ一、九百八十番ノ二、九百八十一番ノ一ノ二、九百八十一番ノ一ノ二、九百八十五番ノ二、九百八十六番ノ一、九百八十六番ノ二、九百八十七番ノ一、九百八十七番ノ二、九百八十八番ノ一、九百八十八番ノ二、九百八十九番ノ一、九百八十九番ノ二、九百九十番ノ一、九百九十三番ノ二、九百九十四番ノ一、九百九十四番ノ二、九百九十五番ノ一、九百九十五番ノ二、九百九十六番ノ一、九百九十六番ノ二、九百九十七番ノ一、九百九十七番ノ二、九百九十八番、九百九十九番ノ二、千番ノ一、千一番、千二番ノ一、千二番ノ二、千三番ノ一、千三番ノ二ヲ割キテ岩田村寺谷新田へ編入ス

●告示第十五號 (明治三十三年一月二十三日)

濱名郡富塚村濱松澤ノ地内ヲ割キ濱松町へ編入ノ件同郡參事會ノ決議ニ依リ明治三十二年六月二十三日同郡長ニ於テ左ノ通り處分セリ

一富塚村字濱松澤字東谷一番地、字常光二番地ノ一、二番地ノ二、三番、四番、五番、六番、七番、八番九番、十番、十一番、<sup>十二番</sup>、<sup>十三番</sup>、<sup>十四番</sup>地ノ二ヲ割キ濱松町へ編入ス

●告示第三百三十八號 (明治三十三年七月六日)

濱名郡村櫛村地先公有水面埋立地ヲ村櫛村へ編入ノ件濱名郡參事會ノ議決ヲ經明治三十三年六月十一日同郡長ニ於テ左記ノ通處分セリ

一村櫛村字中の三千七百四十三番、全三千五百九十四番ノ二、全三千五百九十五番ノ二トシ村櫛村へ編入ス

●告示第百八十八號 (明治三十三年十月廿六日)

濱名郡雄踏村地先水面埋立地左記ノ通雄踏村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十三年八月十日處分セリ

一濱名郡雄踏村字布見字淺羽地先水面埋立地七畝二十六歩ヲ雄踏村へ編入ス

●告示第五號 (明治三十四年一月十八日)

濱名郡北庄内村地先水面埋立地左記ノ通北庄内村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十三年十一月二十六日處分セリ

一濱名郡北庄内村白洲地先水面埋立地字方田三千六百四十三番、字蟹田三千六百四十四番、三千六百四十五番、三千六百四十七番、三千六百四十八番、字四ツ松三千六百四十六番、字伊地見三千六百四十九番、三千六百五十二番、三千六百五十三番、字案引三千六百五十番、三千六百五十一番ヲ北庄内村へ編入ス

●告示第二十號 (明治三十四年二月一日)

濱名郡吉津村地先水面埋立地左ノ通吉津村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十三年十二月十七日處分セリ

一濱名郡吉津村地先水面埋立地大字鷲津字廣谷二千四百五十八番、二千四百五十九番、大字中之郷字寺川三千六百二十七番、三千六百二十八番、字西脇三千六百二十五番、三千六百二十六番ヲ吉津村へ編入ス

●告示第三十四號 (明治三十四年二月八日)

濱名郡南庄内村地先水面埋立地左記ノ通南庄内村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十三年十二月六日處分セリ

一濱名郡南庄内村地先大字和田小字法舊山百四十三番ノ二、百四十二番ノ三、百四十番ノ二、大字

同小字森下千五十六番ノ二、千五十五番ノ二、千五十三番ノ二、千五十一番ノ二、千九十九番ノ二、千六十四番合併ノ二、千五十九番ノ二、大字同小字居下千二百八十八番ノ二、千三百五番ノ二、千三百四番ノ二、大字同小字文造千五百九十三番ノ三、千五百九十三番ノ二、千六百二番ノ二、千六百十二番ノ二、大字同小字河原千六百二十八番ノ二、大字同小字久寶千七百四十一番ノ二、千七百三十七番ノ二、千七百四拾九番ノ二、大字同小字溝上千七百三十六番ノ二、千七百三十番ノ二、千七百廿九番ノ二、大字同小字伊崎千八百八番ノ二、千八百七番ノ二、千八百六番ノ二、千八百五番ノ二

●告示第百十六號 (明治三十四年六月七日)

濱名郡吉津村地先水面埋立地左記ノ通吉津村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十四年三月三十日處分シタリ

一濱名郡吉津村中之郷地先水面埋立地字寺川三千六百廿九番

一全郡全村鷺津地先水面埋立地字セウマセ二千四百六十番

右吉津村へ編入ス

●告示第百四十六號 (明治三十四年九月六日)

濱名郡吉津村地先水面埋立地左記ノ通吉津村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十四年六月廿二日處分シタリ

一濱名郡吉津村鷺津地先水面埋立地字分川二千四百六十四番及二千四百六十六番

●告示第百五十四號 (明治三十四年十月十一日)

濱名郡吉津村地先水面埋立地左記ノ通吉津村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十四年九月十一日處分シタリ

一濱名郡吉津村中之郷地先水面埋立地字吉見坂三千六百三十四番及三千六百三十六番

●告示第百六十六號 (明治三十四年十一月一日)

濱名郡南庄内村地先水面埋立地左記ノ通南庄内村へ編入ノ件

右町村制第四條ニ依リ明治三十四年六月十一日處分シタリ

一濱名郡南庄内村協和地先水面埋立地字白川原二千五百番、二千五百一、二千五百二番、二千五百三番、二千五百四番、二千五百五番、二千五百六番

●告示第五十二號 (明治三十五年三月十四日)

駿東郡富岡村小泉村長泉村金岡村鷹根村浮島村地先駿東郡愛鷹山ノ内同郡沼津町外十ヶ村共有地ハ從來地籍未定ノ處明治三十五年一月二十八日町村制第四條ニ依リ左記ノ通處分シタリ北ハ富岡村今里境南ハ梅ノ木澤日向ノ臺臺通限御料地境ニ至ル

反別貳百九拾七町壹反壹畝歩

右駿東郡富岡村へ編入

北ハ梅ノ木澤日向ノ臺峯通ヲ限リ南ハ梅ノ木澤ヲ限リ御料林境ニ至ル

反別百八拾町四反參畝貳拾四歩

右駿東郡小泉村へ編入

東北ハ梅ノ澤及字七曲東コソノオヲ限リ西ハ桃澤ヲ限ル

反別五百參拾參町參反壹畝五歩

右駿東郡長泉村ニ編入

東ハ桃澤ヲ限リ西ハ小尾振澤西ノ臺峯通境塚ヨリ椎木坂頭境塚ニ至リ夫ヨリ三本杉頭ヲ見通ス

反別七百參拾町四反貳畝拾參歩

右駿東郡金岡村へ編入

東ハ小尾振澤西ノ臺峯通境塚ヨリ椎木坂頭境塚ニ至リ夫ヨリ三本杉頭ヲ見通シ西ハ中宮西側ノ通

ヨリ臺道通ヲ經テ愛鷹山宮ニ至ル道ヲ境トス

反別八百參拾五町參反九畝貳歩

右駿東郡鷹根村へ編入

東ハ中宮西側ノ道ヨリ臺道通ヲ經テ愛鷹山宮ニ至ル道境ヨリ西ハ富士郡境ヲ限ル

反別六百九拾五町四反參畝拾六歩

右駿東郡浮島村へ編入

●告示第七十二號 (明治三十五年四月十一日)

磐田郡三川村大字區域左ノ通變更ス

一三川村大字川會字當ノ越三〇九番ノ一、同字三〇九番ノ二、同字三一三番ノ一、同字三一三番ノ

二、同字三一五番、同字三一七番ノ一、同字三一七番ノ二、字姪作四二七番、字八反田四三一番、

同字四三三番ノ二、同字四三三番、同字四四一番

以上三川村大字葦間へ編入ス

一三川村大字葦間字社郷地一三二五番ノ一、字川會前一三二六番ノ一、同字一三二七番ノ一、同字

一三二八番ノ一、同字一三二九ノ一、同字一三三〇番、字社郷地一三三一番、同字一三三二番ノ一

同字一三三三番ノ二、字川會前一三三三番ノ一、同字一三三六番ノ一、同字一三三七番、同字一三

三九番ノ一、字社郷地一三三四番ノ一、同字一三三五番ノ一、同字一三三八番、同字一三四〇番ノ

一、同字一三四三番ノ一、同字一三三四番ノ一

以上三川村大字川會へ編入ス

●告示第七十八號

(明治三十五年四月十一日)

濱名郡伊佐見村地先水面埋立地左記ノ通伊佐見村へ編入ノ件  
 右町村制第四條ニ依リ明治三十五年一月十五日處分シタリ  
 一濱名郡伊佐見村佐濱地先水面埋立地字後五千四百四十四番  
 田反別壹反貳畝拾壹步

外

堤敷反別參畝拾四步

●告示第七十九號

(明治三十五年四月十一日)

濱名郡伊佐見村地先水面埋立地左記ノ通伊佐見村へ編入ノ件  
 右町村制第四條ニ依リ明治三十四年十二月廿七日處分シタリ  
 一濱名郡伊佐見村古人見地先水面埋立地字グアシ千四百九十四番、千四百九十五番、千四百九十六番、千四百九十七番、千四百九十八番、千四百九十九番、千五百番、千五百一十番、千五百一十番、千五百一十一番、千五百一十二番、千五百一十三番、千五百一十四番、千五百一十五番、千五百一十六番、千五百一十七番、千五百一十八番、千五百一十九番、千五百二十番、千五百二十一番、千五百二十二番、千五百二十三番、千五百二十四番、千五百二十五番、千五百二十六番、千五百二十七番、千五百二十八番、千五百二十九番、同字西千五百三十番、千五百三十一番、千五百三十二番、千五百三十三番、千五百三十四番、千五百三十五番、千五百三十六番、千五百三十七番、千五百三十八番、千五百三十九番、同字アベタヤ千五百四十番

合田反別貳町參反貳拾四步

外

堤敷反別貳反八畝七步

道敷反別壹畝九步

溝敷反別參畝貳拾四步

●告示第九十三號

(明治三十五年四月廿五日)

濱名郡雄踏村地先水面埋立地左記ノ通雄踏村へ編入ノ件  
 右町村制第四條ニ依リ明治三十五年一月十五日處分シタリ  
 一濱名郡雄踏村字布見地先堀田九千五百四十七番、九千五百四十八番、九千五百四十九番、九千五百五十番  
 田反別壹町貳反五畝拾四步



外

堤敷反別參反參畝貳拾四步

●告示第百三十三號

(明治三十五年六月六日)

縣下磐田郡上淺羽村大字區域ヲ左ノ通變更ノ件許可シタリ

磐田郡上淺羽村淺名地名

字新屋五番ノ二田反別八步、全五番ノ三田反別三歩、全五番ノ四田反別壹歩、字八幡領五十七番ノ二田反別壹歩、全五十八番ノ二田反別拾八歩、全五十九番ノ二田反別壹畝拾七歩、全六十番ノ三田反別拾參歩、字郷廻四百九十二番ノ四田反別拾歩、字村東八百七十番ノ一田反別貳畝貳拾四歩、全八百七十五番ノ二田反別壹畝拾四歩、全八百七十六番ノ二田反別貳拾參歩、全八百八十七番ノ三田反別貳畝拾七歩、字蟻千二十一番ノ四畑反別六歩、全千三十一番ノ三田反別壹歩、全千三十二番ノ五田反別拾貳歩、全千三十三番ノ六田反別六歩、全千三十三番ノ七田反別壹畝貳拾壹歩、全千三十九番ノ二田反別五畝拾參歩、字田中橋千四十番ノ二田反別拾六歩、全千四十番ノ四田反別六歩、全全番ノ八田反別壹歩、字畦會七百六十九番ノ二田反別四歩、全七百七十番ノ二田反別拾五歩、全七百七十一番ノ二田反別壹歩、全全番ノ三田反別壹歩、全七百七十三番ノ二田反別拾貳歩、全七百七十五番ノ二田反別四歩、全七百八十四番ノ二田反別壹歩、字村東七百八十九番

ノ三田反別拾參歩、全全番ノ四田反別八歩、全八百一十一番ノ二田反別壹畝七歩、全八百廿九番ノ三田反別壹歩、全八百四十番ノ一田反別貳畝拾貳歩、全八百四十一番ノ一田反別壹畝貳歩、字八幡領六十二番ノ二田反別貳歩、全全番ノ三田反別壹歩、全七十三番ノ二田反別八歩、全七十五番ノ二田反別參歩、全七十六番ノ二田反別五歩、全七十七番ノ二田反別九歩、全七十八番ノ二田反別壹歩、全七十九番ノ三田反別壹歩、全全番ノ四田反別壹歩、字神明八十四番ノ二田反別壹畝拾貳歩、全全番ノ三田反別參歩、全八十八番ノ六田反別壹歩、字上川地三百八十七番ノ四田反別拾壹歩

右上淺羽村淺羽へ編入

磐田郡上淺羽村淺羽地内

字荒屋千三百七十三番ノ二田反別五歩、全千三百八十六番ノ二田反別九歩、全千三百八十九番ノ二田反別四歩、全千四百八番ノ四田反別參歩、全全番ノ五田反別貳歩、全千四百廿七番ノ二田反別拾六歩、字井ノ間千八百十七番ノ二田反別壹畝參歩、全千八百十八番ノ二田反別四歩、全千八百十八番ノ三田反別貳歩、字八ツ枝千九百九十八番ノ二田反別貳拾貳歩、字宮田四千四百五十六番田反別五畝貳拾六歩、全四千四百五十七番ノ一田反別五畝歩、全四千四百六十番ノ二田反別壹畝拾反、全四千四百六十番ノ三田反別四歩、全四千四百六十一番ノ二田反別壹畝拾歩、全全番ノ

三田反別貳拾八步、全全番ノ四田反別六步、全四千四百六十二番ノ二田反別拾七步、全四千四百六十三番ノ二田反別貳拾步、全四千四百六十五番ノ七田反別壹步、全四千四百六十六番ノ八田反別壹步、全全番ノ七田反別貳步、全四千四百六十七番ノ八田反別六步、全四千四百七十二番ノ一田反別貳畝拾六步、全四千四百七十三番ノ二田反別壹步、全四千四百七十四番ノ一田反別貳畝貳拾參步、全四千四百八十番ノ二田反別拾參步、全四千四百八十二番ノ二田反別壹步、字炭燒四千四百七十七番ノ三田反別拾五步、全四千四百七十九番ノ二田反別貳拾五步、全全番ノ三田反別壹步、全四千四百八十一番ノ二田反別八步、全四千四百八十一番ノ二田反別八步、全四千五百一十番ノ一田反別貳畝拾五步、全四千五百一十番ノ三田反別八步、全四千五百九十九番ノ三田反別六步、全全番ノ四田反別八步、全四千五百一十一番ノ二田反別拾壹步、字市免千四百六十四番ノ五田反別五步、全千四百六十六番ノ二田反別貳拾貳步、字常道寺千四百七十番ノ四田反別貳步、全千四百七十六番ノ六田反別五步、全千四百七十七番ノ四田反別六步、全千四百八十四番ノ二田反別拾四步、全千四百八十五番ノ二田反別拾六步、全千四百九十番ノ二田反別參步

右 上淺羽村淺名ノ編入

磐田郡上淺羽村淺名地内

字新屋十四番ノ二田反別參步、全全番ノ三田反別貳步、全拾九番ノ五田反別貳步、字蓮前百九十九番ノ三田反別七畝拾壹步、全二百十九番ノ二田反別二步、全二百二十一番ノ二、田反別貳拾七步、全二百五十七番ノ二田反別貳步、全二百五十五番ノ二田反別七步、全二百七十一番ノ三田反別壹步、字木引六百六十七番ノ二田反別貳拾貳步、全六百七十三番ノ五田反別壹步、全六百七十四番ノ二田反別貳步、全全番ノ三田反別壹步、全六百六十九番ノ四田反別拾六步、全六百七十六番ノ四田反別六步、全六百七十九番ノ二田反別三步、字村東七百二十九番ノ二田反別拾貳步、全七百三十四番ノ二田反別六步、全七百三十五番ノ二田反別貳拾四步、全七百四十番ノ二田反別貳步

右 上淺羽村豊住ノ編入

磐田郡上淺羽村豊住地内

字馬草五番ノ二田反別三步、全六番ノ二田反別壹步、全七番ノ二田反別三步、全八番ノ二田反別貳步、全十二番ノ二田反別壹步、字鍵田五百八十八番ノ二田反別貳步、全五百八十九番ノ二田反別四步、全五百九十番ノ二田反別五步、全五百九十一番ノ二田反別五步、全五百九十二番ノ二田反別貳步、全五百九十六番ノ二田反別壹步、字居廻二千五百三十五番ノ二田反別拾貳步、全二千五百三十四番ノ二田反別壹步、全二千五百三十六番ノ二田反別壹步、全二千五百三十七番ノ二田反別八步、全二千五百三十九番ノ二田反別貳步、全二千五百九十三番ノ二田反別壹畝七步、全二千

千六百十七番ノ二田反別壹歩、全二千六百十九番ノ二田反別六歩、全二千六百二十一番ノ二田反別拾歩、全二千六百二十二番ノ二田反別參歩、字長取三千五百二十五番ノ二田反別壹歩、全三千五百三十二番ノ二田反別參歩、全全番ノ三田反別拾五歩、全三千五百三十三番ノ二田反別壹歩、全三千五百四十六番ノ二田反別壹歩、全三千五百四十六番ノ三田反別參歩、全三千五百四十七番ノ三田反別拾壹歩ノ四田反別六歩、全三千五百四十七番ノ二田反別拾參歩、全三千五百四十七番ノ三田反別拾壹歩、全三千五百四十八番ノ二田反別參歩、全三千五百四十八番ノ三田反別參歩、全三千五百四十八番ノ四田反別拾六歩、全三千五百四十八番ノ五田反別六歩、全三千五百四十八番ノ六田反別壹歩、全三千五百四十七番ノ四田反別拾五歩、全三千五百八十三番ノ二原野反別壹歩、全三千五百八十三番ノ三番ノ三原野反別貳歩、全三千五百八十四番ノ二田反別壹畝貳拾六歩、全三千五百八十四番ノ三田反別拾九歩、全三千五百八十五番ノ二原野反別八歩、全三千五百八十五番ノ三原野反別七歩、全三千五百八十六番ノ二原野反別壹歩、全三千五百八十六番ノ三原野反別貳歩、全三千五百八十七番ノ二田反別壹歩、全三千六百十七番ノ三田反別九歩、全三千六百十八番ノ二田反別拾五歩、全三千六百十八番ノ三田反別拾參歩、全三千六百十九番ノ二田反別貳歩

右ノ淺羽村淺羽名へ編入  
磐田郡上淺羽村淺羽地内

字楠ノ宮三百四十二番ノ二田反別五歩、全三百四十二番ノ三田反別廿五歩、全三百四十三番ノ四田反別二十歩、三百四十三番ノ五田反別九歩

右ノ淺羽村諸井へ編入  
磐田郡上淺羽村諸井地内

字長田一番ノ二田反別貳歩、全一番ノ三田反別壹歩、全八番ノ二田反別九歩、全八番ノ三田反別壹歩、全十三番ノ二田反別貳拾壹歩、全三十二番ノ四反田別貳歩、全三十二番ノ五田反別四歩、全三十三番ノ二田反別六歩、全四十七番ノ四田反別壹歩

右ノ淺羽村淺羽へ編入

●告示第五百五十四號 (明治三十五年六月二十七日)

縣下駿東郡金岡村外四ヶ村地籍へ新ニ編入シタル土地へ左ノ通大字名及小字名ヲ付スル件許可シタリ

駿東郡金岡村地籍

一反別七百參拾町四反參畝拾三歩

一區域 東ハ桃澤ヲ限リ西ハ小尾振澤西ノ臺臺通境塚ヨリ椎ノ木坂頭境塚ニ至リ夫ヨリ三本杉頭ヲ見通ス

右大字ヲ足高トシ小字名ヲ尾ノ上ト稱ス

駿東郡鷹根村地籍

一反別八百參拾五町參反九畝貳步

一區域 東ハ小尾振澤西ノ臺峯通境塚ヨリ椎ノ木坂頭境塚ニ至リ夫ヨリ三本杉頭ヲ見通シ西ハ

中宮西側ノ道ヨリ峯道通ヲ經テ愛鷹山宮ニ至ル道ヲ境トス

右大字名ヲ宮本トシ小字名ヲ元野ト稱ス

駿東郡浮島村地籍

一反別六百九拾五町四反參畝拾六步

一區域 東ハ中宮西側ノ道ヨリ峯道通ヲ經テ愛鷹山宮ニ至ル道境ヨリ西ハ富士郡境ヲ限ル

右大字名ヲ西野トシ小字名ヲ霞ト稱ス

駿東郡小泉村地籍

一反別百八拾町四反參畝貳拾四步

一區域 北ハ梅ノ木澤日向ノ臺峯道ヲ限リ南ハ梅ノ木澤ヲ限リ御料林境ニ至ル

右大字名ヲ北野トシ小字名ヲ富窪ト稱ス

駿東郡長泉村地籍

一反別五百參拾參町參反壹畝五步

一區域 東北ハ梅ノ木澤及字七曲東コンノオヲ限リ西ハ桃澤ヲ限ル

右大字名ヲ東野トシ小字名ヲ八分平ト稱ス

●告示第八十號 (明治三十四年四月十九日)

富士郡富士根村役場位置ヲ全村小泉字向原ニ變更ノ儀明治廿三年法律第七十七號ニ依リ認可セリ

●告示百四號 (明治三十四年五月十七日)

賀茂郡南上村役場位置ヲ全村下小野字惣ノ前ニ變更ノ儀明治廿三年法律第七拾七號ニ依リ認可シ

タリ

●告示第四百一十一號 (明治三十四年八月二十三日)

縣下駿東郡鷹根村役場位置ヲ同村字金山下三百五拾番ノ貳三百四拾九番ノ貳ニ變更ノ件認可シタ

リ

●告示第三號 (明治三十五年一月二日)

縣下田方郡上狩野村役場位置ヲ同村湯ケ島字尻戸ニ變更ノ件認可シタリ

●告示第十三號 (明治三十五年一月三十一日)

縣下駿東郡長泉村役場位置ヲ同村中上狩字奥原ニ變更ノ件認可シタリ

●告示第百二號 (明治三十五年五月二日)

縣下小笠郡大池村役場位置ヲ同村大池字下搦地二百四十二番ニ變更ノ件認可シタリ

●告示第百六號 (明治三十五年五月十六日)

縣下小笠郡原田村役場位置ヲ左記ノ地ニ變更ノ件認可シタリ

小笠郡原田村原里

字中野千八百八番地ノ二  
字松下千二百六十七番地ノ二  
字全所千二百六十九番地ノ二 合筆地

●告示第百三十一號 (明治三十五年五月三十日)

縣下小笠郡南郷村役場位置ヲ同村上張字長尾百二十八番ノ二、百三十一番ノ二、百三十二番、百三十三番、百三十四番、百三十五番ノ二合筆地へ變更ノ件認可シタリ

●告示第百五十六號 (明治三十五年六月二十七日)

濱名郡入野村役場位置ヲ今村字田端九千四百四十九番地ニ變更ノ儀明治二十三年法律第七十七號ニ依リ認可セリ

●告示第百六十七號 (明治三十五年七月四日)

濱名郡伊佐美村役場位置ヲ同村伊左地字清水九十番地ニ變更シタリ

●告示第百七十四號 (明治三十五年七月十八日)

磐田郡龍山村役場位置ヲ同村大嶺字立道二百八十三番地ノ一ノ一へ變更セリ

第二 處務規定

●訓令甲第二十五號 (明治二十二年四月十日)

郡役所 市役所 町村役場

市町村條例ノ書牒ハ左記ノ例ニ依ルヘシ

第一例

條例第何號

第一條 本村ハ第五十二條但書ニヨリ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條 制第五十六條ニヨリ本村ノ助役一名ヲ有給吏トス

第三條 助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

右條例ノ許可ヲ請フ書牒

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

年 月 日 靜岡縣何郡何村々長 何 某

内務大臣宛

別紙

條例第何號

(前記ノ條例ニ付茲ニ容ス尤其議案ノ理由書ハ添付スルモノトス)

右條例ヲ町村ニ於テ公告スル書牒

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件ヲ議決シ町村制第二百五條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

年月日

静岡縣何郡何村々長 何

某

條例第何號

(前記ノ條例ニ付茲ニ容ス)

第二例

條例第何號

本市會議員何名ヲ増加シ定員何名トス

右條例ノ許可ヲ請フ書牒

本市會ニ於テ市制第十一條ニ依リ市會議員増加ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

静岡縣静岡市參事會

年月日

市長 何

某

内務大臣 宛

別紙

條例第何號

(前記ノ條例ニ付茲ニ容ス尤其議案ノ理由書ハ添付スルモノトス)

右條例ヲ市ニ於テ公告スル書牒

市制第十一條及第三十一條ニ依リ市會議員増加ニ關スル條例ヲ設ケ第二百一十一條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

静岡縣静岡市參事會

年月日

市長 何

某

條例第何號

(前記ノ條例ニ付茲ニ容ス)

●甲第十九號 (明治二十五年七月十二日)

郡役所 市役所 町村役場

市役所町村役場ハ左ノ準則ニ依リ處務規程ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ得テ施行スヘシ

但既ニ施行ノ市町村ニシテ監督官廳へ報告シアルモノハ本文認可ヲ得ルノ限ニアラス

處務規程準則

第一條 市町村ハ便宜課若クハ係ヲ置キ事務ヲ取扱ハシムヘシ但書記其他附屬員ヲ置カサル町村ハ此限ニアラス

第二條 左ニ掲クル事項ハ之ヲ規定スヘシ

- 一 文書取扱及保管ニ關スル事項
  - 二 吏員服務ニ關スル事項
  - 三 宿直ニ關スル事項
- 前各項ノ外規定ヲ要スヘキ事項

◎甲第二十一號 (明治二十五年七月十二日)

郡役所 市役所 町村役場

市町村吏員事務引繼順序左ノ通相定ム

市町村吏員事務引繼順序

第一條 市町村長及收入役交代ノ節ハ此順序ニ從ヒ事務ノ引繼ヲ爲シ受渡ノ證書ヲ交付スヘシ

第二條 前條ノ事務引繼ハ退職者ハ退職ノ日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ但就職者未定ノ場合

※於テハ其職務ヲ代理スヘキ吏員ニ引繼ヘシ

前項ノ期限内ニ引繼ヲ了スル能ハサルモノハ監督官廳ノ許可ヲ得テ更ニ其期日ヲ定ムルコトヲ得

第三條 前條ノ事務引繼ヲ爲スニハ左ノ概目ニ依リ其要領ヲ記載セル演說書ヲ添フヘシ

- 一 帳簿書藉ノ目錄
- 一 諸稅其他收入金ノ調書(國稅、地方稅、市稅、町村稅、其他收入金ノ毎種ノ納不納額)
- 一 事務執行中ニ屬スル諸件ノ顛末
- 一 金錢受拂及現金調書
- 一 財産調書
- 一 他市町村其他交渉事件
- 一 前各項ノ外必要ト認ムル諸件ノ調書

第四條 事務引繼ノ受渡ヲ了シタルトキハ市町村長又ハ代理者ヨリ前條概目ノ第二第三第四第六ヲ具シ監督官廳へ報告スヘシ(明治廿六年甲第廿七號ヲ以テ修正)

第五條 分掌ヲ受ケタル市參事會員町村助役交代ノ節モ本規定ニ依ルヘシ

◎丙第一號 (明治二十四年三月三十一日)

郡役所 町村役場

町村役場事務ニ關スル件左記事項ニヨリ整理方取計フヘシ

- 一 町村長助役ニシテ辭職シタル者ハ其事由ヲ具シ町村長若クハ代理者ヨリ本廳へ届出ツヘシ
- 一 町村長助役ノ常選認可ヲ稟請スルニハ身分職業住所氏名生年月有給無給ノ別ヲ具シ履歷書ヲ添付シ稟請スヘシ

- 一 町村長助役收入役公務ニ使用スル印影及役場印影ハ郡役所ニ印鑑簿ヲ備置クヘシ
  - 一 町村會議按同議決書議事録ハ施政上最モ緊要ノ書類ナルヲ以テ三種各別ニ綴理保存スヘシ
  - 一 財産彙帳ヲ製シ之ニ關スル証書類ト共ニ特ニ保管スルヲ要ス彙帳ニハ全町村ノ財産ト一部ノ財産ト區別ヲ爲シ又基本財産ト普通財産トヲ區分シ悉ク登載シ積立金ノ類ハ其員額積立ノ方法管理人名等土地ハ地位地目反別地價管理人名等其他必要ナル事項ヲ附記スヘキモノトス
  - 一 町村費ノ出納ヲシテ明確ナラシムル爲メ町村役場ニ左ノ帳簿ヲ設クヘシ
- 但區又ハ一部限リノ收支帳簿モ本項ニ準ス

徵收原簿

- 是ハ賦課令狀ヲ發スル原簿タルヲ以テ人名納額ヲ記載シ納不納欠損棄捐ノ月日ヲ明記シ町村長認印スヘシ

但簿冊ハ地價割戸別割營業割反別割使用料手数料小學授業料等別冊ニ調整スヘシト雖モ種目ヲ別チ便宜合冊ト爲スハ妨クナシ

徵收明細簿

是ハ各種目限リ日々收入金ヲ登載シ日計通計ヲ付スルモノトス

徵收日計簿

是ハ明細簿ニ依リ日々町村費收入總額ヲ登載シ日計通計ヲ付スルモノトス

支出明細簿

是ハ支拂命令書ニ依リ款項目ニ就キ支出番號支出金員費途拂渡人名ヲ記載シ日計通計ヲ掲ケ豫算殘高ヲ顯ハスヘシ

但豫算金ハ款項目ノ冒頭ニ朱記スルモノトス

支出日計簿

是ハ明細簿ニ依リ町村費日々ノ支出金總額ヲ記載シ日計通計ヲ付スルモノトス

右諸帳簿ハ日計通計殘高金額ニ日々收入役認印スヘシ又町村長若クハ代理者ニ於テ例月検査ヲ爲シタルトキハ検査濟ノ旨ヲ朱記シ検査印ヲ押スヘシ

但臨時検査ノ際ニ於テハ町村長若クハ代理者並ニ立會タル議員共ニ例月検査ノ例ニヨリ捺



印スヘシ

一 町村費ノ支出ヲ爲スニハ必ス町村長若クハ代理者ヨリ收入役ニ對シ支拂命令切符ヲ發スヘシ支拂命令切符ニハ支出番號金員所屬年度豫算款項目拂渡人名年月日ヲ記載シ署名捺印スヘシ

一 支拂命令切符ハ甲乙接續シタルモノヲ用ヒ切斷シテ甲切符ハ町村長ニ取置キ乙切符ハ收入役ニ交付スルモノトス町村若クハ代理者之ヲ收入役ニ交付シタルトキハ支拂ノ手續ヲナスヘシ

但シ支出番號ハ領收証書ニ移載シ各別ニ保存スヘシ

一 町村制第八條町村事務報告ハ曆年自一月ヲ以テシ其事項ハ分課組織職員轉退就職并出勤日數文書件數其他庶務會議農商土木兵事學務衛生會計臨時事務ノ各項ニ別チ列舉シ詳細記載スヘシ

財產明細表ハ財產彙帳ニ依リ其種目ヲ區分シ明細ニ調整スヘキモノトス

●訓臨第六號 (明治二十二年二月十二日)

各郡長宛

市制及町村制第十八條中選舉原簿及選舉人名簿市制第六條町村制第七條中選舉錄ハ別紙書式ニ據リ調製シ其選舉權アル者ヨリ届出手續等ハ適宜取テフヘシ

右訓示ス

選舉原簿書式

氏名	出生年月日	住居番地	明治何年何月何日				合計	明治何年何月何日以來二年間	市(町村)稅ヲ分擔ス	明治何年何月何日以來二年間	地租ヲ納付ス	明治何年何月何日以來二年間	直接國稅貳圓以上ヲ納付ス
			地租	所得稅附加稅	戶別割(家屋割)	營業割							
某何	年月日	番地	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有		有	無	有	無	
某何	年月日	番地	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有		有	無	有	無	
某何	年月日	番地	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有		有	無	有	無	

選舉原簿書式解説

地方制度 市町村制度

- 一 第一欄ニハ選舉權ヲ有スルモノ、氏名及會社其他法人ノ名稱ヲ記載ス
- 二 第二欄ニハ出生ノ年月日ヲ記載ス但市制町村制第十二條第二項第三項ニ據リ選舉權ヲ有スル者ハ之ヲ欠ク
- 三 第三欄ニハ住所ノ番地及其市町村内ニ占居ノ年月日ヲ記載ス又市制町村制第十二條第二項ニ據リ選舉權ヲ有スル者ニシテ其市町村内ニ住居スルハ住所番地ノ欄ニ記載シ會社其他ノ法人及他市町村ニ住居スルモノハ末尾空欄中ニ其住所又ハ所在地番號ヲ記載ス但住所番地ハ記入ノ必要ナキ場合占居年月日ハ三年以來住居ヲ占ムルモノハ之ヲ欠クモ妨ナシ
- 四 直接市町村税ノ納額ハ選舉會豫定期日ノ前年度ノ納稅額ヲ記載ス
- 五 市町村税地租及直接國稅ハ選舉會豫定期日ヨリ溯リ前滿二ケ年間間斷ナク納稅ノ義務ヲ負擔スルモノヲ記載ス但市町村制施行以前ニ係ルモノハ區町村會水利土功會ノ議決ニ係ル直接稅ヲ記載ス
- 六 地租納付ノ爲メ新ニ選舉權ヲ得タル者ノ年數ハ地券書替ノ日ヨリ計算ス
- 七 直接國稅貳圓以上納付ノ爲メ新ニ選舉權ヲ得タル者ノ年數ハ其納稅期前納ニ屬スルトキハ納期ノ末日ヨリ後納ニ屬スルトキハ納稅義務ノ起リタル初日ヨリ計算ス
- 八 年限ノ特免ヲ得タルモノハ末尾ノ空欄中ニ特免ノ事由ヲ摘載ス

九 被選舉人ヲ識別スル便宜ノ爲メ第三欄ノ次ニ(被選舉權ヲ有ス)ノ一欄ヲ設クルハ妨ナシ

選舉人名簿書式

直接市町村税納額	住	所	氏	名

選舉人名簿書式解説

- 一 市町村制第十二條第一項第二項第三項ニ依リ選舉權ヲ有スルモノニシテ直接市町村税納額ノ多キ者ヨリ順次ニ列記シ納額同シキモノハ住居年數多キ者ヨリ順次ニ列記シ住居年數ニ依リ難キモノハ年齢ニ依リ年齢ニモ依リ難キモノハ市町村長抽籤ヲ以テ定ムル所ニ據リ記載ス

二 直接市町村稅ヲ總計シ其總額ヲ等級ノ數ニ分チタル額ニ當ル迄ノ者ヲ以テ一級選舉人トシ  
爾餘ノ選舉人ヲ以テ二級三級ノ選舉人トス但市ハ選舉區町村ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ  
其選舉區及分會ニ要スル爲メ同一ノ名簿數部ヲ調製ス

三 住所ノ欄ニハ現住居ノ番地又ハ會社其他法人ノ所在地ヲ記ス但他市町村ニ住居シテ市制町  
村制第十二條第二項ニ據リ選舉權ヲ有スルモノハ其郡市町村住所ノ番地ヲ記ス

四 直接市町村納稅額ノ欄ニハ選舉豫定期日ノ前年度納稅額ヲ記載ス

某 市町又 選舉錄

某 市町又 會議員何級定期改選又ハ補缺選舉

本 市町又 會 定期改選ニ方リ議員若干名選舉ノ爲メ本月日某町某番地ニ於テ何級ノ選舉會ヲ開  
キ市長(又ハ町村長)ニ於テ何某々々々ノ幾名選舉掛ニ選任シ市長何某又ハ町村長又ハ其代理者

何某選舉掛長トナル

同日午前(午後)第何時選舉掛長選舉掛着席開會ス

午前(午後)第何時ヲ以テ投票ヲ閉鎖ス其投票ヲ開キ之ヲ檢スルニ投票總數ノ內有効投票若  
干ニシテ其投票ヲ受ケタル人名及投票點數左ノ如シ

何 何

何 點

右投票點數ノ多少ヲ比較シ某々ノ幾名ヲ以テ當選者ト定ム而シテ某某ハ投票ノ數相同キヲ  
以テ某ノ年齡若干某ノ年齡若干ヨリモ多キヲ以テ年長者某ヲ取リ某某ハ孰モ年齡若干孰モ  
同年ナルヲ以テ掛長自ラ抽籤ヲ以テ某ヲ當選トス  
無効投票總數若干ノ中何票ハ人名ヲ記載セス何票ハ被選舉人名ノ外他事ヲ記入スルモノ何  
票ハ代人ヲ出シテ投票セシモ其人ノ年齡未丁年ナルカ故ニ無資格ノ者トシ孰モ成法ニ據  
リ棄却ス右投票ノ受理並効力ニ關スル調査ヲ遂ケ午後第何時全ク選舉事務ヲ了シ此選舉會  
ヲ閉ツ

右選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉人ノ面前ニ於テ之ヲ朗讀シ別冊選舉人名簿點數簿其他關係書類  
何括ヲ合綴シ其正當ナルヲ記スル爲メ爰ニ署名捺印ス

明治 年 月 日

選舉掛長

市町長 何

選舉掛

何

某

某

例言

同

何

某

- 一 選舉區又ハ選舉分會ヲ設クルモノモ此書式ニ準ス但分會ノ選舉ニ在テハ固ヨリ開票ニ關スル事項ヲ記セサルモノトス
- 一 前書式ノ事項ノ外選舉掛長ニ於テ必要ト認ムル事件アルトキハ左ノ例ニ倣ヒ其顛末要領ヲ簡明ニ記載スルヲ要ス
- 一 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛又ハ掛長ニ於テ決定セル事
- 一 同時ニ補缺員數名ヲ選舉シ前任者ノ補缺ノ順序ヲ定メタル事
- 一 選舉會開場中選舉人ニアラサルモノ會場ニ入ラントセシモノヲ掛長之ヲ制止シ場外ニ退出セシメシ事
- 一 選舉人某ハ誤テ投票用紙ヲ毀損シ投票時間中會場ニテ其交換ヲ請求セシヲ以テ引換ヘタル事
- 一 選舉人ニアラサルモノ他人ノ氏名ヲ詐稱シテ投票セントシタルヲ掛長之ヲ拒絕セシ事

●臨第五〇號

(明治二十二年六月二十一日)

各郡長宛第一部長通牒

町村制ニ依リ裁決書ノ様式別紙寫ノ通内務省縣治局長ヨリ送付有之候間爲御參考及御送付候也

(別紙)

縣千第一五七號

(明治二十二年六月十三日)

知事宛内務省縣治局長通牒

市町村制ニ依リ裁決書ノ様式ニ付テハ御見込モ可有之ト存候得共當省ニ於テ大梗左書之様式ヲ用ユル筈ニ有之候條御參考ノ爲メ及回付候也

様式第一例

裁決書

何府(縣)何郡何村

訴願者 何

某

右訴願ノ要領ハ……………ヲ請求スルモノニシテ何府(縣)知事何某ニ訴願セシニ本府(縣)知事ハ之ヲ採用セサルニ依リ本大臣ニ提出シタルモノナリ  
訴願者申立ノ理由トスル所ハ……………ト云フニ在リ依テ本大臣ハ町村制第何條ニ依リ之ヲ受理シ  
審査スル左ノ如シ

右ノ理由ナルニ依リ裁決スル左ノ如シ

取消スヘキ限ニアラス(又ハ取消ス)

年月日

大

臣

様式第二例

裁決書

何府(縣)何郡何村

訴願者 何

某

右訴願ハ……………ヲ請求スルモノニシテ何府(縣)知事何某ニ訴願セシニ本府(縣)知事ハ之ヲ採用セサルニ依リ本大臣ニ提出シタルモノナリ然ルニ……………本訴願ハ受理セス

年月日

大

臣

●會第二四七號

(明治二十七年三月十二日)

市長宛

市參事會及市會ニ屬スル議事ニ關シテハ二様ノ別アリ隨テ其發案權モ亦兩岐ニ分ツヘキモノト心得ラルヘシ

一町村ニ於ケル通常ノ行政事務ニ係ル議事ニ就テハ市制第六十四條第二項同第六十七條第三項ノ規定ニ基キ市會ニ對シテハ市參事會市參事會ニ對シテハ市長ニ於テノミ其發案權ヲ有シ他ノ市參事會員及市會議員ハ之ヲ有スルコトヲ得ス但市制第六十九條ノ場合ニ於テ市長ヨリ市會ニ對シテ議案ヲ提出スル如キハ別段ナリトス

一前項ノ外市制第三十三條同第四十八條ノ規定ニ依リ起ルヘキ議事ノ如キハ市會議員ニ於テモ其發案權ヲ有ス

●會第二四七號

(明治二十七年三月十二日)

各郡長宛

町村會ノ權限ニ屬スル議事ニ關シテハ二様ノ別アリ隨テ其發案權モ亦兩岐ニ分タサルヘカラス故ニ町村會ニシテ從來發案ノ權利ヲ混同シタル向ハ左ノ通改正候様厚ク注意セラルヘシ  
一町村ニ於ケル通常ノ行政事務ニ係ル議事ニ就テハ町村制第六十八條第二項ノ規定ニ基キ町村長ニ於テノミ其發案權ヲ有シ町村會議員ハ之ヲ有スルコトヲ得ス  
一前項ノ外町村制第三十五條同第五十條ノ規定ニ依リ起ルヘキ議事ノ如キハ町村會議員ニ於テモ其發案權ヲ有ス

●會第六三三號

(明治二十七年五月二十二日)

各郡長宛

(市)(町村)會ノ權限ニ屬スル議事ニ關シ去ル三月八日會第二四七號ヲ以テ訓示相成候處市町村ノ行政事務ニ付會議ノ意見ヲ以テ理事者タル(市參事會)(町村長)ニ建議セントスル場合ハ上司ニ對シテ意見書ヲ呈出スル場合ト同シク其議事ノ發案權ハ(市)(町村)會議ニ於テ有スル儀ト存候條爲御心得依命此段及通牒候也

●會第五〇五號 (明治二十六年五月二十九日)

各郡長宛

町村制第十四條ニ依リ設置スル區會議員ニ關スル件ハ左ノ標準ニ依リ規定セシメラルヘシ

但從前ノ訓令通牒等ニシテ本文ニ抵觸スルモノハ渾テ取消ス

一區會議員ト爲ルヲ得ヘキモノハ市町村會議員ノ被選舉權ヲ有シ其區ニ住スル者ニ限ルモノトス

一區内ニ住スル市町村公民ハ凡テ區會議員ノ選舉權ヲ有ス

但公民權ヲ停止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スルモノハ此限ニアラス

一凡ソ内國人ニシテ公權ヲ有シ其區ニ於テ直接市町村稅ヲ納ムル者其額區内ニ住スル公民ノ其區

ニ於テ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ區内ニ住スル公民ニアラスト雖選舉權

ヲ有ス

但公民權ヲ停止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニアラス

一法律ニ從ツテ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

●會第一〇四七號 (明治二十七年八月八日)

各郡長宛

從來町村ヨリ稟請セル條例中町村會ノ議決ヲ以テ施行シ得ヘキ事項ヲ條例トナシ加旃其規定スル條文ニ於テハ不備不明ヲ免レサルカ爲メニ再三往復ノ手數ヲ重ヌルモノナキニアラス右ハ元來町村限リ施行シ得ル事項ニシテ之ヲ條例ニ規定スルト否トハ固ヨリ町村ノ便宜ニシテ敢テ妨ナシト雖之ヲ一々條例ニ規定シ其許可ヲ請ハシムルトキハ町村ト監督廳トノ間ニ於テ徒ラニ往復ノ手數ヲ要スルノミナラス夫レカ爲メ事務ヲシテ愈煩冗ナラシムルニ至ルノ嫌ナキヲ得ヌ依テ町村限リ施行シ得ヘキ左記ノ件ハ自今條例ニ規定セシメサル様監督上御注意相成度依命此段及通牒候也

但從前ノ訓令通牒等ニシテ本文ニ抵觸スルモノハ渾テ取消サレ候

一町村制第六十五條第三項同第七十四條三項ニ依リ別段ノ規定ヲ設ケサル常設委員ノ件

但區學務委員及町村學校組合學務委員ヲ除ク

一町村稅徵收手續ニ關スル件

一區ノ設置并ニ區長及代理者任期ニ關スル件

●會第一六四號

(明治二十六年三月十五日)

各郡長宛内務部長通牒

明治二十四年丙第一號訓令第四項町村會議案議決書議事録ハ三種各別ニ綴理スヘキ義ニ有之候處議事録ニ議案議決トモ判明ニ記載シ整理ヲ得將來紛雜スヘキ憂ヒ無キ向ハ敢テ之ヲ各別ニ綴理セシムルニ及ハス候間右ニ御承知有之度命ニヨリ此段及通牒候也

●會第六八號

(明治二十六年四月七日)

(市參事會)

市ノ沿革ヲ明瞭ナラシムルカ爲メ自今一ケ年ヲ期シ新制度實施以降ノ沿革誌ヲ編纂シ爾後毎年繼續編製セラルヘシ

記事要項

- 一 市成立ノ沿革
- 一 境界ノ變更飛地ノ處分及其財産ノ處分
- 一 堤塘道路橋梁用悪水路ノ沿革變更
- 一 役場ノ設置及位置ノ變更
- 一 吏員ノ更迭
- 一 從來成就セシ重立タル事業ノ來歴事實

一 著シキ災異地變

右ノ外沿革上必要ト認ムル事項

●會第二四九號

(明治二十六年四月七日)

(市長)

今回市沿革誌編纂ノ善訓令相成候處右ハ可成一般同一ノ体裁ヲ得セシメ候様致度見込ヲ以テ各町村ニ對シテハ別冊記載例相示候條市ニ於テモ右振合ヲ以テ調製相成度此段及通牒候也

(別冊容之)

●會第六六號

(明治二十年四月七日)

(各郡長)

町村ノ沿革ヲ明瞭ナラシムル爲メ自今一ケ年ヲ期シ各町村ヲシテ新制度實施以降ノ沿革誌ヲ編纂セシメ爾後毎年繼續編製セシムル様訓令セラルヘシ

記事要項

- 一 町村成立ノ沿革
- 一 境界ノ變更飛地ノ處分
- 一 町村名ノ變更
- 一 堤塘道路橋梁用悪水路ノ沿革變更
- 一 役場位置ノ變更

一 條例并諸規定ノ設廢變更

一 吏員ノ更迭

一 從來成就セシ重立タル事業ノ來歴事實

一 著シキ災異地變

右ノ外沿革上必要ト認ムル事項

●會第二四六號 (明治二十六年四月七日)

(各郡長へ)

今回町村沿革誌編纂ノ義訓令相成候處右ハ一般可成同一ノ体裁ニ依リ編纂セシメ度別冊記載例及御送付候條右ニ準據調整セシメラレ度此段及通牒候也  
(用紙美濃紙、表紙板目紙)

静岡縣某郡某村沿革誌

町成立ノ沿革部(逐下各部トモ余白ヲ設ケ年ヲ逐テ記入スルノ便ニ供スヘシ)

一 明治二十二年縣令第十九號ヲ以テ本町(村)ノ區域名稱及役場位置改定

區域

新村名ノ由來

役場位置

四隣ノ境界

土地ノ面積

地種地目反別地價

人口

戶數

資力

一 明治何年何月何日本村ノ内大字何處々々ヲ分割シ新ニ何村ヲ置カル

理由并ニ處分ノ顛末云々

〔明治二十二年縣令第十九號改定後區域ニ變更ヲ爲シタルトキハ本項ノ例ニ依リ記載スヘシ理由トハ地形上其他ノ事由及處分ノ顛末トハ分離セントスル事ノ起リヨリ處分ニ至レルマテノ順序ヲ記載スルモノトス〕

境界ノ變更飛地組換ノ部

一 明治何年何月何日本村大字何々ノ内字何左記反別ヲ隣村何村ノ地籍ニ編入

理由并ニ處分ノ顛末

字番

一 反別何歩(地種地目限リ)



地價何程

境界ノ變更ヲ爲シタルトキハ本項ノ如ク記載スヘシ飛地ノ組換モ亦之ニ準ス理由并ニ處分ノ顛末トハ境界ノ錯雜ヲ矯正スルノ目的ニ依リ町(村)會ノ議決ヲ以テ上廳ノ裁可ヲ得タル等ノ事實ヲ記載スヘキモノトス編入町村ノ方ニ於テモ亦同シ

町名變更ノ部

一明治何年何月何日本町名ヲ何々ト改正ス

理由并ニ處分ノ顛末云々

町(村)名ノ變更ヲ爲シタルトキハ本項ノ如ク記載スヘシ理由並處分ノ顛末トハ舊記ニ依リ又口碑ニ徴シ名稱ノ改正ヲ必要トシ村會ノ議決ヲ以テ上廳ノ裁可ヲ得タル迄ノ順序ヲ記載スルモノトス

堤塘道路橋梁用悪水路ノ沿革變更ノ部

一何々川堤防

沿革云々

本項ハ堤防道路等各項ニ分チテ記載スヘシ沿革ハ堤防ニ在テハ築造ノ當初ヨリシテ現今ニ至レル事歴改築其他堤長ノ紳縮等分リ得ル限リヲ記載シ尙將來ノ變更ハ各項ニ分チ逐年記載スルモノトス

町村役場位置變更ノ部

一明治何年何月何日本村役場位置ヲ大字何ノ内字何何番地ニ移轉ス

理由并ニ處分ノ顛末云々

町條例並諸規定ノ設廢變更ノ部

一明治何年何月何日左ノ條例ヲ設置ス

○條例第何號

本村何々條定ヲ設クル左ノ如シ

第一條 何々

第二條 何々

年月日

本條例設定ニ付町會議決ノ理由ハ云々

條例並ニ諸規定ヲ設タルトキハ全文ヲ掲ケ尙其議決ノ理由ヲ記載スヘシ又單ニ議決ニ留マ  
ルモノト雖モ他日ノ規定トナルヘキモノハ本項ノ例ニ準シテ記載スヘシ

吏員更迭ノ部

族籍住所

何

某

明治何年何月ヨリ本、町長ニ選任ス

(他皆此ノ例ニ依リ記載スヘシ)

從來成就セシ重立タル事業ノ來歴事實ノ部

一山林養成

本村字何々山ハ從來何村共有財産ニシテ秣場ナリシカ明治何年杉檜苗ヲ栽培シ收益ヲ増加スルノ計畫ヲ爲セシニ頗ル地質氣候ニ適シ目下何百町歩ノ良林ヲ爲セリ現ニ本村基本財産ノ一タル何山林ハ即チ是ナリ

(本項ハ假設ノ例ニ過キサレトモ記事ハ此ノ体裁ニ準スヘシ)

著シキ災異地變ノ部

一明治何年何月何日暴風雨罹災ノ景况左ノ如シ

(土地ノ流亡人畜ノ死傷家屋ノ倒潰其他罹災ノ實況ヲ記スヘシ)

●甲第八號 (明治二十八年四月五日)

郡役所 市役所 町村役場

事務執行上法律命令ニ關シ疑義アルトキハ町村長ハ所轄郡長ニ郡市長ハ當廳ヘ伺出ル義ト心得ヘ

シ

●庶第三〇一號 (明治二十八年四月五日)

各郡長宛

本年甲第八號ニ依リ町村長ヨリ伺出ツル法律命令ニ關スル疑義ニ對シ其警察收稅等ノ主管ニシテ郡長取扱ニ屬セサルモノハ先例アルモノヲ除ク外一應當廳ヘ稟伺ノ上指揮セララルヘキ義ト心得ラルヘシ

●甲第三十七號 (明治三十一年十二月二十七日)

郡役所 市役所 町村役場

町村事務報告例左ノ通相定ム

但明治二十五年七月甲第十八號全廿六年八月甲第三十號全二十七年二月甲第五號ハ之ヲ廢止ス

町村事務報告例

第一條 町村行政事務ニ關シ町村長ヨリ郡長ニ報告スヘキ事項ハ別表ノ通トス但特別ノ規定及郡長ノ命令ニ依ルモノハ本文ノ限外トス

第二條 報告書ハ一事件毎ニ紙頁ヲ改メ紙末ニ年月日宛名ヲ記シ署名捺印スヘシ

件名	報告書ニ具スヘキ要件	發送期日
一町村會議員ノ退任及辭職	級別、人名、事故	即日
二町村會議員撰舉告示	撰舉	全
三町村會議員撰舉ノ結果	錄	本全

- 四 町村住民及公民タル權利ノ有無選舉權及被選舉權ノ有無選舉人名ノ正否並其等級ノ當否代理ヲ以テ執行スル選舉權及町村會議員選舉ノ効力ニ關スル訴訟ノ裁決
- 五 町村會ノ開閉
- 六 町村長助役收入役選舉ノ結果
- 七 町村會議決ノ執行停止及再議ニ付シタル事件
- 八 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物品ノ異
- 九 町村稅ノ賦課及町村營造物町村財產並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴訟ノ裁決
- 十 町村長助役收入役ノ退職
- 十一 町村吏員ノ徵戒處分
- 十二 町村ノ起債及其償還
- 十三 町村會ノ決議諸件(本例中別ニ明文アルモノハ其明文ニ依ル)
- 十四 町村稅其他諸收入ノ滯納處分
- 十五 町村會議事細則及其他ノ規定
- 十六 町村吏員事務引繼ノ顛末
- 十七 町村事務報告書及財產明細表

訴訟書及裁決書ノ大要若クハ謄本及裁決書交付ノ月日	全	會計年度後四ヶ月以内
開會ハ招集ノ告示閉會ハ日時月日及當撰人氏名	全	三ヶ月以内
事實ノ大要及其理由	全	一月末日
訴訟願書及裁決書ノ大要若クハ全文並裁決書交付ノ月日	全	全
職氏名月日退職事故	全	全
處分書謄本及事由ノ梗概	全	全
起債ノ都度其金額利率起債月日償還ノ都度其金額利率償還月日	全	全
決議書並會議ノ狀況	全	全
滯納人員滯納金額處分濟徵收金額手數料徵收金額	全	全
規定ノ謄本	全	全
二十五年甲第二十二號及二十六年甲第二十七號	全	全
提出後五日以内	全	全

- 六 町村費決算
- 九 町村財產調
- 三 町村會議員選舉調
- 二 町村吏員人員月俸階級別調
- 三 町村吏員退隱料受領人員及金額調

豫算表式ニ依ル	會計年度後四ヶ月以内
二十九一年甲第一號及全甲第三號三十一一年甲第三十六號	全三ヶ月以内
別紙第一號	一月末日
別紙第二號	全
別紙第三號	全

(第一號)

町村會議員選舉調

明治何年十二月三十一日現在

種別	議員			撰舉權ヲ有スル者
	華族	士族	平民	
町村會				
町村組合會				
總計				

- 一 町村組合會ハ町村制第百十六條ニ依リ數町村全部ノ事務處辨ノ爲メ設置スルモノヲ掲ク可シ
- 一 議員ハ撰舉權ヲ有スル者ノ内ニモ包含スルモノトス
- 一 町村會ニ於テ町村組合會議員ヲ撰舉スルモノハ撰舉權ヲ有スル者ノ欄ヘハ町村會議員數ヲ掲クヘシ

(第二號)

何町村吏人員月俸階級別

明治何年十二月三十一日現在

階級別	人員	支給金額			階級別	人員	支給金額		
		月俸	報酬金	合計			月俸	報酬金	合計
町長 名譽職 拾圓以上					町長 名譽職 拾圓以上				
町書記 拾圓未滿				町書記 拾圓未滿					
助役 拾圓以上				助役 拾圓以上					
助役 拾圓未滿				助役 拾圓未滿					
常設委員 名譽職				常設委員 名譽職					
常設委員 名譽職				常設委員 名譽職					
收入 六圓以上				收入 六圓以上					
役 六圓未滿				役 六圓未滿					
合計				合計					

一年給及日給ノ者ハ月給額ニ改算シ記載スヘシ  
 一年給及報酬金(年額)ハ之ヲ十二分シ其一分ヲ月額トシ日給ヲ以テ支給スル者ハ三十分ヲ以テ月給額ニ改算スヘシ但公暇日ニ日給ヲ支給セサル者ハ二十五日分ヲ以テ月給額ニ改算

スヘシ

- 一 表中掲クル月給及報酬金ハ十二月三十一日ノ現員ニ支給スヘキ一月ノ金額ヲ掲載スヘシ
- 一 兼務ノ者ハ人員金額トモ朱書ヲ以テ何々ヨリ兼務ト別項ニ掲載スヘシ但給料或ハ報酬ヲ受ケサル者ハ掲載スルニ及ハス
- 一 委員ハ常設(臨時委員ハ省ク)ノ委員ニシテ町村會議員及町村公民中ヨリ選舉セラレシモノ、ミヲ掲クヘシ
- 一 表中掲クル町村事務備ノ欄ニハ町村制ニ附屬員トアルモノ、内定備ニシテ事務ヲ執ル者ヲ掲クヘシ
- 一 町村制第十六條ニ依リタル町村行政全部ノ組合吏員ハ各其欄内ニ別記シ×印ヲ付スヘシ但一部ノ事務ノ爲メ設ケタル組合ノ吏員ハ掲載スルヲ要セス
- 一 見習ノ者アラハ其階級ノ次ニ何々見習ト掲載スヘシ

(第三號)

何町村吏員退隱料受領人員及金額

明治何年十二月三十一日現在

種別	人員	金額
町村長		

地方制度 市町村制度

町村吏	助	役
合	何	々
計		

一 本表ニ掲クル人員ハ十二月三十一日ノ現員ヲ掲ケ金額ハ其現員ニ支給スヘキ年額ヲ掲載ス  
 一 町村制第七十九條ニ依リ官職其他ノ職務ニ就キ給料ヲ受クル者ト雖モ本表ニハ之ヲ合算シ  
 除クヘカラス

●訓官第三十三號 (明治二十二年七月一日)

町 村 長

法律命令ハ勿論本縣訓令等ニテ從來戸長ニ於テ取扱タル事務ハ町村長ニ於テ取扱フ儀ト心得ヘシ  
 右訓示ス

●甲第十六號 (明治二十五年五月十九日)

郡役所 市役所 町村役場

郵便ニ依リ送達スル訴訟書類ヲ民事訴訟法第四百五條第二項ニ據リ市町村長ヘ預ケ置タル書類  
 ニシテ其送達ヲ受クヘキモノ在ラサル場合ニ於テ市町村役場ヨリ返還候向モ有之哉ニ相聞ヘ候得  
 共右ニテハ法文ノ旨趣ニモ相反シ候條其儘該役場ヘ留置クヘシ

●丙第四十九號 (明治十八年六月八日)

郡 町 村

戸長役場備置ノ人民印影簿ニハ其所轄町村ノ戸主ハ勿論凡ソ所轄内ニ地所建物船舶ヲ所有スル非  
 戸主及所轄外ノモノト雖モ右等ハ總テ實印ノ印鑑ヲ徴シ改印ノ場合ニ於テハ其旨届出サセ訂正ヲ  
 加ヘ舊印鑑ハ保存スヘキ義ト可心得此旨相達候事  
 但明治十七年七月本縣丙第六十九號達ハ廢止ス

●丙第二號 (明治二十二年七月九日)

郡役所 町村役場

町村制第七十條第二項ニ依リ行政事務ノ一部ヲ助役ニ分掌セシメタルトキハ其人名事項等所轄郡  
 長ヘ届出ツヘシ

第三 市町村歳入出

●訓令甲第十一號 (明治二十二年三月十一日)

郡役所 戸長役場

本年三内務省令第二號市町村歳入出豫算表ハ別冊記載例備考ニ依リ調製スヘシ

市町村歲入豫算表記載例備考

(表中○印ハ朱)

科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第一款 財産ヨリ生スル 收入	一 貨地料	○		某所字何々宅地(原野)反別何程或ハ坪數何程貸地料一ヶ月金何圓宛
	二 藏敷料			某所土藏幾棟壹棟壹ヶ月金何圓宛
	三 貸付金穀利子			共有金貸付元金何千圓ハ年幾割何百圓ハ月何割貸付米何石此利米何斗代金何程何種公債證書額面何萬圓此一ヶ年分利子金何圓何種公債證書額面何千圓此一ヶ年分利子金何圓
	四 公債利子			某所字何々田(畑)小作米何石代金何程
	五 小作米			某所字何々森林筭篋拂代金何圓
	六 森林副産物拂代			吹井戸何拾個壹個ニ付金何圓並井戸何百個壹個ニ付金何圓
	七 水道收入			壹ヶ年間幾日一日ニ付金何拾錢
第二款 使用料及手數料	一 議事堂使用料			某所字何々堤塘幾坪壹坪ニ付金何錢
	二 堤塘使用料			何街並木敷幾坪壹坪ニ付金何錢
	三 道路並木敷使用料			

科	目	前年度豫算額	本年度豫算額	附記
第四款 雜收入	一 橋錢及渡船賃			何川何橋々錢何圓何川何所渡船賃何圓
	二 竹木拂代			何堤竹木拂代金何圓並木枯損木拂代金何圓
	三 不用品拂代			不用書籍拂代金何圓反古拂代金何圓糞尿拂代金何圓
	四 小學授業料			生徒何人平均壹人何錢
	五 豫知スヘカラサル 收入			過怠金科料金賠償金其他豫知スヘカラサル收入ヲ編入スヘシ
第五款 地方稅補助金	○一 教育費補助			○小學簡易科教員何人壹人壹ヶ月何圓宛
	○二 土木費補助			○何堤防修築補助費何圓何道路改修補助費何圓
第六款 寄附金	○一 土木費寄附			○何橋梁設費指定金何圓何用水路修繕費指定金何圓
	○二 救助費寄附			○何教育場費指定金何圓窮民救助費指定金何圓

地方制度 市町村制度

市町村歲出豫算表記載例備考	
科目	目
第五款市町村稅	
一 地價割	地價金何圓ニ付何錢本年地租豫算高金何程地租壹圓ニ付金何程即地租ノ何分
二 營業割	本年度地方稅營業稅ノ何分
三 戶別(家屋)割	本年度地方稅戶數割(家屋稅)ノ何分
第一項給料	
一 市町村長給料	年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ケ月分
二 助役給料	月俸何圓何人何圓何人
三 書記給料	前ニ同シ
四 附屬員給料	前ニ同シ
五 收入役給料	年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ケ月分
六 區長給料	年俸若クハ月俸何圓何人何圓何人
七 使丁給料	月給若クハ日給何程ノモノ何人何程ノモノ何人

第二項雜給	第一項需用費	第三項需用費	第四項常時修繕費	第五項雜費
一 旅費	一 備品費	一 備品費	一 役所役場修繕費	一 役所役場修繕費
二 報酬	二 消耗品費	二 消耗品費	二 役所役場修繕費	二 役所役場修繕費
三 實費辦償額	三 賄費	三 賄費	三 役所役場修繕費	三 役所役場修繕費
四 退隱料	四 通信運搬費	四 通信運搬費	四 役所役場修繕費	四 役所役場修繕費
五 雇人料	五 雜費	五 雜費	五 役所役場修繕費	五 役所役場修繕費
市町村長旅費日常何圓助役同何圓書記同何圓附屬員同何圓市町村吏員同何圓收入役同何圓區長同何圓	何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書寫紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓	何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書寫紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓	何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書寫紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓	何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書寫紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓
名譽職參事會員實費辦償額何圓以下前ニ同シ	宿直辦當料何圓夜勤同何圓	宿直辦當料何圓夜勤同何圓	宿直辦當料何圓夜勤同何圓	宿直辦當料何圓夜勤同何圓
市町村長退隱料何圓助役同何圓吏員同何圓收入役同何圓何々同何圓	郵便電信料何圓運送費何圓	郵便電信料何圓運送費何圓	郵便電信料何圓運送費何圓	郵便電信料何圓運送費何圓
職工賃何圓雇人足費何圓	借家料何圓借地料何圓何々何圓	借家料何圓借地料何圓何々何圓	借家料何圓借地料何圓何々何圓	借家料何圓借地料何圓何々何圓
	屋根修繕費何圓塀塙修繕費何圓	屋根修繕費何圓塀塙修繕費何圓	屋根修繕費何圓塀塙修繕費何圓	屋根修繕費何圓塀塙修繕費何圓

地方制度 市町村制度

二物置修繕費		何々費何圓
第二欸會議費		
一議員實費辨償額		議員何人一人ニ付何圓
二書記給料		書記何人内一人ハ日給何圓何人ハ同何拾錢
三印刷費		議案印刷費何圓決議書同何圓何々同何圓
四備品費		卓子何脚新調若シハ修繕費一脚ニ付金何圓椅子何脚同一脚ニ付金何拾錢
五消耗品費		筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓
六郵便費		
七雜費		何々

以下倣之

●甲第十三號 (明治二十三年六月二十八日)

郡役所 市役所 町村役場

國稅徵收法第三條ニ依リ國庫ヨリ交付セラル、金額ヲ市町村ニ於テ歲入豫算ニ編入スルトキハ明治二十二年三月三内務省令第二號市町村歲入出豫算表式記載例第十一章ニ準シ前年度繰越金ノ次補助金

附金ノルトキハ其欸ノ次ニ國庫交付金ノ一欸ヲ設クヘシ

●會第二六八號 (明治二十五年三月十二日)

各郡長宛内務部長照會

明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法第十四條二項ノ市町村納金ハ歲出豫算中教育費雜給ノ項中左掲ノ如ク教員恩給基金ノ目ヲ設ケシムル義ト御承知相成度爲御心得此段及通牒候也 (表畧ス)

●會第二七四號 (明治二十五年三月十四日)

市長宛内務部長照會

明治二十三年法律第九十號第十四條二項ノ恩給基金豫算編成方ハ左掲ノ通教育費雜給中へ一項ヲ設ケル儀ニ付爲御心得此段及通牒候也 (表畧ス)

●甲第七號 (明治二十六年三月十四日)

郡役所 市役所 町村役場

徵發令ニ依リ市町村ニ於テ負擔スヘキ費用ハ市會町村會ノ議定ニ付スヘキモノトス

●會第八三七號 (明治二十七年六月二十二日)

各郡市長宛内務部長通牒



本年二月勅令第十五號ヲ以テ消防組規則發布相成候ニ就テハ消防組ニ關スル費用左ノ通取扱ハシメ可然依命此段及通牒候也(市長ヘハ「ハシメ」ヲ除ク)

一 消防組ニ關スル費用ハ規則第二條第一項ノ場合ニ於テハ其市町村ノ負擔トシ同條第二項ノ場合ニ於テハ其町村組合ノ負擔トスヘキハ論ナク同條第三項ニ依リ市町村内ノ大字若クハ區ヲ以テ消防組設置ノ區域ト爲シタル場合ニ於テモ亦其費用ハ其市町村ノ負擔タルヘキモノトス

但市町村ニ於テ消防組設置ノ大字若クハ區ヨリ特別稅ヲ徵收シ又ハ特ニ重キ稅率ノ附加稅ヲ徵收スルハ妨クナシ

一 消防組ハ知事ノ警察權ニ屬スト雖其費用ハ市制町村制第八十八條ニ依リテ之ヲ市町村ニ負擔セシメタルモノナレハ市町村ハ其歲入出豫算中ニ消防組ニ關スル費用ヲ掲載シ假キ通常ノ手續ニ從ヒ之レカ收支ヲ爲スヘキモノトス

一 前項ノ豫算ハ施行概則(二十七年內務省令第一號)第十三條ノ移轉及施行細則(二十七年五月縣令第三十六號)ニ定ムル所ノ範圍内ニ於テ市參事會若クハ町村長之ヲ發案シ市會若クハ町村會之ヲ議定ス可キモノトス

一 全上支出豫算ハ市町村歲入出豫算表式中警備費ノ項目トシ左ノ如ク記載スルヲ可トス

第何項消防組費

- 一 手當(及辨當料)

- 二 救助料吊慰金及手當

- 三 器具(新調又ハ修繕費)

- 四 建築修繕費

- 五 何々

●訓議第四十五號 (明治二十二年十一月二十五日)

從來町村費ノ事業ニシテ寄附金ヲ用途トシテ計畫シ既ニ實業ニ着手シタル後其金圓ノ完納ニ至ラサルヨリ忽チ蹉躓ヲ來タシ中途ニシテ其措置ニ苦ムモノ往々之レアリ右ハ當初確實ナラサル收入ヲ用途トスルニ起因スル次第ニ付自今完納スヘキ確實ノ見込ナキ寄附金ヲ用途トシテ容易ニ之レヲ豫算議案ニ編入スルコト無キ様注意シ尙又寄附金ヲ用途トシテ事業ヲ起サント欲スルトキハ其金圓ノ纏ラサル場合ニ於テハ(市費)(町村費)ヲ以テ之レヲ填補シ若クハ其事業ヲ短縮スル等ノ目的ヲ定メ豫メ議會ヲシテ其旨ヲ議決セシムヘシ

●甲第十八號 (明治二十六年六月一日)

郡役所 市役所 町村役場

市町村ニ於テ地租制限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅又ハ間接國稅ノ附加稅ヲ賦課シ若クハ特別稅ヲ新設變更スル市町村會議決ノ許可稟請ヲ爲ス場合ニ於テハ別紙ノ書類ヲ添付ス

ヘシ (別紙略ス) (三十三年九月甲第十九號)

(ナ以テ別紙中改正セリ)

但明治二十二年甲第九號全年甲第十二號全二十三年甲第五號ハ廢止ス

●會第八〇三號

(明治二十六年八月十九日)

各郡長宛内務部長通牒

地租制限外等許可稟請ニ關シテハ本年五月甲第十八號ヲ以テ訓令相成候處該稟請書へ添付スル書類  
調製方左記項々爲御心得依命及通牒候也

- 一 町村内ノ區會ニ於テ決議セルカ爲メ地租制限超過等稟請ヲ要スル事實ヲ生シタルトキハ各區課  
率ノ同シキモノハ第一表第一例ニ依リ課率ノ異ナルモノハ同表第二例ニ依リ調製スヘキコト
- 一 第一表第二列表式中本村經常費同臨時費等ハ其區ニ賦課スヘキ高ヲ分記スヘク而シテ其他ノ收  
入ノ如キ分記シ能ハサルモノハ本町村ノ金額ヲ掲テ其分記シ能ハサル旨ヲ附記スヘキコト
- 一 第二表出ハ第一表歳入一覽表中墨書ニ對スルモノノミニテ差支無之事

●會第一〇四八號

(明治二十六年十月二十六日)

各郡長宛内務部長通牒

市町村ニ於テ徵收スル地租制限外課税ノ件ニ付大藏内務両書記官ヨリ別紙ノ通り通牒有之候條自  
今右趣旨ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

縣甲第五號

市町村ニ於テ徵收スル地租制限外課税ノ件從前ハ毎年度稟請セシメ來候處斯クテハ徒ラニ煩雜  
ノ手數ヲ要シ候次第ニ付自今ハ五ヶ年度以内ノ年限ヲ以テ制限超過歩合範圍ヲ定メ稟請スルモ  
妨ケナキコトニ決定相成候間再後地租制限外ノ附加税ヲ徵收セントスルトキハ右ノ主意ニ依リ  
稟請セシメ且右稟請中經常費及臨時費ノ二種アルトキハ各別ニ地租額ニ對スル歩合ヲ明記シ又  
年限ノ如キモノ各別ニ稟請スル様御取計相成度但許可年限内ト雖万一無用ノ費途ニ支出スルノ  
決議ヲ爲シ公益ニ害アリト認ムルトキハ市制第六十四條町村制第六十八條ニ依リ處分スヘキハ  
勿論ノ儀ニ有之候條監督上可然御注意相成度依命此段及通牒候也

明治二十六年十月二十三日

大藏書記官

内務書記官

知事宛

●會第一〇四六號

(明治二十六年十月二十五日)

市長宛内務部長通牒

市町村ニ於テ徵收スル地租制限外課税ノ件從前ハ毎年度稟請セシメ來候處斯クテハ徒ラニ煩雜ノ  
手數ヲ要シ候次第ニ付自今ハ五ヶ年度以内ノ年限ヲ以テ制限超過歩合ノ範圍ヲ定メ稟請スルモ妨ケ

無キコトニ決定相成候爾後地租制限外ノ附加税ヲ徴收セムトスルトキハ右ノ主意ニ依リ稟請シ且右稟請中經常費及ヒ臨時費ノ二種アルトキハ各別ニ地租額ニ對スル打合ヲ明記シ又年限ノ如キモ各別ニ稟請スル様取計フヘキ旨内務大藏兩書記官ヨリ依命通牒有之候條右爲御心得及通牒候也

●會第一一八九號 (明治二十六年十一月三十日)

(市制)第六六條及水利組合條例第四十一條ニ依リ募集スル公債ハ法文ノ示ス如ク(市)又ハ水利組合ノ財政上特ニ必要アル場合ニ限リ其他ハ務メテ之ヲ避クヘキハ勿論ノ處往々必要ナラサル負債ヲ起サントシ又ハ其財政ニ照ラシ過度ノ負債ヲ起サントスルモノ有之將來町村ノ財政上不都合ヲ生スルノ恐レナキ能ハス依テ自今公債募集ノ議決ヲ爲シ許可稟請スルニ當ツテハ「募集及償還ノ方法等ニ就キ精査調査ヲ遂ク」其事業緩急負擔ノ堪否ニ(關シ詳細ノ理由ヲ具シ)尙調査ノ参照トシテ募集ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ關スル議決書ハ勿論左ノ事項ヲモ無洩記載シ進達スヘキ儀ト心得ラルヘシ

(參考)文中「ト」トハ市長ト郡長トニ區別シ訓令シタルモノナリ

一公債並ニ利子償還ノ財源

但將來收入ヲ生スヘキ事業ノ爲メ公債ヲ起シ其收入ヲ以テ償還ニ充テントスルトキハ償還期限ノ終リマテ毎年收入ノ年次見込書ヲ添付スヘキハ勿論ナリトス

- 一公債元利償還ノ年次表(第一表)
- 一當該年度歲入歳出豫算表
- 一當該年度諸稅負擔一覽表(第二表)
- 一基本財産有無並其額

負債償還年次表

(第一表)

年	度	償還元金	利子(割合)	計
何	年	度		
全		0,000	0,000	0,000
全		0,000	0,000	0,000
全		0,000	0,000	0,000

諸稅負擔一覽表

(第二表)

稅目	金額	納稅者總數ニ對スル平均一人當	總人口ニ對スル平均一人當	總戶數ニ對スル平均一戶當
直接國稅	0,000	0,000	0,000	0,000
府縣稅	0,000	0,000	0,000	0,000
市町村稅	0,000	0,000	0,000	0,000

總人口總戶數及納稅者ノ總數(納稅者ノ總數ハ一人ニシテ直接國稅市町村役ヲ納ムルモノモ或ハ其内一稅又ハ二稅ノミヲ納ルモ凡テ一人ニ算シタル總人員ヲ云フ)  
 水利組合ニ於テ要スル負債ニ付テハ水利組合區域内ヨリ納ムヘキ諸稅目ヲ前表ニ準シ調製シ尙  
 \*左表ヲ添付スヘシ

費目	金額	附記
水利組合費	〇〇〇〇	普通水利組合ニ於テハ組合内ノ總反別總地價及地價平均價 間當并出費人一人ノ平均負擔額水害豫防組合ニ於テハ組合 内家屋ノ總數土地ノ總反別并ニ出費人一人ノ平均負擔額
	〇〇〇〇	

●甲第二十號 (明治二十五年七月十二日)

市町村出納檢閱規左ノ通相定ム  
 郡役所 市役所 町村役場

市町村出納檢閱例規

- 第一條 市町村ノ金錢及財産物品ニ關スル出納ノ檢閱ハ知事ノ命スル官吏郡長又ハ郡長ノ命スル吏員ニ於テ之ヲ行フ
- 第二條 「郡長又ハ郡長ノ命スル吏員ニ於テ行フ出納檢閱ハ毎年一回以上トス」(卅一年甲第十五號ヲ以テ第二條以下改正セリ)
- 第三條 檢閱員檢閱ノ時ハ必ス命令書ヲ携帶スヘシ

第四條 檢閱員ハ檢閱上要用ノ帳簿書類ハ勿論必要ト認ムル場合ニ於テハ事業ノ實況ヲ檢閱スルコトヲ得

第五條 檢閱員ハ檢閱上ノ事項ニ付テハ市町村長收入役及主務ノ吏員ニ對シ質問ヲ爲シ辯明ヲ求ムルコトヲ得

第六條 檢閱員ハ檢閱上金穀物品ノ出納及其保管ニ關シ法律命令ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ市町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得

第七條 檢閱員ハ檢閱セシ事項ノ顛末ヲ知事又ハ郡長ニ復命スルモノトス  
 ●庶第四號 (明治十九年七月十二日)

戸長

諸公文書郵送ノ節ハ景目ノ調査印紙貼用等周密注意スヘキハ勿論ニ付差違等無之等ニ候得共若シ前拂稅不足スルトキハ其不足稅及增稅等郵書受取先官衙ノ仕拂ニ可相立義ト心得ヘシ  
 右訓示ス

●丁第四號 (明治二十七年四月二十八日)

市役所 收稅署 町村役場

國稅滯納處分法第二十五條ニ依リ差押物件ヲ市町村長ニ預クタル場合ニ於テ其預リ證書ニ貼用シ

タル印紙代金ハ内國稅徵收費ヨリ支辨候條自今請求書ハ收稅署ヲ經由差出スヘシ

收稅署前項ノ請求書ヲ受領シタルトキハ之ヲ調査シ署長檢印ノ上收稅部ヘ送付スヘシ

●丙第七十九號 (明治十八年九月二十四日)

郡 町 村

犯則ニ依リ官沒シタル物件ヲ裁判所ノ囑托ニ依リ戸長ニ於テ公賣取扱タル節右公賣ニ關スル費用  
(物件看守者ノ手當並ニ  
廢敷料筆墨紙炭油雜費)ハ其裁判所ノ費用ニ相立ヘキモノニ付戸長役場費ヨリ支辨セサル儀ト可心得  
此旨相違候事

### 第四 市町村財產

●甲第三號 (明治二十九年一月二十六日)

郡役所 市役所 町村役場

市町村基本財產、市町村立學校基本財產、市町村、内一部一區ニ屬スル財產ハ別紙表式ニ依リ各  
別表ニ取調毎會計年度後三ヶ月以内ニ市ハ直ニ町村ハ郡役所ヲ經由シテ本廳ニ報告スヘシ

(別紙表式略ス)

但明治二十四年十月甲第三十五號全二十六年二月甲第四號ハ之ヲ廢止ス

●甲第三十六號 (明治三十一年十二月二十四日)

郡役所 市役所 町村役場

明治二十九年一月甲第三號ニ依リ町村ヨリ報告スヘキ財產調ハ自分學校基本財產ヲ區別セス郡長  
ヘ報告スヘシ又郡長ハ町村報告ノ分ハ之ヲ留置キ同年一月郡第一號ニ依リ郡統計ノミ當廳ヘ報告  
スヘシ

●會第九二一號 (明治三十年九月四日)

各 郡 長

町村基本財產ノ蓄積ニ關シテハ二十七年會第九四九號ヲ以テ及訓令置候次第モ有之ニ付町村ヲシ  
テ其ノ經濟ノ狀況ヲ斟酌シ可成之ヲ蓄積セシムルノ方針ヲ探ルト同時ニ一方ニ於テハ該財產管理  
ノ方法ヲ確實ナラシメ且ツ之カ處分ヲ許否スル場合ニ於テハ慎重ニ調査ヲ加フル等一層周到ノ監  
督ヲ要スヘキハ勿論トス就テハ該財產ニ關スル事務管轄上ノ便ニ供センカ爲メ郡役所ニ於テハ町  
村ノ基本財產臺帳ヲ設備シ該財產ノ増減變更等ニ關スル事項ヲ登記シ以テ該財產ノ所在及處分ノ  
顛末ヲ明ニスヘシ

●會第九二二號 (明治三十年九月六日)

右訓令ス

各郡長宛内務部長通牒

今般會第九二一號ヲ以テ町村基本財産臺帳設備方訓令相成候ニ付別紙臺帳様式爲御參考及送付候  
依命此段及通牒候也

何町(村)基本財産臺帳

何國何郡(市)何町村 何大字何字何番地 郡村(市街)宅地何反何 畝何歩 地價何千圓 外憑水路何拾何歩	摘要 一 町村制實施前ヨリ引續キ本町(村)ニ於テ所有ス 一 明治何年何月何日何々(事由)ニ依リ何府縣何郡(市)何町村何某へ何圓ヲ以テ賣渡ノ件許可ス アリ
何國何郡(市)何町村何 大字何字何番 山林何反何畝歩 地價何拾何圓	摘要 一 明治何年何月何日官有地ヲ拂下ケ本村ノ所有地トナリタル旨届出アリ 一 金何百何拾圓ヲ以テ何府縣何郡(市)何町村何番地某立木賣却ノ件明治何年何月何日許可ス
何國何郡(市)何町村 何大字何字何番 田何町何反何畝何歩 地價何千何百何拾圓 外昨畔何畝何歩	摘要 一 村内何大字ノ所有地ナリシヲ明治何年何月何日何々(事由)ニ依リ本村ノ所有地トナリタル旨届出アリ 一 何府縣何郡(市)何町村

何府縣何郡何村何大字何字何番屋敷 (第何號) 木造瓦葺二階建 壹棟 間口何間奥行何間 此建坪何百何十坪 造作付 附屬倉庫 壹棟 間口何間奥行何間 建坪何十何坪	摘要 一 明治何年何月何日建築ス 一 明治何年何月附屬倉庫ヲ建築ス
何國何郡何村何大字 何字何番 洋風木造平家建 貳棟 内 一 棟 間口何間奥行何間 建坪何百何十坪 一 棟 間口何間奥行何間 建坪何十何坪	摘要 一 明治何年何月建築
何々記號 何々番號 整理公債何圓券 何枚 但何分利付 何々記號 何々番號 整理公債何圓券 何枚 但何分利付	摘要 一 明治何年何月何日何府縣何郡(市)何町村何番地某ヨリ買受ノ旨届出アリ 一 明治何年何月何日何々記號何々番號何圓券何枚當籤ノ旨届出アリ即チ頭書ノ通改マル
何々記號 何々番號 何國立銀行株券 何枚但一株何圓ツ 何々記號 何々番號 何國立銀行株券 何枚但一株何圓ツ	摘要 一 明治何年何月何日何府縣何郡(市)何町村何番地某ヨリ買受ノ旨届出アリ 一 明治何年何月何日何尋常小學校建築費ニ充ル爲メ何圓券何枚賣却ノ件許可シ即チ頭書ノ株數ニ改マル

地方制度 市町村制度



郡 役 所

明治二十九年<sup>月</sup>甲第三號ニ依リ町村ヨリ差出ス可キ町村基本財産調、町村立學校基本財産調、町村内一部一區ノ財産調ハ其種類毎ニ之ヲ取纏メ且ツ郡別ニ統計ヲ付シ報告期限後十五日以内ニ送致スヘシ

但統計表中基本財産ヲ所有スル町村數、學校數及之ヲ所有セサル町村數、學校數ヲ適宜記入スヘシ

●甲第二十五號

(明治二十六年七月十八日)

郡役所 市役所 町村役場

市町村有及市町村内一部ノ財産及營造物并學校基本財産ノ管理方法ヲ未タ定メサルモノハ來明治二十七年三月迄ニ之ヲ設定シ又既ニ之ヲ設定シタルモ其規定ノ未タ完備セサルモノハ同期日迄ニ之ヲ改定シ務メテ管理方法ヲ確實ニシ該財産ノ安全ヲ計ル可シ

●(明治二十六年七月二十二日)

市 町 村

現今市町村ニ於テ其共同事業及法律命令ニ依リ委任セラレタル國ノ行政事務處辨ノ爲メ負擔スル所ノ費用ハ己ニ輕シト云フヘカラス而シテ將來共同事業ノ發達ニ從ヒ益々其負擔ノ増加スヘキハ

必然ノ勢ナリトス是故ニ漸次基本財産ヲ増殖シ其財産ヨリ生スル收入ヲ以テ其費用ノ大部分ヲ支辨シ市町村稅ノ負擔甚タ重キヲ加ヘスシテ大ニ共同事業ヲ擴張スルヲ得ルノ道ヲ開キ市町村ノ幸福安樂ノ基礎ヲ堅フスルコトヲ計ラサル可ラス今日己ニ小學校ノ費用ノ如キハ基本財産ヨリ生スル收入ヲ以テ全ク之ヲ支辨スルノ町村アリ更ニ之ヲ増殖シテ土木衛生勸業等ノ費用ヲモ基本財産ノ收益ヲ以テ支辨スルヲ得ルニ至ラハ其住民ノ幸福ハ如何ソヤ今日自治制度ノ施行其日尙淺ク一般ノ町村其基本財産ノ蓄積未タ充分ナラス或ハ未タ之カ蓄積ノ方法ヲ設ケサルモノアルハ寔ニ己ムヲ得サル所ナリト雖今日ニ於テ基本財産増殖ノ方法ヲ設ケ以テ資力ノ増進ヲ計リ公共事業ノ擴張ニ供シ自治ノ基礎ヲシテ益々鞏固ナラシムルハ極メテ急務ナリトス

基本財産増殖ノ方法ハ土地ノ情況ニ依リ各其趣ヲ異ニスヘシト雖要スルニ從來各市町村内ノ一部ニ於テ所有スル財産ヲ合併シテ全市町村有ノ財産ト爲スカ又ハ新ニ基本財産ヲ造成スルノ二途ニ外ナラス

抑モ市町村内ノ一部ニ於テ財産ヲ所有スルハ素ヨリ必要ナラサルニ非スト雖之ヲ市町村ノ基本財産ニ比スレハ自ラ緩急輕重ノ別アリ故ニ市町村内一部ノ財産ニシテ特別ノ性質若クハ目的ヲ有シ到底合併スルヲ得サルモノヲ除クノ外ハ可成此際合併シテ市町村ノ基本財産ト爲スヲ要ス其部落ノ財産ニハ多寡ノ差アリ種類ノ同シカラサルアリテ直ニ之ヲ合併スルヲ得サル事情アルヘシト雖



其多寡ノ差アルモノハ歲豐カニシテ個人經濟ノ餘裕アルトキ又ハ歲出少ナクシテ市町村稅ノ賦課額多カラサルトキニ當リ所有ノ財產ナク若クハ之レ有ルモ其財產寡少ナル部落ヲシテ相當ノ出金ヲナサシメ以テ各部落ノ財產ヲ均一ニシ又其種類ノ同シカラサルモノハ價格ヲ評定シ一方ニ於テ賠償シ若クハ他ノ一方ノ歲部ヲ扣除シ以テ各部落ノ權衡ヲ量リ互ニ得失ナカラムル等各地適宜ノ方法ヲ設ケ之ヲ實行スヘシ

又市町村内一部ノ財產ノ合併スヘキモノ無キモノハ勿論仮令之レ有リテ合併ノ協議整フモノト雖歲計ニ餘裕アルトキハ或ハ基本金ヲ積立テ或ハ土地ヲ買入レ又ハ山林ヲ仕立ツル等其地方ノ情況ヲ斟酌シテ各適宜ノ方法ヲ設ケ勉メテ基本財產ヲ造成シ且ツ其管理ヲ確實ニシ以テ之レカ増殖ヲ計ルヘシ

右諭告ス

#### 第四章 郡市町村關係

●甲第五十九號 (明治十一年五月二日)

管下伊豆國賀茂郡ノ内神奈川縣下相模國足柄下郡宮上村宮下村門川村ノ飛地今般當縣管轄ニ屬シ候ニ付第九大區一小區ニ組入候條此旨布達候事

●甲第三十號 (明治十二年二月二十七日)

管下遠江國榛原郡源助村上泉村相川村西島村中島村飯淵村吉永村上新田村下江留村宗高村上小杉村下小杉村藤守村ヲ駿河國志太郡へ組替右源村以東大井川中央ヲ以テ駿河遠江ノ國界ト改定候旨達有之候條此旨布達候事

但區畫之義ハ追テ相達候迄從前ノ通

●丙第二十六號 (明治十四年六月七日)

#### 郡 町 村

詞訟審判上必要ニ付郡役所並戸長役場所管ノ帳簿等寫取方各裁判所ヨリ照會有之節ハ右寫本ニ正寫ノ證トシテ郡役所及戸長役場ノ印ヲ捺シ同所へ可差回且詞訟事件ニ依リ元帳ヲ要スルトキハ是又差回方可取計此旨豫テ相達候事

但寫本多數ニテ費用相係リ候節ハ其照會ヲ發シタル裁判所へ請取方申出ヘシ

●訓令甲第二十七號 (明治二十一年五月二十一日)

#### 郡役所 戸長役場

郡書記以下吏員戸長役場吏員及小學校職員浦役人旅行暇願許否并ニ除服達取扱方自今左ノ通心得ヘシ

但明治二十年十一月十九日付達第四十號ハ廢止ス

一 郡書記以下吏員戸長及小學校長教員浦役人ハ郡長ニ於テ戸長役場用係以下ハ戸長ニ於テ小學校  
授業生ハ其學校管理者ニ於テ取扱フヘシ(三十三年訓令甲第二十九號ヲ以テ公立小  
學校教員ニ關スル規定ハ其効力ヲ失フ)

### 第五章 水利組合

●告示第百十六號 (明治三十年十一月二十七日)

明治三十一年四月一日ヨリ本縣ニ水利組合條例ヲ施行ス

●甲第二十六號 (明治三十年十一月二十八日)

郡役所 市役所 町村役場

水利組合條例施行手續左ノ通相定ム

#### 水利組合條例施行手續

第一條 水利組合條例第八條第一ヨリ請願書ヲ出シタルトキハ市町村長ハ左ノ各項ノ調査ヲ添ヘ  
意見書ヲ差出ス可シ

一 區域内町村名大字若クハ小字

二 組合員員數

三 區域内ノ總反別地價(地種區分)

四 區域内河川道路溝渠及町村字ノ分界ヲ示シタル地圖

第二條 市町村長及郡長ニ於テ普通水利組合ノ設置ヲ必要ト認メタルトキハ前條ニ準シ具狀スヘ  
シ但町村長ノ具狀書ハ郡長ヲ經由スルヲ要ス

第三條 郡長若クハ市町村長ニ於テ水利組合創立委員ヲ命セラレタルトキハ左ノ概目ヲ標準トシ  
テ組合規約案ヲ調製スヘシ

一 組合事業ノ要領

一 組合區域各町村ノ每大字(水利組合條例第十五條ノ土地所有者ノ  
又ハ小字總反別)ニノ組合員アルトキハ其大字土地反別

一 議員ノ員數資格任期及撰舉ノ方法(組合會ヲ設ケサルモノハ組合總會ヲ以テ組合會ニ充ツ  
ル事項)

一 通常會ノ度數及會期

一 組合ニ委員ヲ置クモノハ其員數及擔任スヘキ事項

一 組合區域内各部ノ負擔歩合(普通水利組合ニ限ル)

一 組合費ノ賦課額ヲ連年据置クモノハ其事項

一 組合費豫算額ノ剩餘ヲ積金トナスモノハ其管理ニ係ル方法

- 一 組合ニ於テ夫役現品ヲ賦課スルモノハ其賦課ノ方法
  - 一 監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ事項ノ増加ヲ要スルモノハ其件目
  - 一 以上各項ノ外組合ニ關シ重要ナル事項
- 第四條 水利組合創立委員ニ於テ組合規約ノ認可ヲ請フトキハ議決書ヲ添フヘシ  
但便宜ニ依リ規約書ノ未ニ議決ノ事由ヲ記入シ關係者若クハ總代人連署シテ議決書ニ代フルモ妨ケナシ
- 第五條 水利組合規約ヲ認可シ組合設置ノ旨并ニ管理者タルヘキ郡長若クハ市町村長ヲ告示シタルトキハ其管理者ハ慣行ノ公告式ニ依リ認可ヲ得タル規約ヲ關係者ニ公告スヘシ組合規約改正追加ノ認可ヲ得タルトキモ亦同シ
- 第六條 水利組合創立委員ニ於テ關係者ヨリ總代人ヲ選ハシメントスルトキハ其人員及選出ノ方法ヲ具シテ知事ノ認可ヲ請フ可シ
- 第七條 水害豫防組合ニ於テ事業ニ必要ナル費用ヲ否決シ又ハ必要ナル給需ヲ缺キタルカ爲メ其管理者ヨリ知事ノ指揮ヲ請フトキハ議案及説明書并ニ議決書議事録等參考トナルヘキ書類ヲ添テ具狀スヘシ
- 第八條 組合會ノ議決ニ依リ普通水利組合廢止ノ認可ヲ請フトキハ議決書及議事録等參考トナル

ヘキ書類ヲ添ヘ郡市長管理者タルトキハ直接ニ町村長管理者タルトキハ郡長ヲ經由シ知事ニ其事由ニ具狀スヘシ

但民法上他ニ權利義務ノ關係アルモノハ其處務ノ方法ヲモ具狀書ニ掲記スヘシ

●會第九號 (明治三十年十一月二十七日)

郡市長

明治三十一年四月一日ヨリ水利組合條例ヲ施行セントス而シテ本條例ヲ實施スルトキハ二十二年法律第十一號ニ依リ存續スル水利土功會中水利事業ニ係ルモノハ本條例ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ引續組合ノ存立ヲ必要トスルモノハ本條例ノ規定ニ從ヒ其設立ノ手續ヲ爲サ、ルヲ得ス然レトモ實施後ニ至リ其準備ニ着手スルトキハ爲メニ組合ノ成立ニ數多ノ日子ヲ要シ事業上差支ヲ生スルノ恐レアリ殊ニ水害豫防組合ノ區畫ハ關係郡市參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要スルニ付豫メ關係區域等ヲ調査シ其郡市參事會ニ關係アルモノハ其意向ヲ確メ且ツ組合内部ノ協議ヲ十分ニ纏メ置キ本條例施行ノ日ニ至リ創立ノ委員ニ定ムルト共ニ總代人ヲ選フヘキモノハ其人員及選出ノ方法ヲ具シ直ニ認可ヲ得テ之ヲ選ヒ續イテ組合規約ヲ議定スル等組合ノ成立ヲ迅速ナラシムルノ準備ヲ必要トス依テ其手續左ノ通心得ラルヘシ

一 引續キ設置ヲ要スル普通水利組合及新設ヲ必要トスルモノハ都テ郡長(兩郡ニ涉ルモノハ管理郡長又ハ重ナル關係アル部分ノ

長)ニ於テ取調其關係區域調書(區域内町村名大字若クハ小字、組合員)及地圖(區域内河川道路溝渠及町村)ヲ添ヘ三十年十二月限り縣廳ヘ差出スヘシ

二 引續キ設置ヲ要スル水害豫防組合及新設ヲ必要トスルモノハ郡長(兩郡ニ涉ルモノハ管理郡長又ニ於テ關係區域調書(區域内町村名大字若クハ小字、組合員)及地圖(區域内河川道路溝渠及町村)ヲ添ヘ三十年十二月限り縣廳ヘ差出スヘシ

三 水利組合ニ屬スル創立委員(二町村以<sub>上</sub>ニ限ル)ハ三十一年二月迄郡長ニ於テ選出内申スヘシ

四 組合規約案ハ別紙標準ニ依リ各組合ノ大小等ヲ斟酌シテ調製スヘシ

五 條例施行ノ場合ニ於テハ兩郡ニ關スルモノハ兩郡長連署ノ上更ニ具狀書ヲ差出スヘシ但調書等ハ最前差出シタルモノト異動ナキモノハ更ニ添付ニ及ハス

何々水害豫防組合同規約

第一條 當組合ハ水利組合同條例第四條ニ依リ何川水防(堤防)(浚渫)(砂防等)ニ係ル事件ヲ理處スルモノトス

第二條 組合關係ノ區域ハ左ノ如シ但組合員名簿及反別地價仕譯簿家屋臺帳ハ別冊ノ通り

(別冊零ス)

何市町村

何町

内

何大字

何字

何村

第三條 組合會ノ議員ハ何人トシ左ノ區域ニ依リ之ヲ選舉ス

何市大字何々

議員何人

何(町)村及何村大字何

議員何人

何(町)村及何大字何何々

議員何人

第四條 組合員ハ公權剝奪若クハ停止中ノ者ヲ除クノ外總テ組合會議員ノ選舉權ヲ有ス

第五條 組合員ニシテ滿二十歲以上ノ男子ハ總テ組合會議員ノ被選舉權ヲ有ス但シ公權剝奪若クハ停止中ノ者及治産ノ禁ヲ受クル者ハ此限リニアラス

第六條 左ニ掲クル者ハ組合會議員タルコトヲ得ス

一 所屬縣郡ノ官吏

一 警察官吏